

42884

教科書文庫

4.
291.
42-1923
20000 85557

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

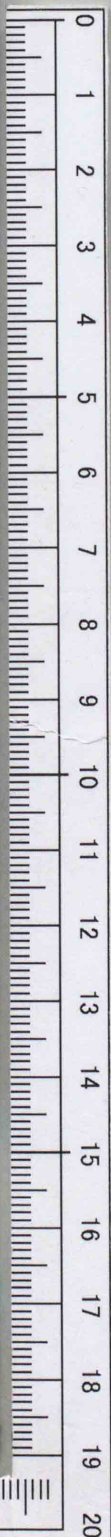
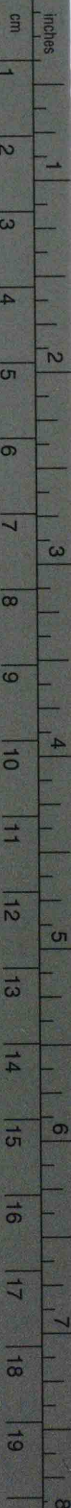


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書
42
2000

三省堂編輯所編纂

女子教育
最近日本地理

東京

株式會社三省堂發兌

教科書文庫

4

291

42-1923

2000085557

資料室

広島大学

46.12.10

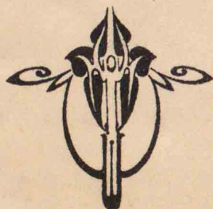
教育学部

三省堂編輯所纂

女子教育
最近日本地理

第六訂版

全



株式会社
三省堂發兌

広島大学図書

2000085557



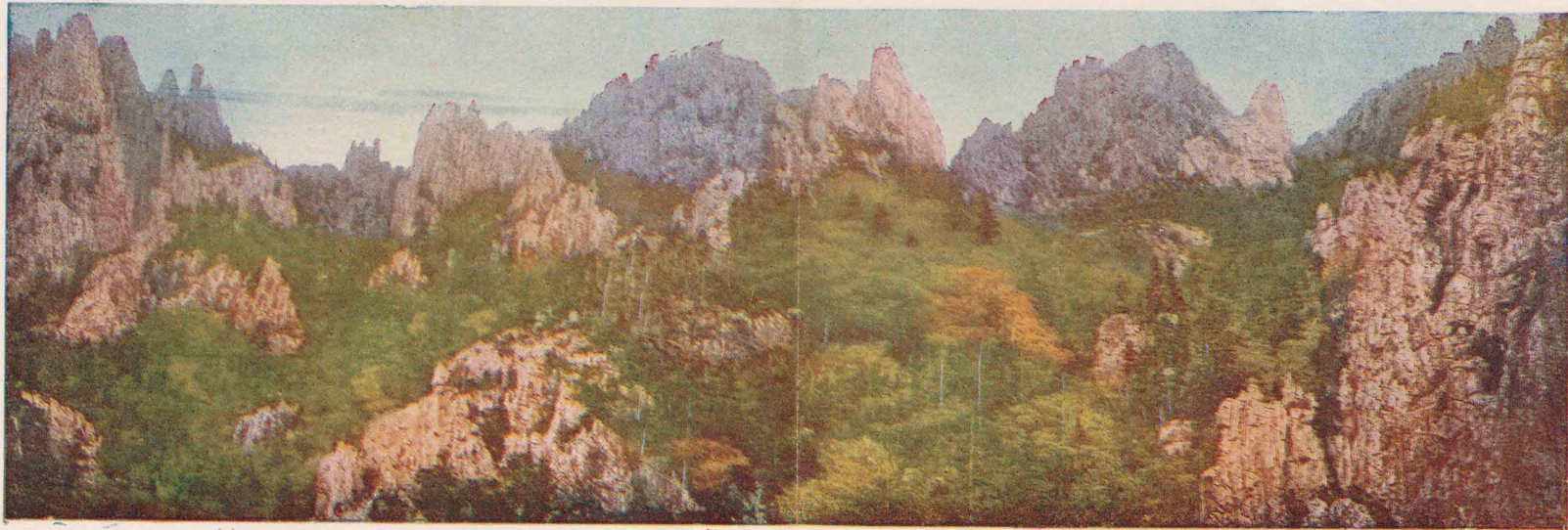
46
290
大12

日光廟の華麗は、廣く世に喧傳せらるる所なり。圖はその華中の華麗中の麗なる一部を示せるものにして、即ち左方に立てるは著名なる陽明門、正面にあるは神輿舎、又陽明門に對して右方に竝べるは唐門にして、その内部に見ゆるは拜殿なり。老杉影濃なる自然美に配するに、丹碧燦然たるこの人工美を以てし、眞に天下の偉觀を極む。





宮 照 東 の 光 日



山 剛 金 の 鮮 朝

金剛山は江原道の北部に位し、奇峰怪岩簇立して所謂一萬二千衆峰をなし、その區域大約十方に亘る。俗にその嶺西を内金剛嶺東を外金剛といひ、又山勢の海に盡くる邊、無數の奇岩突兀として波間に群立せるを海金剛といふ。圖に示せるは金剛山中特に奇勝の名を博せる新萬物相の一部にして、之を遠望すれば、光彩灼爍として神工鬼穿の妙を窺む。

辯言

本書は、高等女學校の教科用書に充てんが爲、最近の事實に基き編纂したるものにして、女子教育最近世界地理及び女子教育最近地理通論と脈絡を一貫せしめ、相俟ちて地理教授の本旨を達せんことを期せり。

本書の編纂に當り、特に留意したる點は大要左の如し。

- 一、尋常小學地理との聯絡に注意して内容の程度を高め、且總括的智識の養成に力を致せり。
- 一、挿畫の選擇を嚴にすると共にその數を豊富にし、勉めて印象を深からしめんことを期せり。
- 一、人口は専ら國勢院の調査に基き、人口二萬以上を有する都邑には、その名稱の左側に之を附記(單位千)したり。
- 一、市及び朝鮮に於ける府は總て太字を以て示し、又地方廳の所在地には特殊の記號(□)を附して、他の都邑と區別したり。

一、産業に關する統計は、能ふ限り最近の數を採りたれども、種類によりて變化甚しきものは、數年間の平均數を採れり。
 一、里程尺度は實社會の常用を本位としたるを以て、鐵道には哩を用ひ、航路には哩を用ひたり。

一、卷末に索引を附して、搜索研鑽に便ならしめたり。

本書は、時勢の推移に伴ひ、茲に第六回の訂正を加へて、益々内容の改善を施したり、是れ教官各位の熱誠なる注意に負ふ所少からず、謹みてその好意を謝す。

大正十一年十一月

編者識

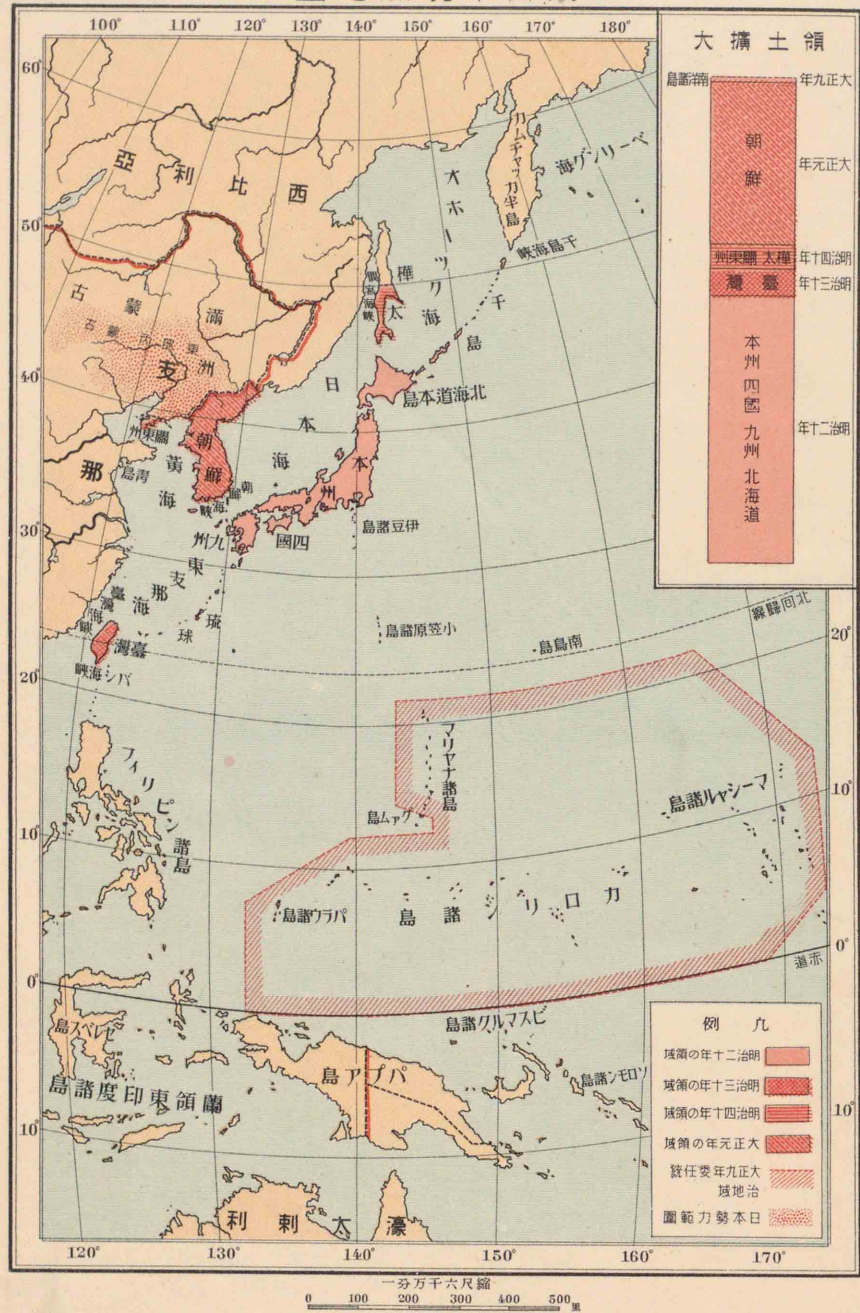
女子教育 最近日本地理 目次

大日本帝國……………一

前編 地方誌

第一章	關東地方……………	四
第二章	奥羽地方……………	一八
第三章	中部地方……………	二七
第四章	近畿地方……………	四一
第五章	中國地方……………	五四
第六章	四國地方……………	六三
第七章	九州地方……………	七〇
第八章	臺灣……………	八四
第九章	北海道……………	九三
第十章	樺太……………	一〇三

大日本境界地圖



女子教育最近日本地理目次終

索引

附錄	政治	住民	交通	產業及び產物	氣候及び天產物	近海	地形	第一章	第二章	第三章	第四章	第五章	第六章	第七章	後編 總說	第十一章 朝鮮

	一三六	一三五	一三三	一三六	一三三	一三三	一一九									一〇七

女子教育最近日本地理

大日本帝國

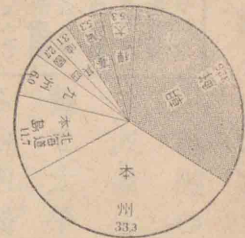
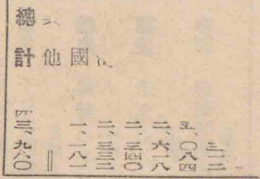
我が大日本帝國は、亞細亞大陸の東邊に沿へる日本列島と、大陸の一部をなせる朝鮮半島とより成る。

極北	千島の阿頼度島北端 <small>(北緯五〇度五六分)</small>
極南	臺灣の七星岩南端 <small>(北緯二度四五分)</small>
極東	千島の占守島東端 <small>(東經一五六度三分)</small>
極西	澎湖諸島の花嶼西端 <small>(東經一八九度一分)</small>

日本列島は、三連の弓形をなして、斜に東北より西南に延び、その内側にオホーツク海・日本海及び東支那海を抱き、外側は廣き太平洋に面す。朝鮮半島は、日本海と黄海との間に出て、列島との間に朝鮮海峽を挟む。帝國の面積は、約四萬四千方里ありて、英吉利・佛蘭西等の本國よりも遙に廣し。列島の中、面積の最も大なるは本州にして、殆

大日本帝國

第九 北 湖 本
海 洋 列 島
國 國 國 國

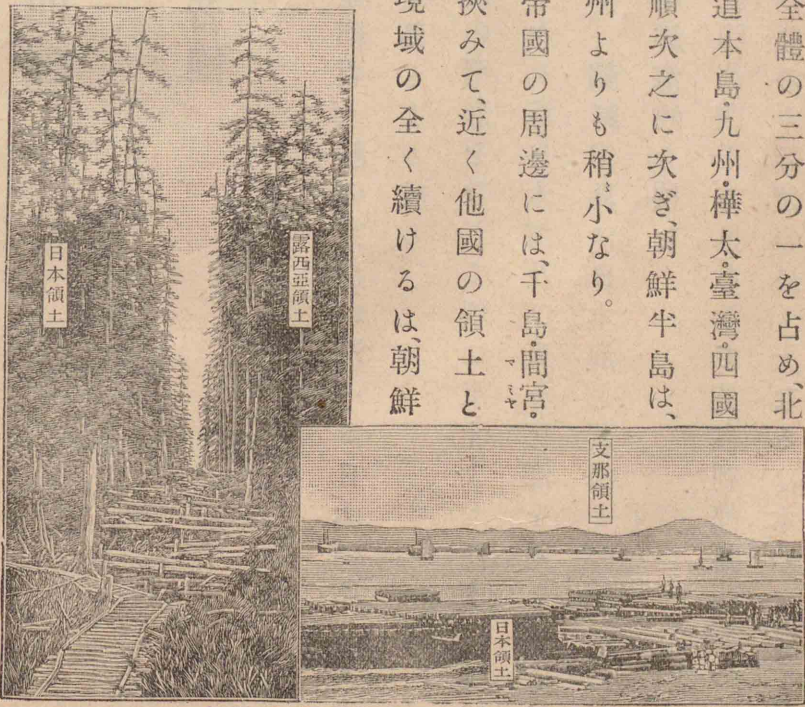


比較面積の部要 (率分百は字數)

左圖は樺太林空線の一部にして右圖は朝鮮より鴨綠江を隔て、滿洲の山野を望みたる光景を示す

臺灣、バシ等の海峽を挟みて、近く他國の領土と對する部分あれども、境域の全く續けるは、朝鮮及び樺太の北部が、支那西比利亞等と連るのみ、即ち我が國は、四面殆ど海に圍まれたる海國なり。

本州・四國・九州は、最



朝鮮及び樺太に於ける境界地方

畿内	山城	大和	河内	和泉	攝津
東海	伊賀	伊勢	志摩	尾張	三河
東山	駿河	甲斐	伊豆	相模	武藏
北陸	上總	下總	常陸		
山陽	美濃	飛騨	信濃	上野	下野
山陰	近江	磐城	岩代	陸前	陸奥
南海	若狹	越前	加賀	能登	越中
西海	佐渡				
北海道	播磨	美作	備前	備中	備後
	周防	長門			安藝
	丹波	丹後	但馬	因幡	伯耆
	石見	隱岐			出雲
	紀伊	淡路	阿波	讃岐	伊豫
	筑前	筑後	豊前	豊後	肥前
	日向	大隅	薩摩	壹岐	對馬
	渡島	後志	石狩	天鹽	北見
	日高	十勝	釧路	根室	千島
					膽振

畿中國となし、之に四國・九州・北海道と、新領土たる臺灣・樺太・朝鮮とを加へて、全國を十一の地方に區分す。

前編 地方誌

第一章 關東地方

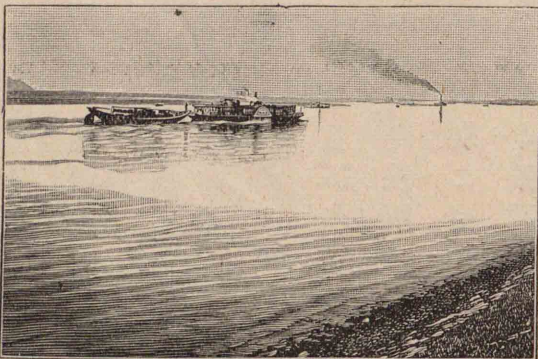
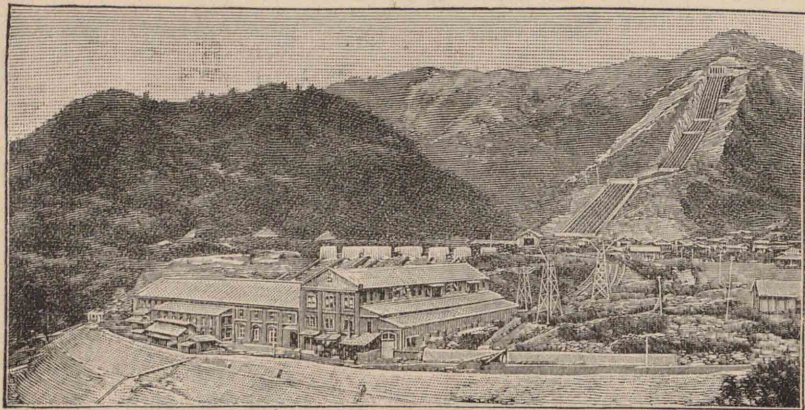
通説

本州の東南部に位し、所謂關東八州の地にして、政治上、一府六縣に分たる。

地勢 北部及び西部には、關東三國阿武隈などの山脈相連り、その他那須火山脈に屬する那須山男體山・赤城山・榛名山・妙義山・富士山脈に屬する箱根山などありて、土地概ね高けれども、東南の大部は廣き關東平野をなし、只半島地方に、丘陵性の高地あるに過ぎず。

國名 相模 武藏 安房
上總 下總 常陸
上野 下野
面積 約二〇九二方里
人口 約一、一三萬人
密度 (一方里) 約五三二〇人

茨城縣	栃木縣	群馬縣	埼玉縣	千葉縣	神奈川縣	東京府	區
水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和町	千葉市	横濱市	東京市	府縣廳



運舟の川根利と所電發の川怒鬼

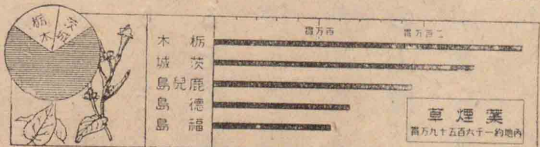
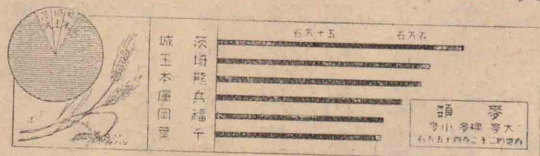
河流は、概ね是等の山地より發す。利根川は全國屈指の大河にして、鬼怒川・渡良瀬川等の支流を合せ、又附近に散在せる霞浦・北浦・印旛沼等の湖水を入れて、その流域は關東地方の大半を占め、灌漑・水運の利甚だ大なり。その他稍大なるを荒川・多摩川・相模馬入川・那珂川・久慈川等とす。是等の上流は、電力に利用せらるもの多し。

關東地方の大麥産額は全産の二分の一以上を占む



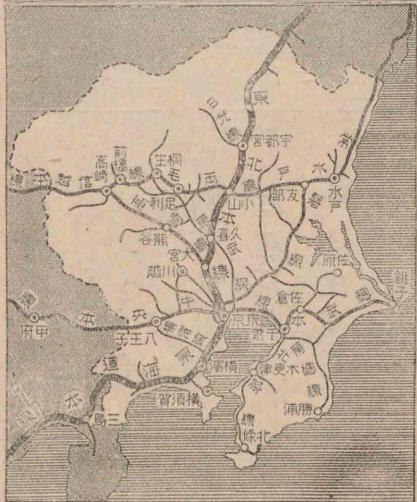
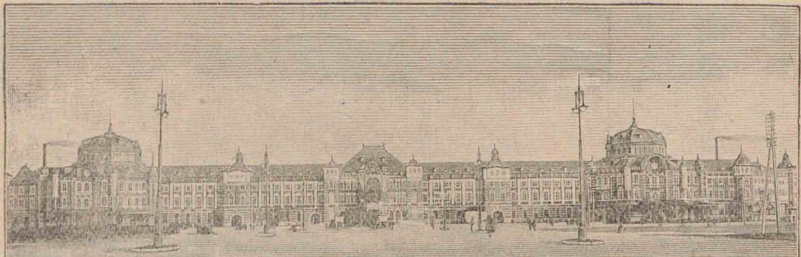
海岸 東岸には、犬吠崎ありて、鹿島灘と九十九里濱とを分ち、南部には、房總・三浦の兩半島出でて、東京灣を作り、三浦半島の西方には相模灣あり。是等の沿岸には、遠淺の砂濱多し。

産業 平野は地味肥沃にして、耕地廣く、各種の産業海盛なり。利根川の下流を昔占むる諸縣には、米・麥・大豆の等の産多く、那珂川・久慈川の流域には、煙草を産し、山地に近き地方には、集養蠶盛なり。鑛産は、著名の鑛山(日立)ありて、銅の産多く、又石炭に富む。沿海は水産多く、殊に房總半島の東岸は、著名の好漁場にして、



圖解 東京停車場は本邦屈指の大建築にして、その長さ百八十間、幅十一間乃至二十二間に及ぶ

- 1 東京・神戸間
- 2 東京・名古屋間
- 3 大宮・高崎間
- 4 東京・青森間
- 5 東京・岩沼間



東京停車場と關東鐵道系

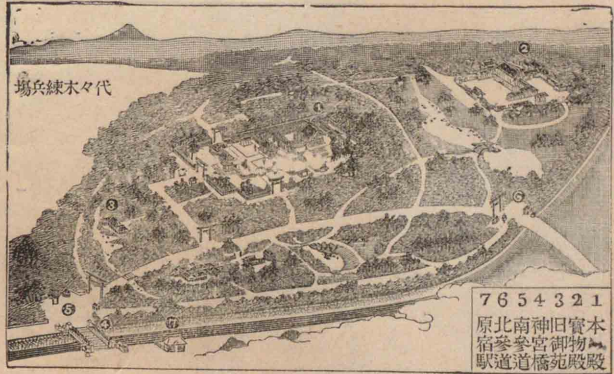
東京灣の一部には、海苔の産あり。工業は、東京市及びその附近に最も盛にして、各種の大工場多く、又養蠶の行はる、地方には、製絲・機織の業大に發達せり。**交通** 鐵道の發達著しく、概ね東京を中心として四方に通ず。東海道線・中央線・高崎線・東北線

常磐線等は、その主要なるものにして、是等より分る、線路甚だ多し。航路は、横濱を起點として、内外の要港と通じ、又東京より起る

東京府 (東京)
 武蔵一部
 豆南諸島

中央政府の諸官
 廳・大審院・近衛及
 び第一師團司令部
 等多し

主要の學校は帝國
 大學・商科大學・第
 一高等學校・高等
 師範學校・高等工
 業學校・音樂學校・
 美術學校等甚だ多
 し



ど之をめぐり、西北部の山手には、學校・邸宅等多く、東南部の下町は、商業繁盛にして市街賑なり。市は工業の中心地にして、綿絲毛織肥料・洋紙・麥酒・雜貨等の産多く、接續都會たる品川・王子・千住等には、

小航路も少からず。

處 誌

關東は、早くより政治上の中心となり、殊に江戸幕府以來、その發達著しく、近年各種の産業盛に興り、交通も亦便なれば、住民の密なること全國第一なり。

東京市は隅田川に跨り、我が國の首府にして、世界屈指の大都會なり。宮城は市の中央にありて、多くの官省國會議事堂な

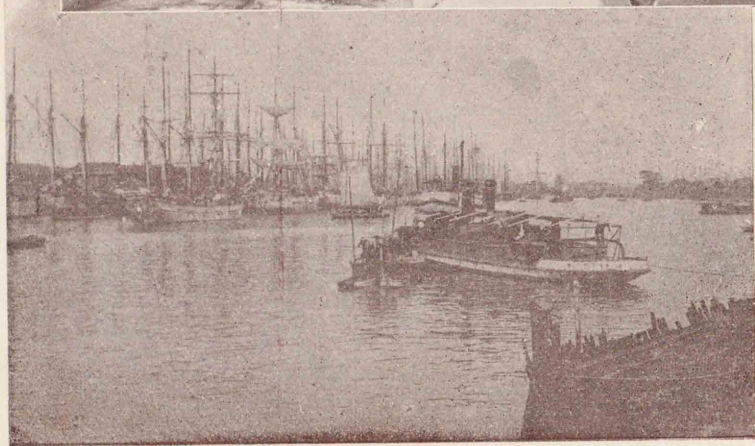
明 治 神 宮



(橋 重 二) 城 宮

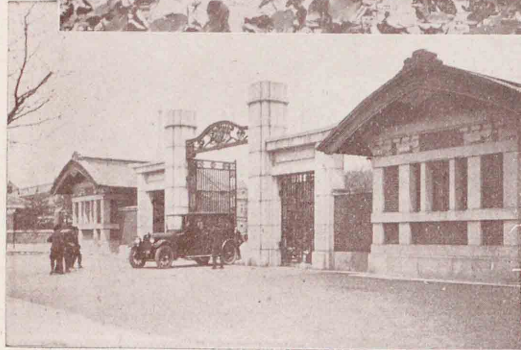
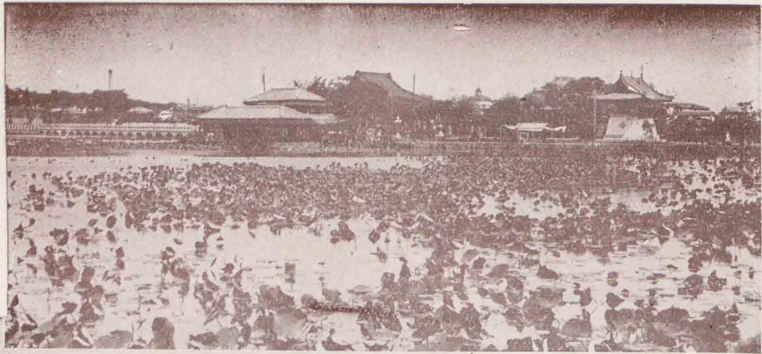


馬場先門通



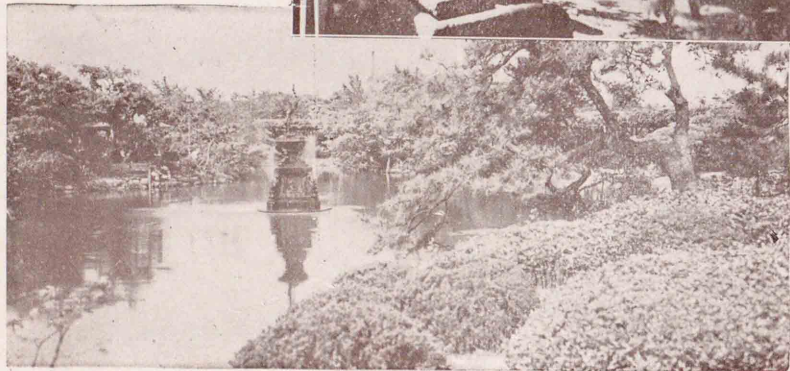
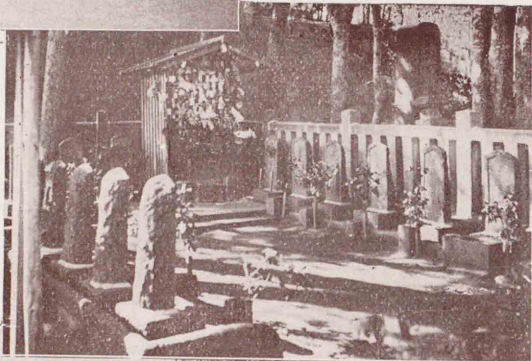
隅田川の河口

上野公園(不忍池)



東京帝國大學

泉岳寺義士の墓

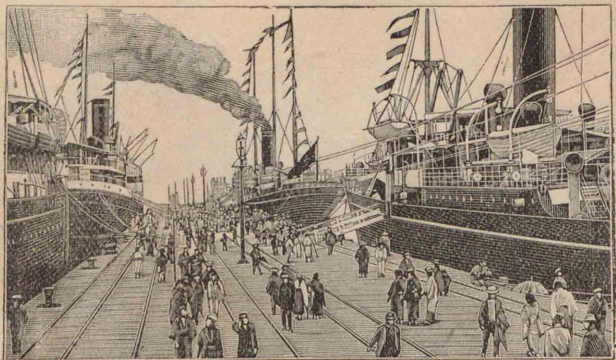


日比谷公園

向島・飛鳥山・小金井等は何れも近郊の名地なり

神奈川縣(横濱)
武蔵一部
相模

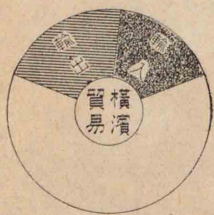
横濱に正金銀行・高等工業學校・高等商業學校等あり
横濱の東北なる鶴見に總持寺(曹洞宗本山の一)あり



是等の工場多し。市の内外には、明治神宮・靖國神社・淺草寺等を始め、社寺・公園・名地など處々に散在して、觀光の客常に絶えず。西部は、養蠶盛にして、その中心たる八王子市は、絹織物の産多く、

中央線の鐵道、此處を経て西方に通ず。

横濱の埠頭の門戸をなし、我が國第一の開港場なり、港灣の設備能く整ひ、内外の商船常に輻輳して、貿易盛大を極め、生絲・羽二重の大部は、此處より輸出す。東海道線の鐵道は、この西南



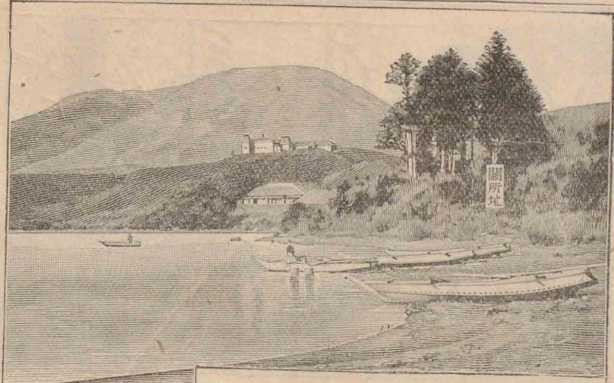
度年十正大
門万千七億八十二約國全

より横須賀線を分ちて三浦半島に到る。
鎌倉は源頼朝の幕府を開きたる地にして、鶴岡八

金澤には金澤文庫の址あり
横須賀に第一海軍區鎮守府及び海軍機關學校等あり
久里濱は米人ヘリの上陸せし處なり

通行手形は身分により文面を異にす下記は百姓町人の分にして記載文は左の如し
右の者共當于正月五日出立にて伊勢參宮に罷越候間何卒以御慈悲御關所無相違被爲遊御通可被下様偏に奉願上候依之手形奉差上候仍て如件

千葉縣 (千葉) 安房 上總 下總大部



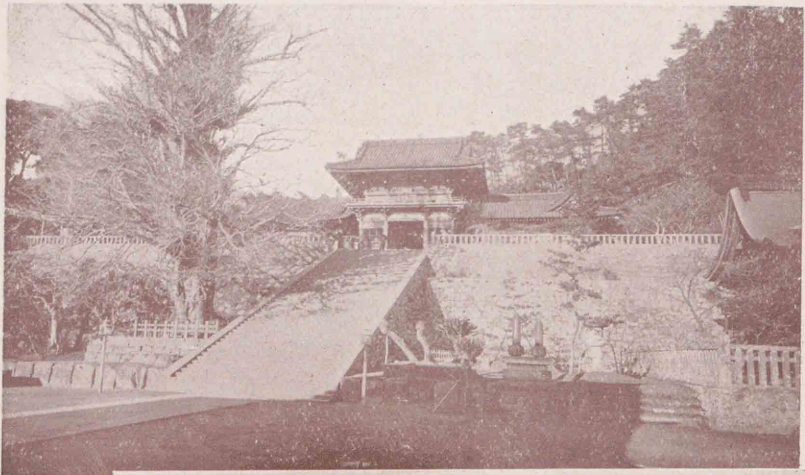
香取守 關所
關所は、香取守の御關所也。伊勢參宮に罷越候間何卒以御慈悲御關所無相違被爲遊御通可被下様偏に奉願上候依之手形奉差上候仍て如件
關所
關所は、香取守の御關所也。伊勢參宮に罷越候間何卒以御慈悲御關所無相違被爲遊御通可被下様偏に奉願上候依之手形奉差上候仍て如件
關所
關所は、香取守の御關所也。伊勢參宮に罷越候間何卒以御慈悲御關所無相違被爲遊御通可被下様偏に奉願上候依之手形奉差上候仍て如件

箱根山の一部分と手形の一例

幡宮・鎌倉宮・大佛などの名勝史蹟多く、附近に江島金澤等の勝地あり。横須賀市は、軍港を控へて、壯大なる海軍工廠あり。浦賀海峽に臨める浦賀は、造船行はれ、附近に久里濱の名地あり。相模灣の沿岸には、大磯・小田原などの保養地多く、西境の箱根山は、往時街道の要地なりしが、今は名高き温泉場なり、山中に蘆湖あり、湖畔に關所の址を殘せり。

總武線の鐵道は、江戸川を過ぎりて千葉縣に入る。江戸川の沿岸には、野田・醬油・流山・味醂等の醸造地多し。千葉市は、縣廳の所

鶴ヶ岡八幡宮



江之島



大佛

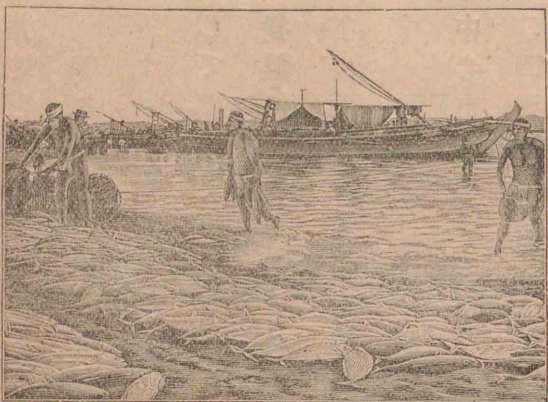
千葉に醫學專門學
校あり

佐原は伊能忠敬の
出身地なり

香取神宮は經津主
神を祀る
銚子の附近に無線
電信局あり

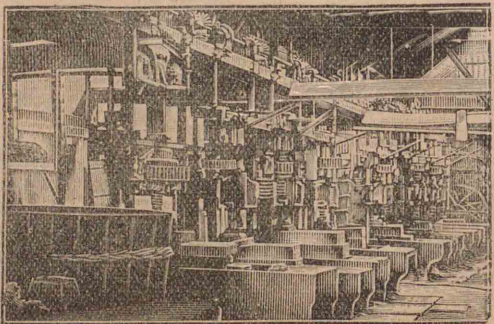
勝浦に近き小湊に
誕生寺あり

在地にして鐵道の要地に當り、附近の船橋に
は、大なる無線電信局あり。西北の習志野は、
練兵の地として名高く、印旛沼に近き佐倉は、
名邑にして、成田には名高き不動堂あり。利



九十九里濱の漁業

根川沿岸の佐原は、
河航の要地にして、
その附近に香取神
宮あり。銚子は利
根川の口に臨み、碇舶に便ならざれども、
醤油・鰹節などの産多く、西南の九十九里
濱は、名高き漁場なり。
房總半島の沿岸には漁港多く、西岸の
館山・北條・木更津・東岸の勝浦等は、殊に保



醬油醸造場(銚子)

埼玉縣 (浦和) 武蔵一部

浦和に高等學校あり

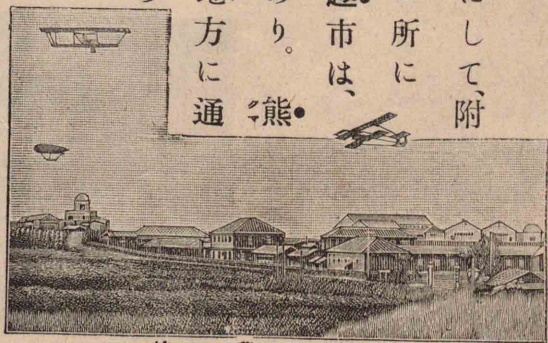
川越の附近には川越芋の名産あり 熊谷の西南に當る吉見に太古の遺跡たる百穴あり

群馬縣 (前橋) 上野

高崎は高崎線・信越線・兩毛線及び上野鐵道等の會合地なり 富岡に大なる製絲場あり

養地として著はる。

四 東北線に沿へる、浦和は縣廳の所在地にして、附近より綿織物を出し、大宮は高崎線の分るゝ所に於て鐵道工場あり。その西方に當れる川越市は、養蠶機業の中心にして、所澤には航空學校あり。谷は繭生絲等の取引盛にして、鐵道を秩父地方に通ず。秩父盆地は、絹織物の産多く、秩父はその中心市場なり。



航空學校

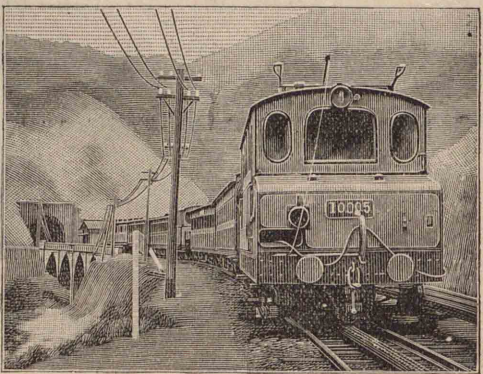
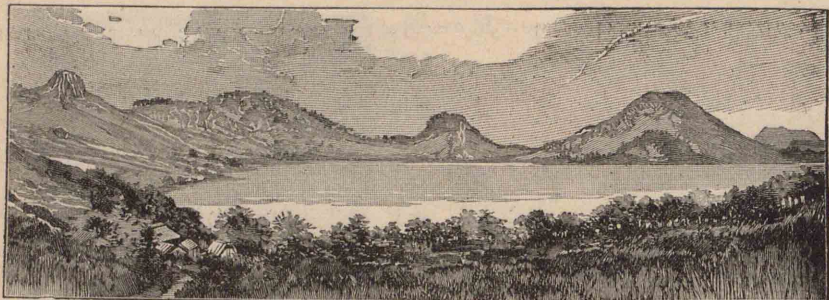
五 高崎市は、鐵道線路の會するもの多く、その中の信越線は、妙義山と榛名山との間を過ぎ、齒止軌道を用ひて、碓氷峠を越ゆ。妙義山は奇勝多く、榛名山は風光の美を以て著はれ、その山腹に伊香保あり、西境の草津と共に、名高き溫泉場なり。兩毛線に沿へる前橋市は、縣廳の所在地にして、繭生絲の大市場

伊勢崎の銘仙は産額全國第一なり 桐生に高等工業學校あり

栃木縣 (宇都宮) 下野

足利に足利學校の址あり 本縣は木綿縮の産全國第一なり

宇都宮に第十四師團司令部高等農林學校等あり 本縣は大麻の産全國第一なり



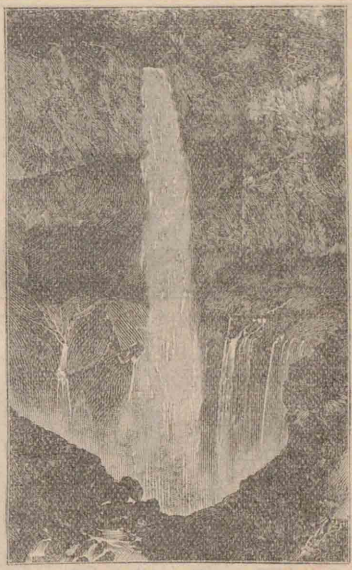
榛名山と碓氷峠の電氣列車

をなし、伊勢崎は、名高き銘仙の産地なり。桐生市は、本邦屈指の機業地にして、絹織物を産すること關東第一とす。足利市は名高き機業地にして、各種の織物を産すること多く、佐野は木綿縮の産に富み、栃木は繭生絲の集散行はる。東北線の鐵道は、小山にて兩毛水戸の二線と會し、宇都宮にて日光線を分つ。宇都宮市は縣廳の所在地にして、附近より干瓢を産し、鹿沼の附近には大麻の産多し。日光

中禪寺湖は海拔四千餘尺の高處にあり

本縣は煙草の産額全國第一なり

茨城縣(水戸)常陸下總一部

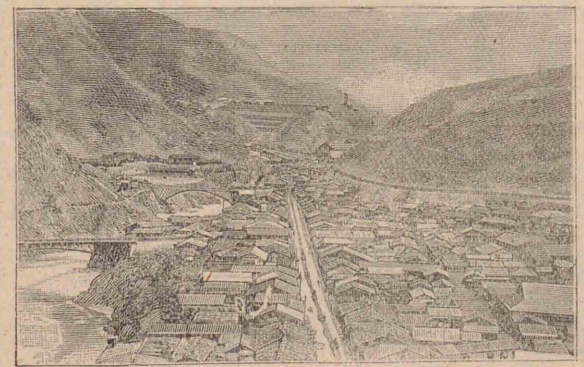


華嚴瀧の湖畔に聳ゆる

男體山は日光群山の主峰にして、西南の足尾には著名の銅山あり。

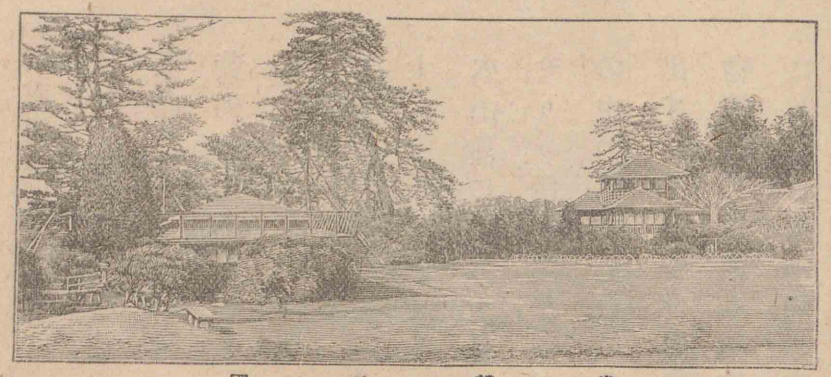
東部の那珂川流域には、煙草の産多く、烏山・茂木等はその中心をなし北境に聳ゆる那須山は活火山にして之に近き鹽原は名高き温泉場あり。

水戸線に沿へる結城は、結城紬の名産

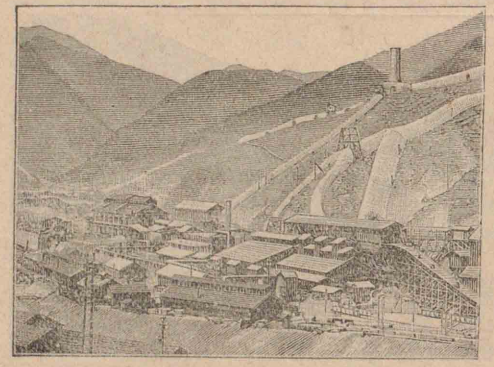


足尾の市街

鹿島神宮は武甕槌神を祀る。那珂川の口に臨める湊は水産物の集散多く附近に大洗の勝地あり。水戸に高等學校あり。太田の附近より寒水石が出す。日立は地より輸送し來れる金銀の精鍊廠多し。



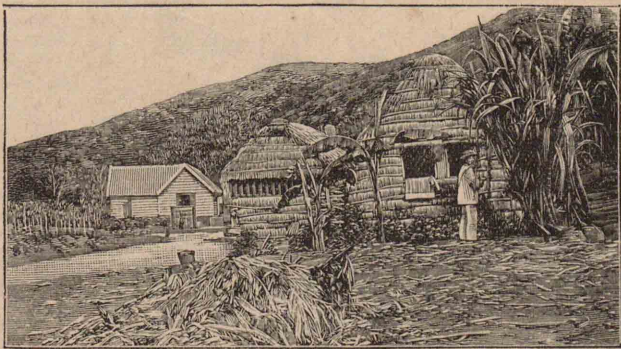
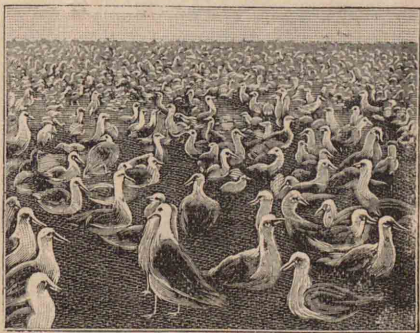
地に於て、東南の筑波山は關東の名山なり。霞浦に臨める土浦は、繭の集散行はれ、北浦に近き鹿島神宮は名高き古社なり。常那珂川に沿へる水戸市は名邑にして、縣廳及び梅に名高き常磐公園あり、太田の附近には煙草の栽培盛に行はる。北部の日立は名高き銅山にして、金銀の精鍊も亦行はれ、北境地方は石炭の産多く、常磐炭田の一部をなす。



日立の鑛山

小笠原島の住民は
歸化人の子孫少
からず

豆南諸島 豆南諸島は、伊豆諸島と小笠原諸島とに分れ硫黄列島・南鳥島等と共に東京府の管轄に屬す。多くは富士火山脈に屬する火山島にして、大島の三原山は常に噴煙せり。伊豆諸島の近海には水産多く、その中の八丈島は、八丈絹・椿油等の名産を出す。小笠原諸島は遙に南方に位し、氣候甚だ暖にして熱帯植物繁茂し、甘蔗鳳梨等の栽培行はる。父島の二見は、近海の良港にして、日米兩國の海底電線はこの地にて接續せり。



居住の人化歸と棲群の翁天信

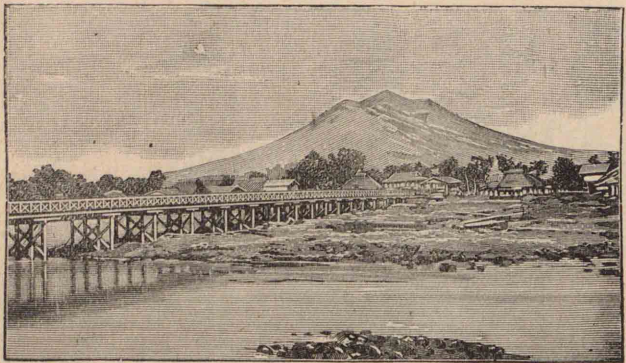
第二章 奥羽地方
通説

本州の東北部を占むるを以て、一に東北地方といふ、往時は奥州及び出羽と呼びたる地にして、政治上六縣に分たる。

地勢

北上・阿武隈等の山脈は東部に連り、奥羽山脈は中部を縦貫して、那須火山脈此處を通じ、又西部には、鳥海火山脈を伴へる出羽丘陵及び越後山脈などありて、自ら三條の高地を

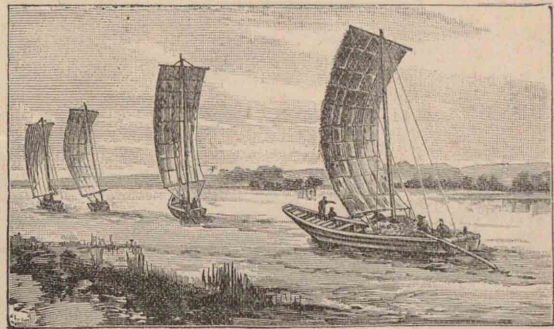
國名 磐城 岩代 陸前
陸中 陸奥 羽前
羽後
面積 約四三三七方里
人口 約五七九萬人
密度 約一三三〇人



岩木川の岸より岩木山を望む

區劃	福島縣	宮城縣	岩手縣	青森縣	秋田縣	山形縣
縣所在地	福島市	仙台市	盛岡市	青森市	秋田市	山形市

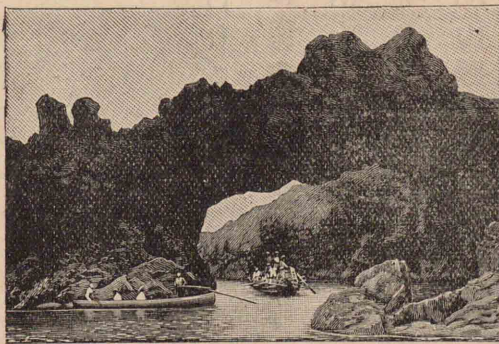
最上川は富士川・球磨川と共に古來三急流の名あり



(景光の帆籠) 川上最

作り、それ等の間に、細長き平野及び數多の盆地を挾めり。

河川は多く山脈に沿ひ、或は盆地を貫きて流る。その主なるものは、東に阿武隈川、北上川等あり、西に阿賀、最上、雄物、米代、岩木などの諸川あり。それ等の流域には、仙臺平野、庄内平野を始め、沃野少からず。



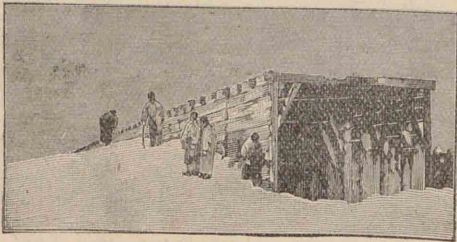
景奇の島半鹿男

男鹿半島には寒風山ありてその沿岸は風景佳なり

海岸 三面海に臨み、北には津輕、下北の兩半島ありて、陸奥灣を抱く。東岸の一部は小き屈曲多く、牡鹿半島その南部にありて、仙臺灣を圍む。西岸は男鹿半島の八郎潟

青森縣は苹果の産全國第一とす

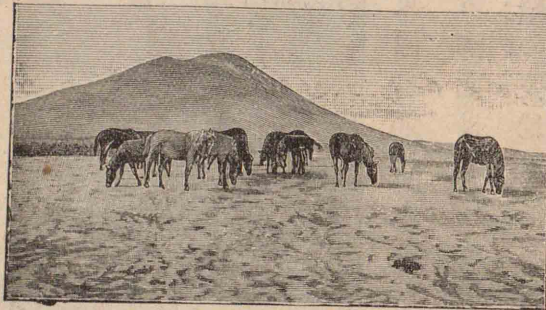
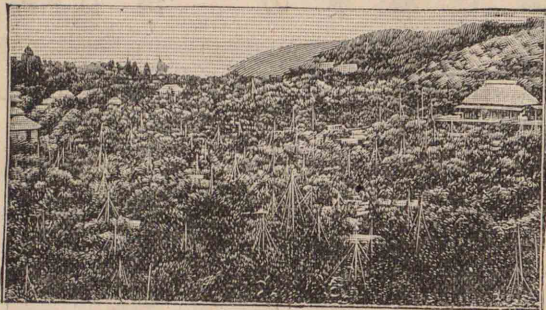
秋田縣には小阪・尾去澤・阿仁・不老倉・荒川等を始め著名の鑛山多し



汽雪の除車

を抱ける外、概ね單調の砂濱をなせり。**産業** 氣候・地味等の關係により、面積の割合に耕地狭けれども、庄内・仙臺等の平野には米穀の産多く、馬鈴薯は廣く各地より産し、北部にては苹果の栽培行はる。南部の地方は

養蠶頗る盛にして、東部一帯の諸縣には馬の牧養行はる。林業は秋田・青森の二縣殊に發達して、良材の産多く、鑛業は秋田縣最も盛にして、銅・銀・石油等の産

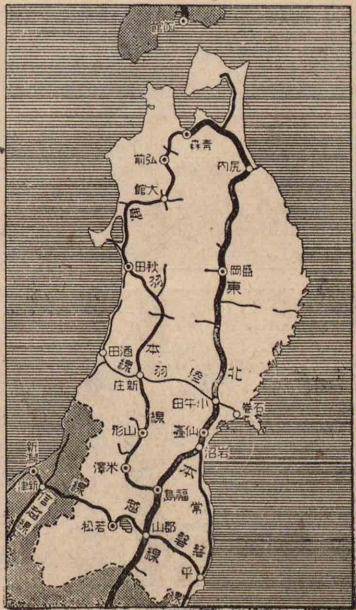


(麓山手岩)場牧と(麓山水岩)園果苹

- 1 福島・青森間
- 2 新津・平間
- 3 酒田・小牛田間

に富み、岩手縣の鐵、福島縣の石炭等も亦名高し。漁業は、重に太平洋面に行はれ、近海遠洋の水産少からず。

交通 東北線の鐵道は、この地方の幹線をなし、常磐線、奥羽線等と共に南北に通じ、磐越線、陸羽線等は東西に通じて、共に主要の都邑を聯絡す。海運は、良港乏しく、且日本海面は、冬季風浪荒く、航海上の障害少からざれども、北海道と聯絡の要地に當るを以て、彼我の航通頗る繁し。



震 詠

面積は關東の二倍に當れども人口はその半に達せず、従て大都

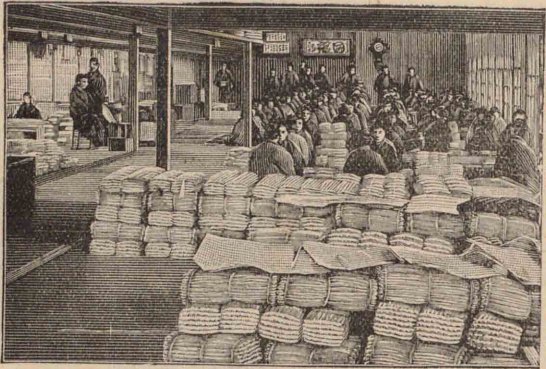
福島縣 (福島)
磐城大部
岩代

白河關は「都をば霞と共に立ちしかど秋風ぞ吹く白河の關」の古歌に知らる。

能因法師

福島に高等商業學校あり又附近に飯坂温泉あり

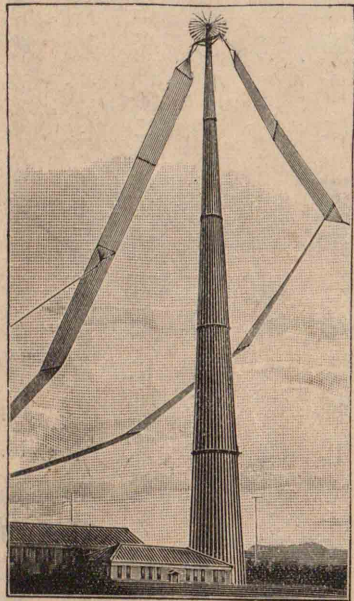
若松の市外に白虎隊の墓及び東山温泉あり



生絲の荷造 (福島)

二重の大市場なり、川俣は羽二重の産に著はる。

若松市は會津盆地の中心地にして、市の内外には漆器



原町の無線電信局

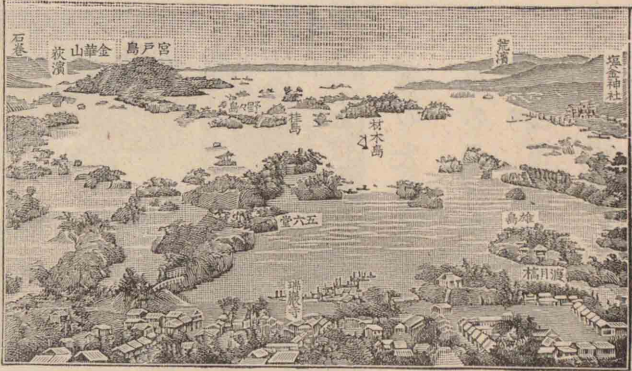
市と稱すべきもの少し。

東北線に沿へる白河は、名高き馬の市場にして、附近に白河關の址あり、三春の附近よりも亦多く馬を産す。この北方には、養蠶製絲の中心たる都邑多く、その一なる郡山は、磐越線の交叉する所なり。福島市は奥羽線の起點に當り、縣廳の所在地にして、

猪苗代湖は電力に利用せられその電力は東京に送らる
原町は送信局にして南方の富岡に受信局あり

宮城縣 (仙臺) 警城一部 陸前大部 仙臺に第二師團司令部・第三高等學校あり

松島は天橋立・嚴島と共に古來三景の稱あり



松島灣の小港なり。の小島散在して、青松その上に生ひ、風景甚だ佳なり。石巻は北上川の口に

陶器等の産多く、附近の磐梯山は猪苗代湖と共に風景佳なり。東海岸の中村は相馬焼の名産地にして、原町には壯大なる無線電信局あり。平の附近には石炭の産多く、この西南に勿來關の址あり。
仙臺市は東北第一の大都にして、縣廳及び東北帝國大學あり、仙臺平埋木細工を名産とす。市の東方に古の宮城野ありて多賀城の址を
残し、鹽釜は松島灣には無數



多賀城の碑

金華山は眺望廣闊にしてその沖合は好漁場なり

岩手縣 (盛岡) 陸前一部 陸奥一部 陸前大部

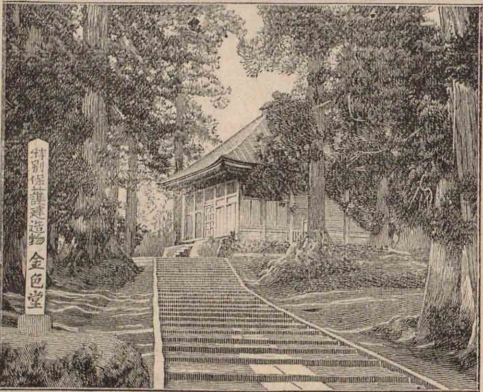
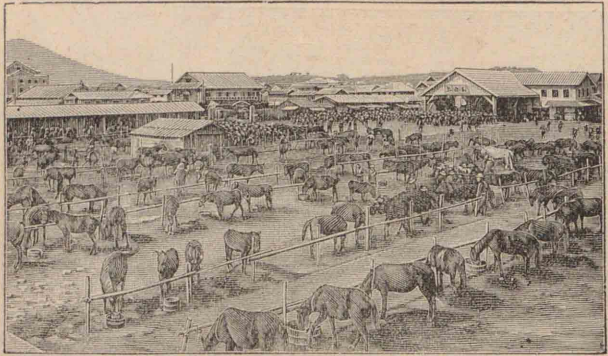
水澤に緯度觀測所あり

中尊寺の金色堂は美術上著名の遺物なり
盛岡に高等農林學校あり

岩手山の麓には牧馬盛なり

鐵の産多きこと府縣中第一なり

位し、米の積出多けれども、海水淺きが故に、大船は牡鹿半島の萩濱に寄航す。縣の西北部には馬の飼養行はれ、又溫泉多く、鬼首は間歇泉を以て著はる。



盛岡の馬市と中尊寺の金色堂

一、關は縣の南口に位し、平泉の附近には中尊寺を始め衣川等の史蹟多し。盛岡市は縣廳所在地にして鐵瓶の名産を出し、又馬の市場として著はる、名高き岩手山は市の西北に聳ゆ。東海岸には、宮古釜石等の港市あり、釜石は名高き鐵

青森縣 (青森) 陸奥大部

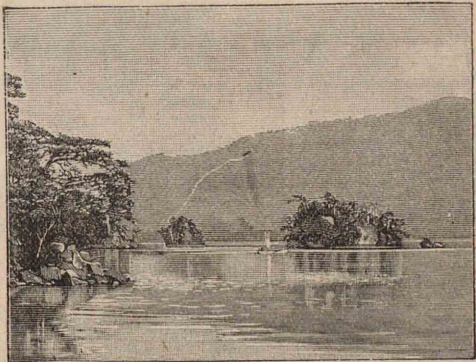
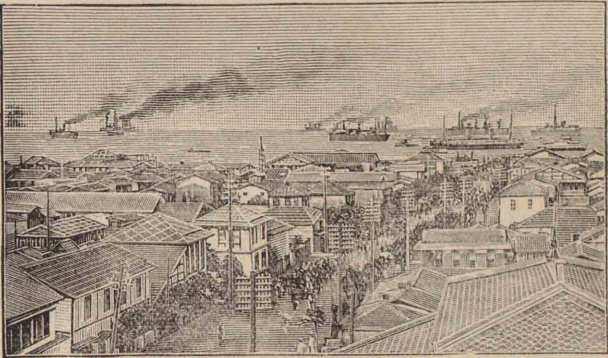
青森・函館間の聯絡船は四時間を要す

下北半島に安倍城銅山あり

弘前に高等學、第八師團司令部あり

津輕半島には良材の産多し

秋田 (秋田) 陸中一部 羽後大部



青森の頭埠と十和田湖の光景

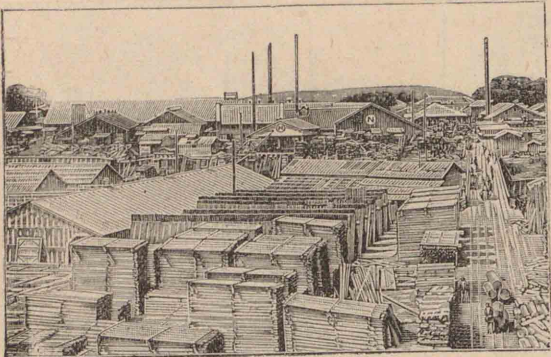
山を控へ、大なる製錬所あれども、内陸との交通不便なり。

四八戸は東部の名邑にして、この北方には牧場多く、西方の十和田湖は勝景に著はる。青森市は縣廳の

所在地にして北海道と聯絡の要地に當り、奥羽唯一の開港場なり。下北半島の大湊は、海軍要港とす。弘前市は津輕平野の中心に位し、附近は苹果の産多く、又津輕塗・木通細工を名産とす。米代川の上流には、小坂尾去澤・阿仁等著名の鑛山ありて、銅・銀

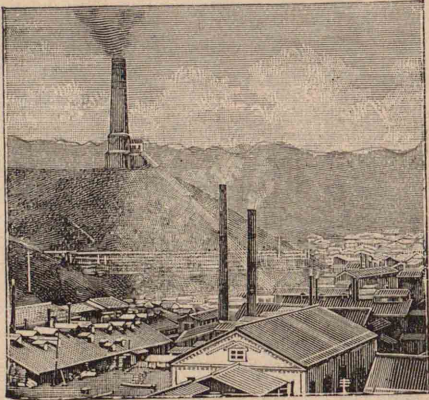
秋田に鑛山専門學校あり

山形縣 (山形) 羽後一部 羽前



木材の集積 (能代港)

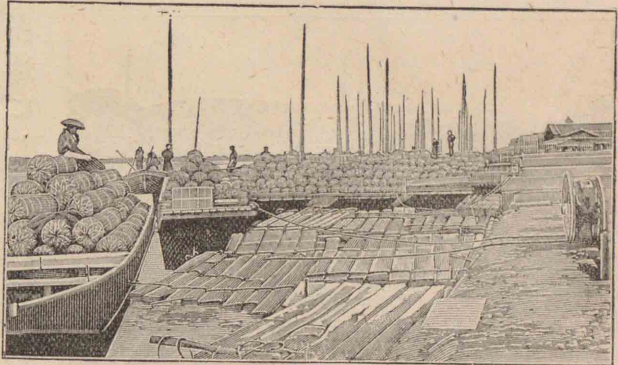
の産甚だ多し。杉の良材を産すること亦多く、河口の能代港は製材盛にして、又春慶塗の名産あり。秋田市は縣廳の所在地にして、絹織・銀細工等を産し、この北方より多く石油を出す。土崎港は、雄物川の河口に位し、秋田の門戸をなす。荒川は著名の銅山にして、横手は交通の要地に當り、南境の鳥海山は奥羽の名山なり。最上川の口に臨める酒田は、米穀の積出盛にして、鶴岡は庄内平野の中心をなし、羽二重の産出多し。平野の東を限れる山



小阪鑛山

月山・羽黒山は月山の一部たる湯殿山と共に羽前三山と呼ばれ夏季登山者多し
山形に高等學校あり
米澤に高等工業學校あり

國名 尾張 三河 遠江 駿河 甲斐 伊豆 美濃 飛騨 信濃 若狹 越前 加賀 能登 越中 越後 佐渡
面積 約四三〇三万里
人口 約一〇六〇萬人
密度 約二四六〇人



酒田港の米穀積出

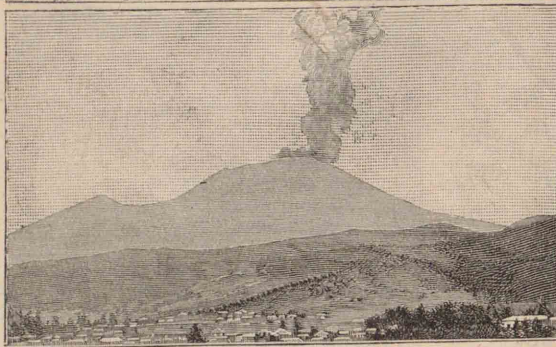
地には、月山・羽黒山等の名山あり。新庄は鐵道交通の要地にして、山形市は縣廳の所在地なり、この附近より櫻桃を産す。米澤市は養蠶業の中心をなし、米澤織の産を以て著はる。

第三章 中部地方

通説

本州の中部を占め、幅の最も廣き部分にして、政治上九縣に分たる。

地形 北彎・南彎の兩山系相會する所にして、日本アルプスと呼ばれる、飛騨山脈は、中央部を殆ど南北に走り、木曾赤石の二山脈はその東南に並び、關東・三國・越後等の山脈は東境に相連り、又飛騨山脈



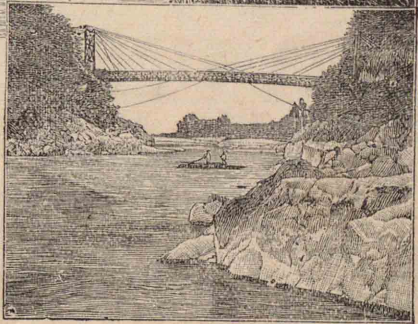
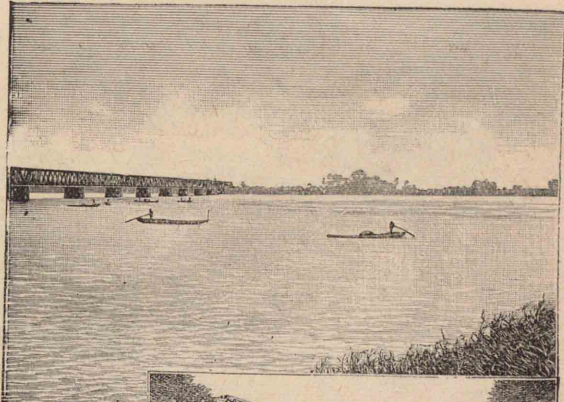
日本アルプスと淺間山

の西は一體に飛騨高地をなせり。この他火山の名高きもの亦多く、富士山脈は南北兩彎の間を通じて、富士山を始め、八ヶ嶽・妙高山・天城山等並び聳え、那須火山脈は東境に迫りて、名高き活火山たる淺間山を起し、飛騨山脈は、乗鞍火山脈を通じて、乗鞍嶽・御嶽等の高峰を戴き、飛騨高地の西には、白山火山脈に屬す

區劃	縣所在地
静岡縣	静岡市
愛知縣	名古屋
岐阜縣	岐阜市
長野縣	長野市
山梨縣	甲府市
新潟縣	新潟市
富山縣	富山市
石川縣	金澤市
福井縣	福井市

親不知の海岸は高山近く時ちて雄壯なる絶壁をなせり往時はこの水汀を往來せしが今は鐵道の便あり

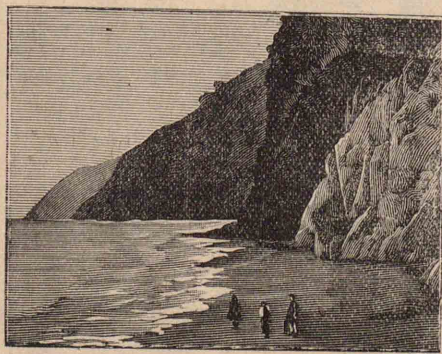
大井川は昔時蘆葦波ありし爲に著名なり



(下) 龍天峽と(上) 木曾川の流下

大井川・富士川、日本海面の神通川・庄川・九頭龍川等も亦大河として知らる。
太平洋岸には、東部に伊豆半島ありて駿河灣を抱き、西部に渥美・知多の兩半島

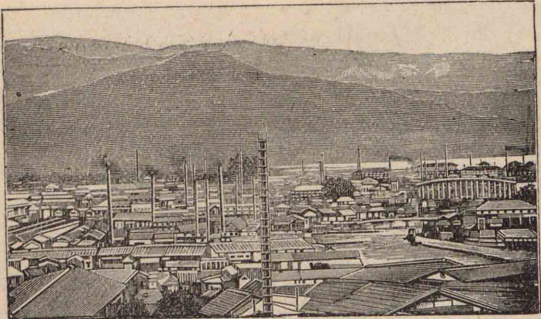
を開けり。その他、太平洋面の天龍川



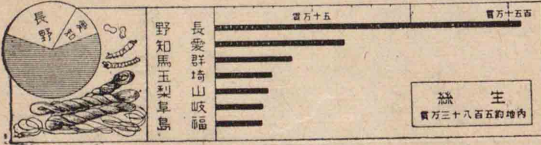
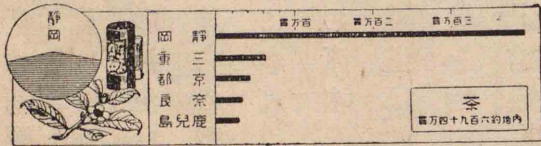
親不知の海岸

る白山あり。河川は多く南北に分れ、往々峽谷をなして、水勢概ね急なれども、信濃川・木曾川等の下流には越後・濃尾等の廣き平野

若狭灣には敦賀灣・小濱灣等の支灣多し

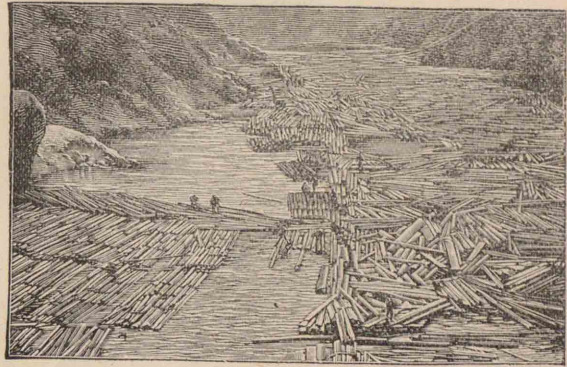


製絲場(長野縣岡谷)



ありて三河灣と伊勢海とを作る。日本海岸の西部には出入多き若狭灣あり、中部には能登半島の富山灣を抱ける外、概ね單調にして砂濱多けれども、往々親不知の如き斷崖をなす處あり。
〔産業〕 氣候概ね良好にして、農業發達し、濃尾・越後の兩平野を始め各地に米の産多く、静岡縣は茶園廣く、又蜜柑等の果實を産し、山梨縣には葡萄の特産あり。中央高地の附近には養蠶製絲發達し、長野縣は殊に盛な

木材は溪谷より次第に大川に出し後之を筏に編みて流下す錦織はその編筏地なり



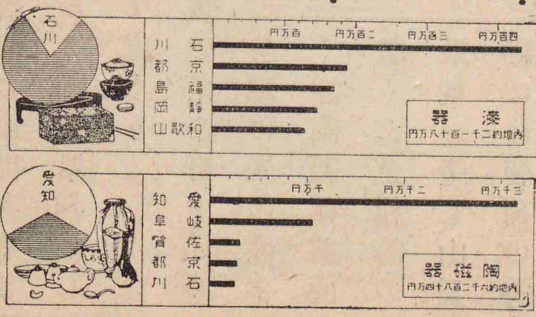
木曾川の運材

1 米原・直江津間
2 高崎・新潟間

是等に聯絡する數多の支線ありて、交通の便頗るよろし。海岸は所々に良港ありて、汽船の出入頗る繁く、中にも若狭灣内の敦賀は、西比利亚との聯絡上、主要の港なり。

り。鑛産は新潟縣の石油・金等を主とし、木曾の林産も亦著しく、沿海は漁利に富み、伊豆半島の近海は殊に多し。機業大に發達し、北陸地方の羽二重と、濃尾平野の綿織物とは殊に名高く、又陶器・漆器等の産多し。

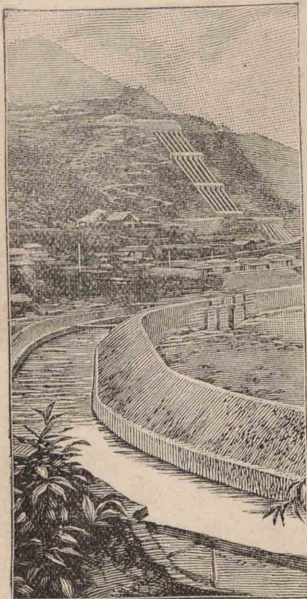
交通 鐵道は、幹線たる東海道線を始め、中央線・北陸線・信越線等あり、又



處談

この地方は、古來東西交通の要路に當りしを以て、都邑の發達著しく、人口の密なること關東近畿に次ぐ。

中央線の鐵道は桂川



桂川の發電所

の溪谷に沿ひて山梨縣に入る。桂川の流域地方を郡内と呼び、海氣織の産出多し、谷村をその中心とす、この上流



山梨縣 (甲府)
甲斐

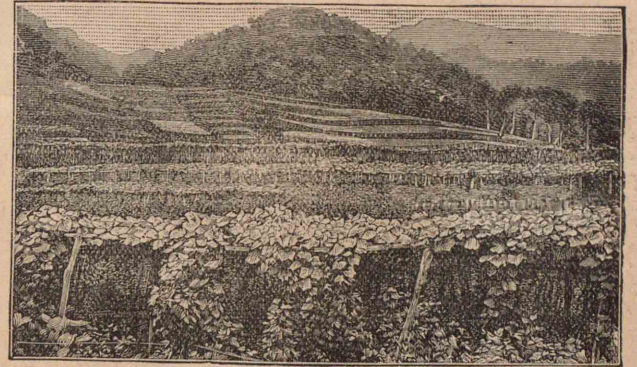
桂川には古來奇構に名高き猿橋を架す

笹子隧道は延長一里餘あり

身延山には日蓮宗の一本山たる久遠寺あり

静岡縣 (縣岡) 駿河 遠江 伊豆 (島以外)

熱海の大湯は名高き間歇泉なり

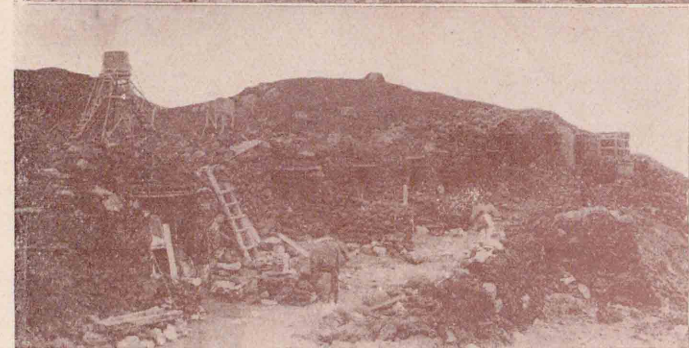


勝沼附近の葡萄園

に大發電所あり。笹子峠には我が國最長の隧道を通じ、その西北に勝沼あり、この附近は葡萄の産多し。甲府盆地の甲府市は縣廳の所在地にして、生絲の集散多く、又水晶細工を名産とす。北方の御嶽は奇勝を以て聞え、金峯山には水晶の産あり。南方の身延山は日蓮宗の靈場なり。

富士山は山容の秀麗を以て世界に名高く、夏日登山するもの多し、御殿場大宮吉田(山梨縣)等は、その登山口に當り、大宮の附近伊豆半島は山勝ちにして、修善寺熱海等の名高き温泉多く、南端に下田の港市あり。駿河灣の沿岸地方は、氣候溫和にして、沼津興津等の保養地多く、清水は開港場にして盛に

大宮よ望りたみ富る山士



山腹の石室

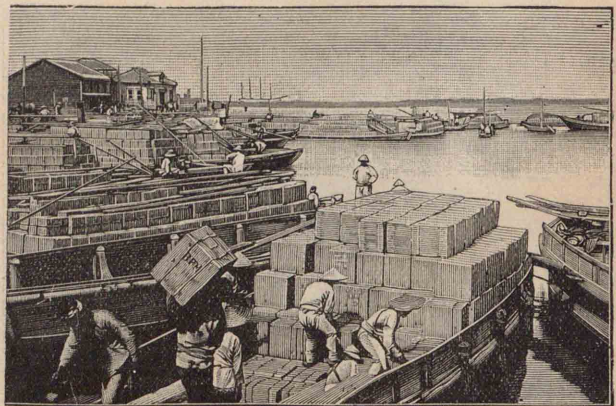


登山の光景

天龍川の上流地方に秋葉山及び久根銅山あり
 静岡に高等學校あり
 濱松に高等工業學校あり
 濱松の北方に三方原の古戰場あり

愛知縣 (名古屋)
 三河 尾張

豊橋市に第十五師團司令部あり
 鳴海の附近に桶狭間の古戰場あり
 龜崎・半田に酒・酢・醬油・ビール等の産あり
 名古屋に第三師團司令部・醫科大學(縣立)第八高等學校・高等商業學校・高等工業學校等あり



清水港に於ける茶の輸出

茶を輸出し、又三保、松原を控へて、風景甚だ明媚なり。安倍川の流域及び附近には、茶の産多く、その中心たる静岡市は、縣廳の所在地にして、茶紙等の集散行はれ、又漆器、竹細工等を産す、この附近に久能山の名地あり。西部の濱松市は工業盛にして、綿織樂器等を産し、近傍の濱名湖は、沿岸に勝地多し。

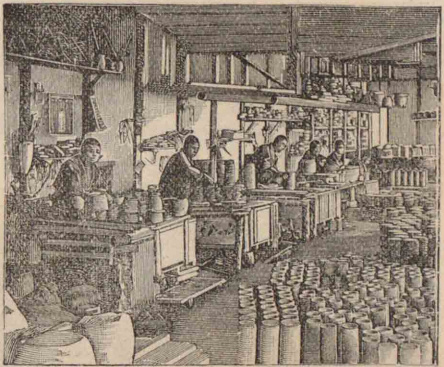
豊橋市は製絲業盛にして、東北の豊川は、稻荷の社に名高し。矢作川に近き岡崎市は、徳川氏の起りし處にして、鳴海は、絞木綿の名産地なり。知多半島の龜崎・半田は、共に醸造行はれ、武豊は開港場にして、常滑は土管を産す。
 名古屋市は鐵道交通の要地に當り、縣

東海道線・關西線・中央線等の鐵道此に會し又西北の一宮より尾西鐵道を分つ

名古屋城の天守閣は離宮となれり

岐阜縣 (岐阜) 美濃 飛騨

市東の各務原に陸軍の飛行場あり

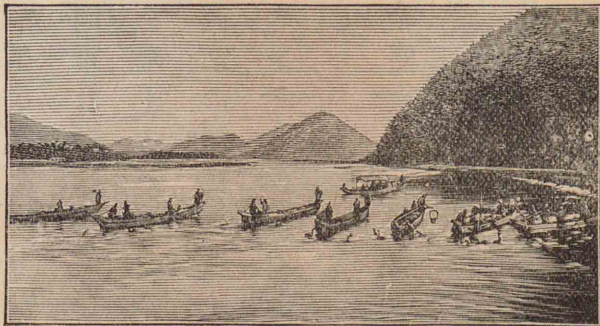


瀬戸の製陶

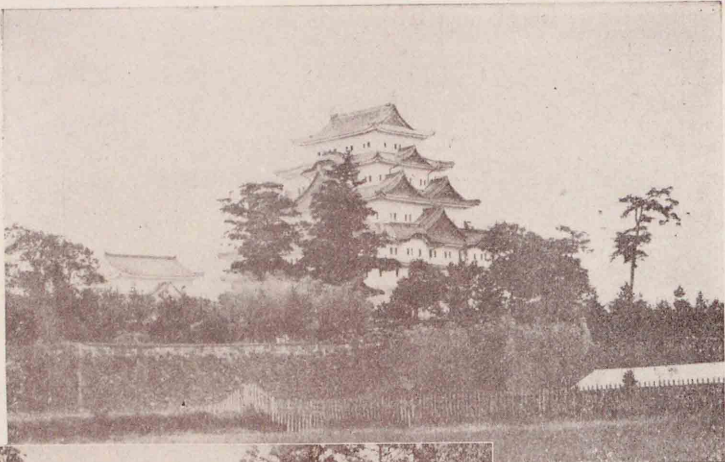
名地あり。名古屋に近き瀬戸は、陶器の大産地にして、一宮市は機業盛なり。

四 岐阜市は縣廳の所在地にして、絹織物紙等の集散多く、又提灯・團扇等の名産あり。鵜飼に名高き長良川は市北を流れ、その上流地方は美濃紙の産多し。大垣市は米の集散多

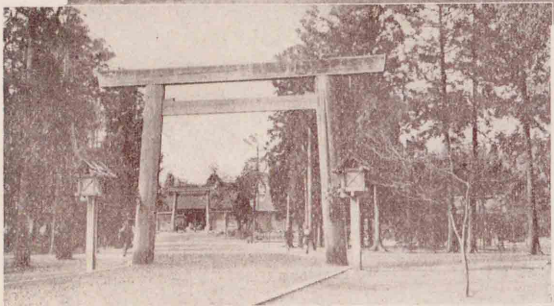
廳所在地にして、その港は開港場なり。市の内外には、綿絲・綿織物・時計・陶器等の産多く、又扇子・七寶燒等の名産ありて、商工業の大中心をなし、中京の稱あり。市内には金の鯨に名ある名古屋城及び熱田神宮等の



長良川の鵜飼



名古屋城



熱田神宮



名古屋市街(廣小路通)

大阪は大理石の名産地なり

長野縣 (長野) 信濃

木曾谷の寢覺床は名高き勝地なり

諏訪湖の附近より寒天を産す



養老瀧

く、その西南には孝子の談に名高き養老瀧西方には關原の古戦場あり。飛驒高地の高山は製絲業盛にして、又春慶塗一位細工の名産を出し、東

部の多治見は陶器の産多く、中津は製絲業盛に下はる

木曾川の溪谷は勝地多く、又良材の産を以て著はれ、天龍川の沿岸には飯田の名邑あり。諏訪湖の附近は製絲業盛にして、岡谷はその中心をなす。諏訪湖は採氷及び氷滑の遊戯場として名高く、湖畔に上諏訪下諏訪の名邑あり。松本市は養蠶業の大中心にして、



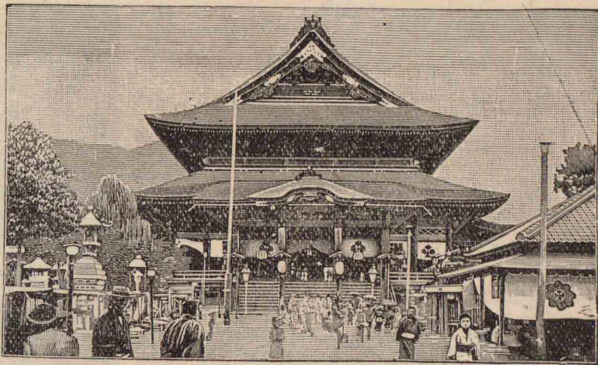
諏訪湖の上のケース

松本に高等學校あり
松本の附近に姥捨山の名地あり
上田に蠶絲専門學校あり
長野の附近に川中島古戰場あり

新潟縣 (新潟)
越後 佐渡

高田に第十三師團司令部あり
新津附近を新津油田、長岡附近を東山油田、柏崎附近を西山油田といふ

新津は信越線・磐越線及び村上線の集る所なり
新潟に醫科大學・高等學校あり

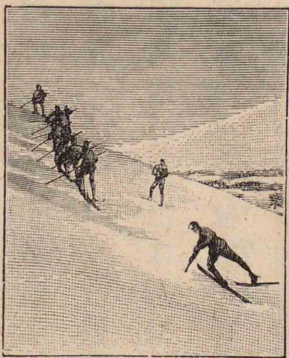


善光寺の本堂

繭の集散多く、東部の上田市も亦養蠶業の一中心をなし、織物を産す。長野市は縣廳の所在地にして、名高き善光寺あるを以て、參詣するもの常に賑へり。

高田市は、古來積雪の深きを以て名高く、直江津は交通の要地なり。長岡市は、柏崎と共に石油業の大中心にして、米の取引亦多く、市况繁盛なり、この西南の小千谷十日町は、共に織物を産す。五泉は五泉産す。

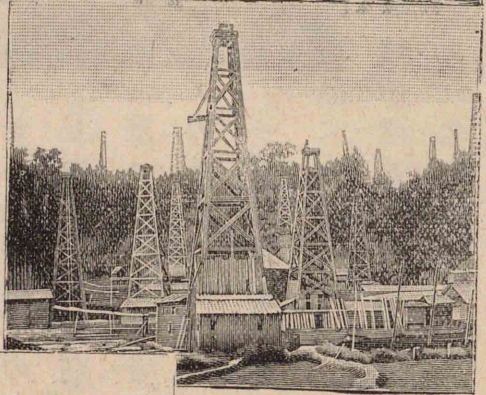
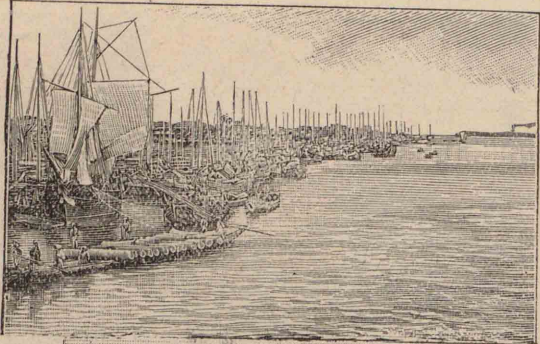
平の名産地にして、新津は鐵道の集點に位置し、石油業の一中心をなす。
新津市は信濃川の河口に臨み、縣廳所在



一キス(麓山高妙)

富山縣 (富山)
越中

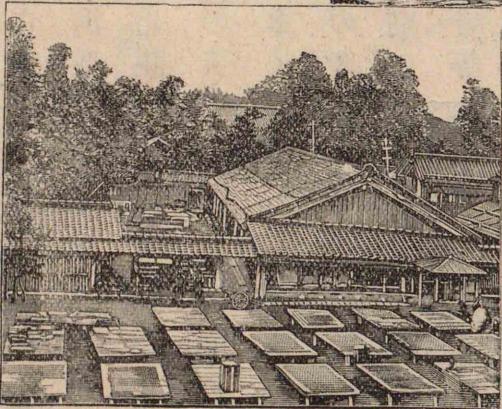
富山に藥學専門學校あり
賣藥行商人は全國に到らざる所なし



信濃川と石油坑

金山あり。

神通川に沿へる富山市は、縣廳所在地にして、古來賣藥の製出に著はれ、この東南に名高き立山あり。高岡市は、鐵道の交叉點に當り、銅器漆器を産し、城端は



富山の製藥

地にして、古き開港場なれども、碇泊に不便なれば、佐渡の夷をその副港となす。相川には古より著名なる

魚津の海上には春夏の交時々曇氣樓の現はるゝことあり

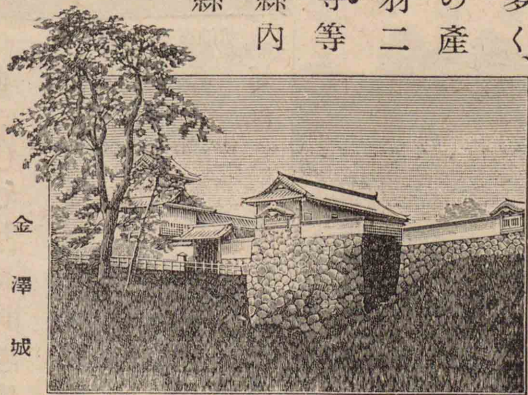
石川縣 (金澤)
加賀 能登

金澤に第九師團司令部・第四高等學校・高等工業學校・醫學專門學校あり



寺は山代と共に九谷焼を産し、山中は漆器を産す、山代・山中は、共に名高き温泉場

羽二重機業の中心をなし、伏木は開港場にして、米の積出盛なり。
兼 金澤市は北陸第一の大都會にして縣廳及び林泉の美に名高き兼六園あり、
六 羽二重の産出多く、
九谷焼漆器等の産も少からず。羽二重は、小松・大聖寺等の各地に産し、縣内の産額は福井縣に次ぐ。大聖



金澤城

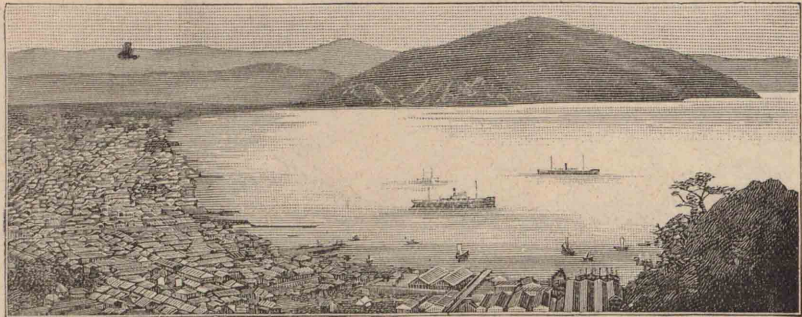
七尾の附近に和倉温泉あり

福井縣 (福井)
越前 若狹

福井の市中に藤島神社(祭神新田義貞)又東方に永平寺あり

九頭龍川の口に三國港あり

敦賀港の圖中右方に樹木の茂れるは金崎城址にして金崎宮祭神尊良恒(良の兩親王)あり
武生は鳥の子紙奉書紙等の名産あり
敦賀より浦潮斯徳への渡航は約四十時間を要す



敦賀の港の展望
なり。七尾線を通ずる七尾は開港場にして北方の輪島は輪島塗の名産地なり。
九頭龍川流域の福井市は縣廳の所在地にして、羽二重機業の大中心をなし、市況甚だ盛なり。この邊は羽二重の大産地にして、東方の大野も亦その製造行はれ、武生には紙蚊帳等の産あり。敦賀は日本海岸第一の商港にして、浦潮斯徳との聯絡上重要な地點を占め、小濱は若狹塗の名産地にして、その近海は漁利に富む。

第四章 近畿地方

通説

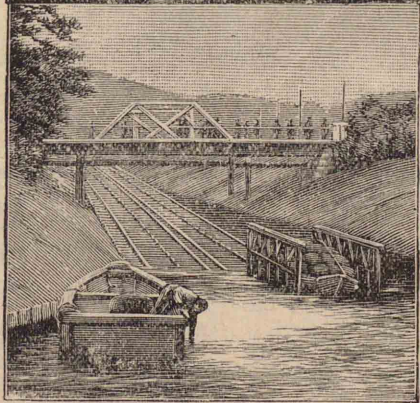
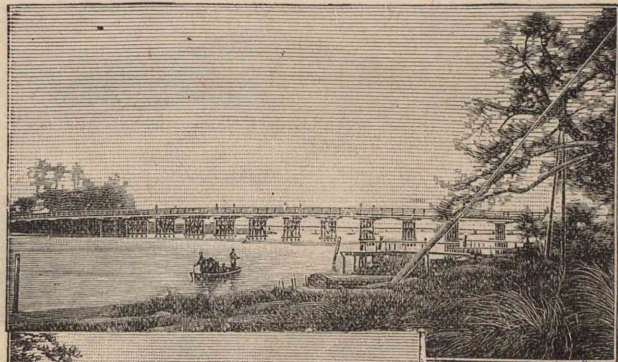
國名 山城 大和 河内
 和泉 堺津 伊賀
 伊勢 志摩 近江
 丹波 丹後 但馬
 播磨 淡路 紀伊

面積 約二一三万七千里
 人口 約九二一萬人
 密度(一平方里) 約四三〇〇人

淀川は桂川・賀茂川・宇治川・勢多川下流・木津川等諸水を入る

昔時我が國の中樞たりし畿内と、その附近の地とにして、政治上二府五縣に分たる。

地勢 北部には中國山脈ありて、白山火山脈之と並び、南部には紀伊山脈あり、是等の間には、鈴鹿空置金剛等の小山脈ありて、數多の盆地を



勢多川と水疏のクニイラシ

兵庫縣	大阪府	和歌山縣	三重縣	奈良縣	京都府	滋賀縣	區劃
神戸市	大阪市	和歌山市	津市	奈良市	京都市	大津市	府縣所在地

地を挟む。近江盆地には琵琶湖ありて勢多川を流出し、又疏水によりて京都と通ず。河流の最も大なるは、淀川にし

熊野川は十津川・北山川の合流なり

て、下流に豊沃なる大阪平野を開き、その他北部に由良川・市川・加古川、南部に紀川・熊野川・宮川等あり。

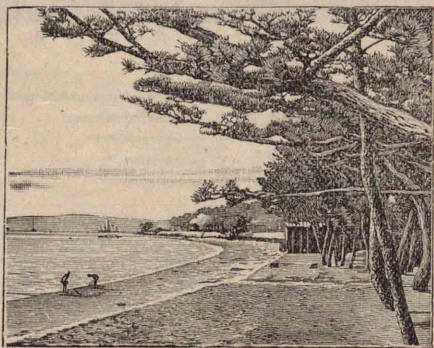
海岸

日本海岸は單調なれども、太平洋面には紀伊半島突出し、更に志摩半島を出して、伊勢海と熊野灘とを分つ。西面の大部は大阪灣・播磨灘に沿ひ、白砂青松の勝地多く、その海上に淡路島あり。

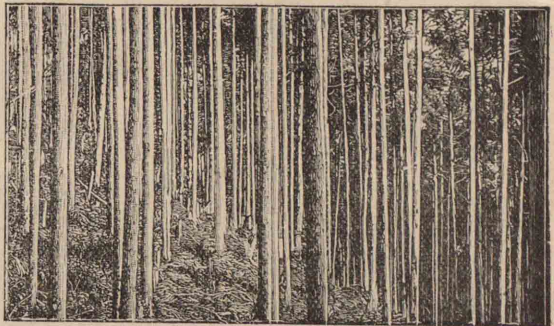


茶の摘取(宇治)

産業 開化古く、人口多く、農耕頗る發達して、米・麥・茶・菜種等の産多く、紀伊半島には蜜柑の栽培盛なり。南部は林地廣くして、良



須磨の海岸



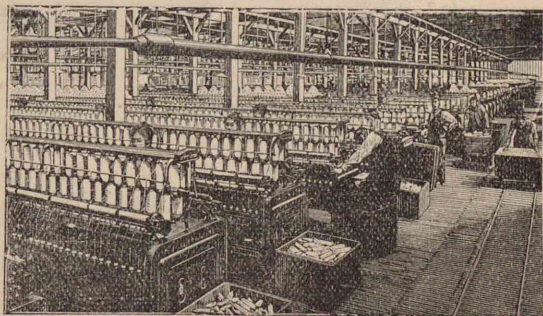
吉野の杉林

地帯にし
て機械
工業盛

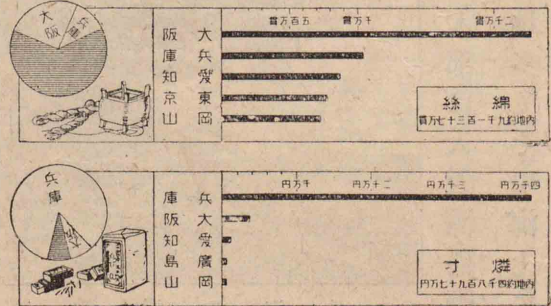
大を極め、京都は美術工藝の中心をなす。従て商業も亦甚だ繁盛なり。

交通

東海道線の鐵道は、



紡績工場内の部



材の産に富み、北部には牛の牧養行はれ、沿海は製鹽・漁業盛なり。綿絲・綿織物・絹織物・莫大・小綿・ネル・燐寸等を始め、各種の工業甚だ多く、殊に大阪灣沿岸の地方は、我が國第一の工業

- 1 神戸・下關間
- 2 大阪・名古屋間
- 3 京都・三隅間

滋賀縣 (天津)
近江

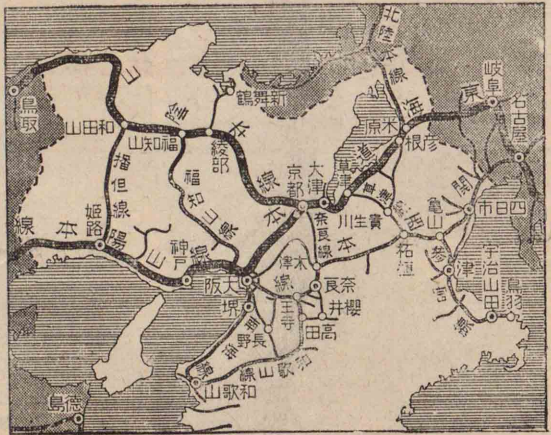
琵琶湖は周圍約六十里ありて水産に富む
彦根に高等商業學校あり

山陽線と共にこの地方の幹線をなし、關西線・山陰線等、殆ど之と相並びて東西に走り、その他、南北に通じて、是等を連ぬる線路も少からず。海運は大阪と神戸とを中心として、内外の要港と通ず。

處 誌

永く文化の中心となりしを以て、名勝古蹟廣く散在し、大都小邑の發達せるもの甚だ多く、人口の密なること關東に次ぐ。

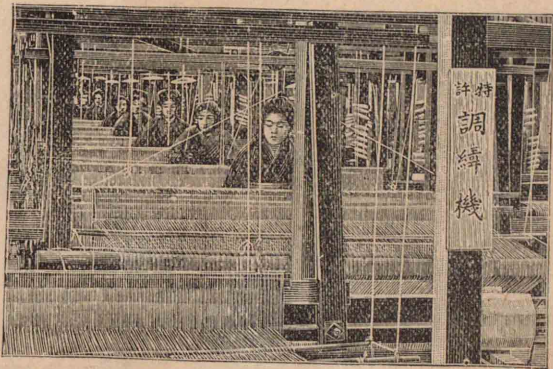
東海道線の鐵道は、伊吹山の麓を過ぎ、米原に至りて北陸線に分つ。琵琶湖に沿へる長濱は、縮緬の産に名高く、この西北の湖中に竹生島の勝地あり。彦根は湖東の名邑にして、八幡は麻織物の



近江八景
三井晚鐘・石山
秋月・瀬田夕照・
粟津晴嵐・矢橋
臨帆・唐崎夜雨・
堅田落雁・比良
暮雪

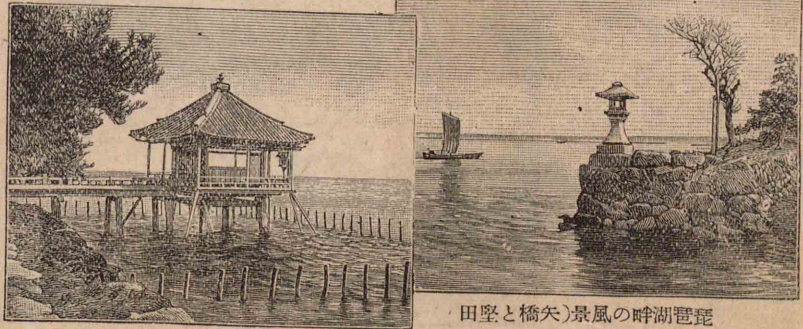
京都府 (京都)
山城 丹後
丹波一部

京都に第十六師團
司令部・第三高等
學校・高等工藝學
校等あり

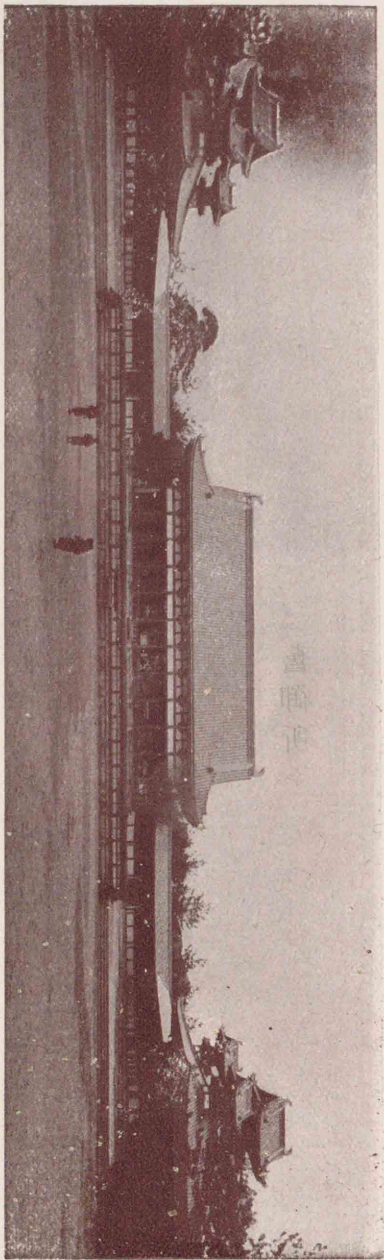


産多し。草津は鐵道
の要地に位し、大津市
は、縣廳の所在地にし
て、湖上航運の中心を
場なす、三井寺・石山寺を
始め、所謂近江八景は
部多くこの附近に散在
し、比叡山には延暦寺の
名刹あり。

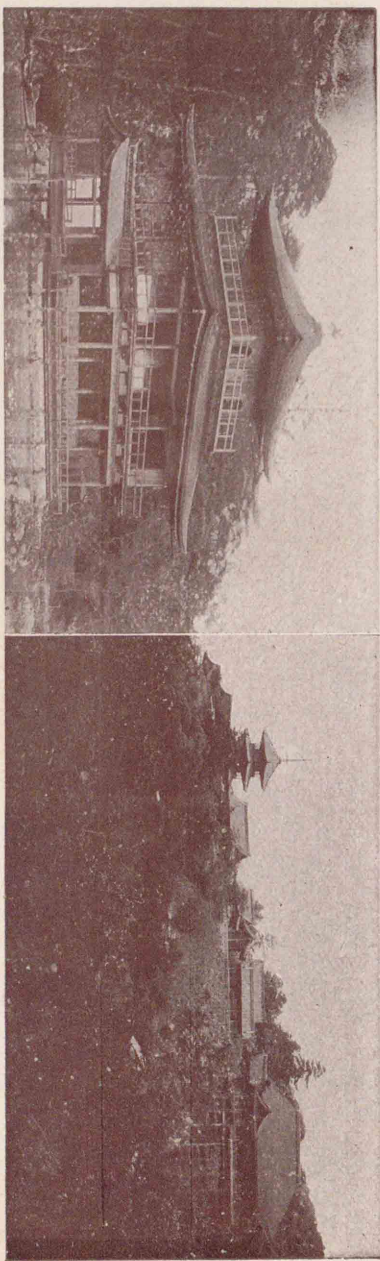
京都市は三方に山を繞らし、賀茂川市中を
流れて風景甚だ秀麗なり。永く帝都の地たり
しを以て、市の内外には、舊御所を始め、名高き神
社・佛閣古跡等甚だ多く、又府廳京都帝國大學等



琵琶湖畔の風景(橋矢と堅田)



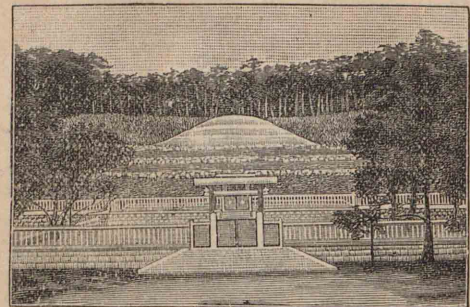
京都府庁



金剛寺

清水寺

社寺の中、平安神宮（祭神桓武天皇）・豊國神社（祭神豊臣秀吉）・北野神社（祭神菅原道真）・知恩院（浄土宗本山）・銀閣寺・金剛寺・泉涌寺・西本願寺（真宗東派及び西派の本山）・清水寺・三間堂・東寺（真言宗本山の一）等は最も著る



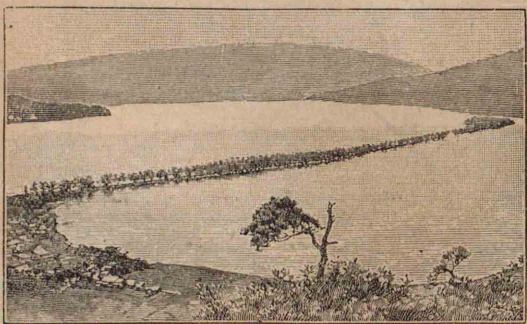
桃山御陵

あり 美術工藝品の製作盛にして、絹織物・有
 禪染・刺繡・清水焼・粟田焼・漆器等を産し、中にも
 西陣織は最も名高し

伏見は京都の南方に連り、郊外の桃山には
 明治天皇及び昭憲皇太后の御陵あり、宇治は茶
 の名産地とす。西北の
 峯山は縮緬の産を以て

名高し。若狭灣内の舞鶴は海軍要港にして、
 西方に宮津の開港場あり、天橋立、その前面に
 突出して、風景甚だ佳なり。

奈良盆地の奈良市は古の帝都にして、縣
 廳女子高等師範學校等の所在地なり、三笠山



天橋立

奈良縣 (奈良)

正倉院は勅封の寶庫にして東大寺は華嚴宗の本山・興福寺は法相宗の本山なり

春日神社は天兒屋根命その他を祀る

畝傍山は神武天皇の御陵にして附近に橿原神宮（祭神神武天皇）あり

多武峰には談山神社（祭神藤原鎌足）あり

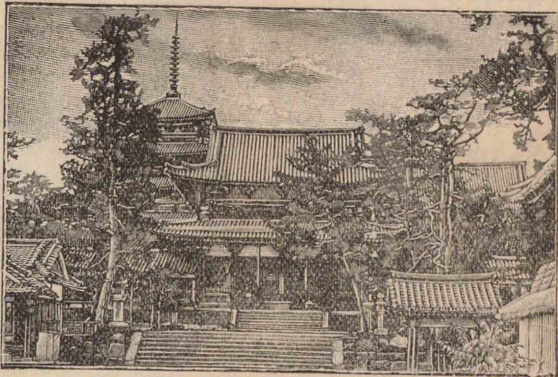
吉野に名高き如意輪寺あり

笠置山は吉野と共に名高き史蹟なり

三重縣

(津)

伊賀 伊勢 志摩 紀伊一部

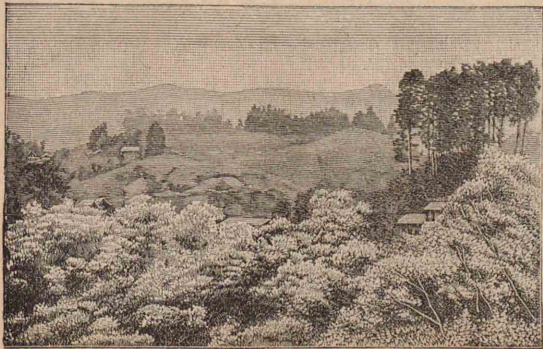


市の東に峙ち、正倉院春日神社東大寺興福寺等の名地甚だ多く、墨漆器漬物等の名産法あり。西南の郡山は名邑にして、法隆寺は著名の古刹なり。盆地の南方には、畝傍山

多武峰等を始め名所多く、所謂大和巡りの中心をなす。吉野は吉野朝の皇居たりしを以て、著名

の史蹟多く、吉野山は櫻花の名所にして、東北境の月瀬は梅花の名所なり。

四伊賀盆地の上野は地方の中心をなし、伊勢海に臨める四日市市は開港場にして、



吉野山



祭良春日神社

津に高等農林學校あり
津の近傍なる一身田に專修寺（眞宗高田派の本山）あり

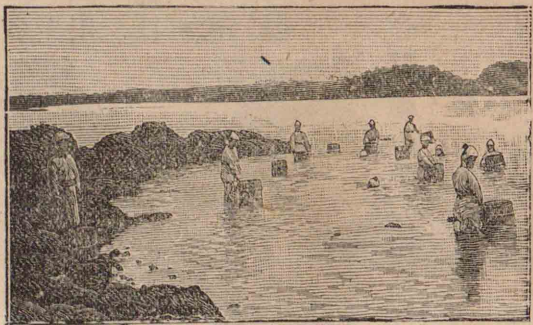


浦見二と宮内

して、参拜者常に絶ゆることなく、近傍に二見浦の名地あり。志摩半島の鳥羽は、天然の良港にして、附近に眞珠貝の養殖行はる。

ある松阪を経て南に通ず。宇治山田市は、伊勢神宮鎮座の地に

桑名と共に綿絲の製造米穀の取引行はれ、又附近より萬古焼を出す。参宮線の鐵道は、縣廳所在地たる津市の綿織の産



眞珠貝の養殖

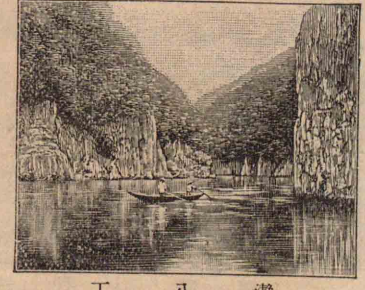
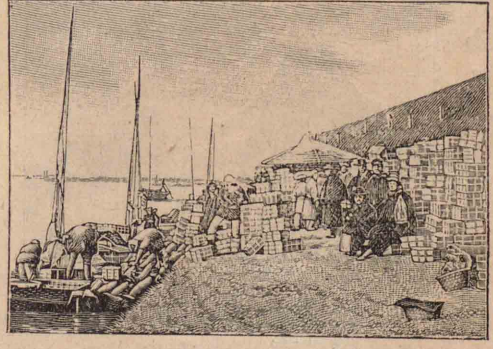
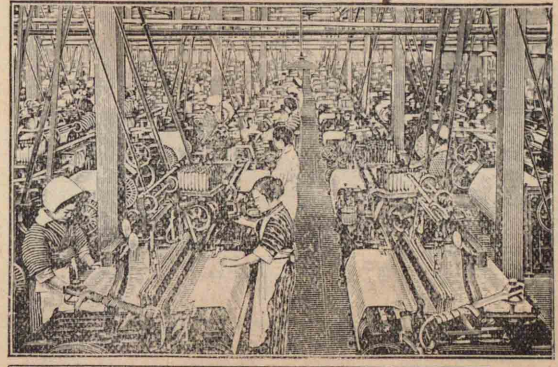
和歌山縣(和歌山)
紀伊大部

本縣の南端なる潮岬に無線電信局あり

和歌山に高等商業學校あり

金剛峰寺は眞言宗の本山なり

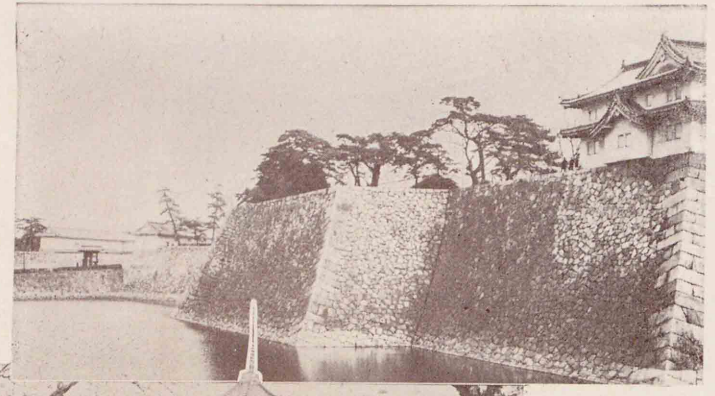
熊野川に臨める新宮は、木材の集散甚だ多く、上流に那智瀧、八丁等の勝景あり。有田川の流域地方は蜜柑の栽培盛にして、湯浅、箕島はその集散夥しく、黒江には漆器の産多し。和歌山市は紀川の河口に臨



丁八瀧

出積の柑蜜と織製のルネ綿
み、縣廳の所在地にして、木材の集散多く、又綿ネルの製造盛に行はる。この近傍に和歌浦の勝地あり。東方の高野山には、名高き金剛峰寺あるを以

大阪城

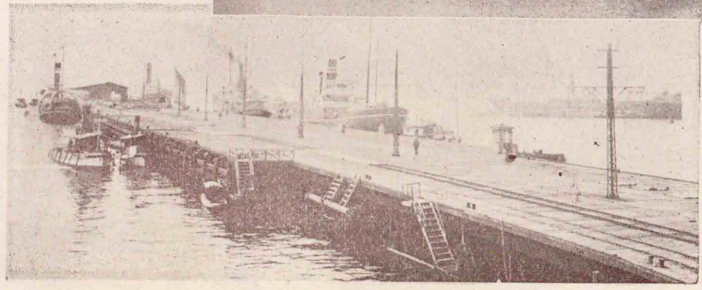


四天王寺

中之島公園



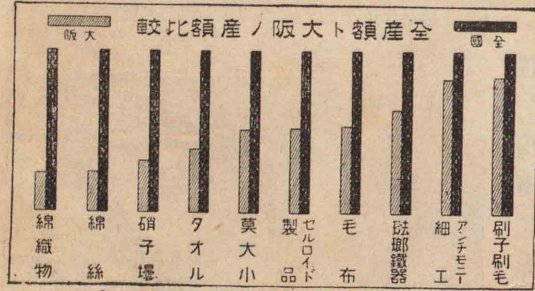
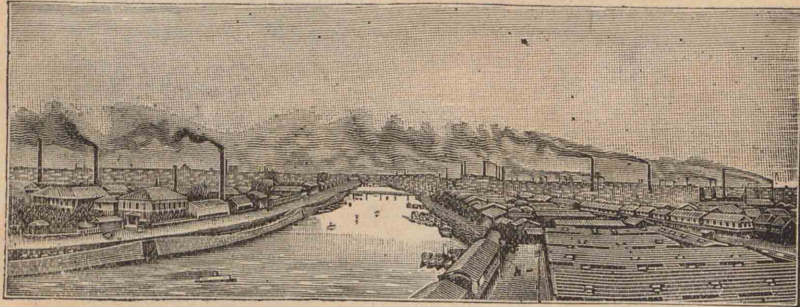
築港橋



大阪府 (天
河内 和泉
攝津一部)

大阪に第四師團司令部・大阪醫科大學(府立)・高等學校・高等工業學校・高等商業學校(市立)等あり
東海道線・關西線・片町線及び南海鐵道・高野鐵道等の諸線多く大阪に集る

市内に高津神社・生國魂神社・天満天神等の名地あり
大阪は支那との貿易殊に盛なり



大阪工業地方の展望

て、参詣するもの甚だ多し。

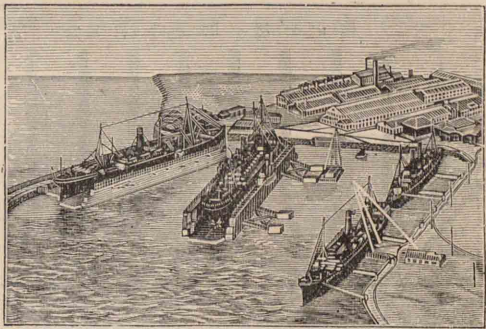
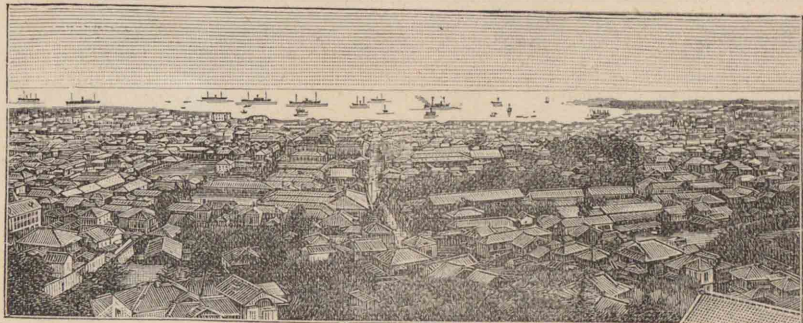
大阪市は淀川の三角洲に位し、我が國第二の大都會にして、南日本に於ける商工業・經濟交通等の大中心をなし、縣廳の外、大阪城・四天王寺等の名地も少からず。市の内外には、公私の大工場甚だ多く、綿絲綿織物莫大小・燐寸硝子・肥料・雜貨等の製造盛大を極め、無數の烟突立ち列べり。この地は又開港場にして、築港の設備も已に成り、内外の船舶常に輻輳して、貿易甚だ盛なり。

大阪工業地方の展望

堺は段通を名産とし又近時セルロイドの工 行はる

兵庫縣 (神戸)
攝津一部
丹波一部
但馬 播磨
淡路

神戸に高等商業學校・高等工業學校・高等商船學校等あり



神戸港と浮船集

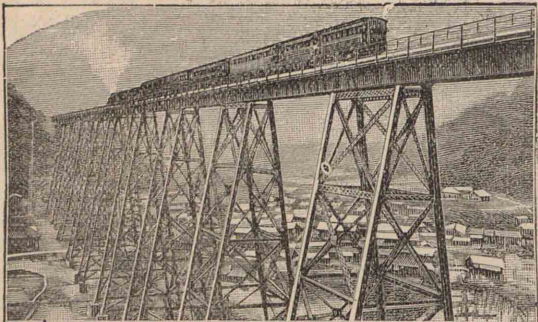
堺市は及物酒等の産地にして、附近の住吉濱寺は、北部の箕面と共に、大阪市民の遊樂地となり、岸和田市は紡績その他の工業發展せり。東南境に聳ゆる金剛山は、北方の四條畷と共に、著名の史蹟なり。

尼崎市は綿絲硝子等の工業行はれ、西宮御影等の所謂灘地方は、伊丹と共に酒の産多く、この背後に有馬寶塚等の温泉場あり。神戸市は縣廳所在地にして、又横濱と共に大開港場なり、輸入額の多きこと我が國第一にして、その中線

圖は楠木氏の墓にして湊川神社はこの左方にあり

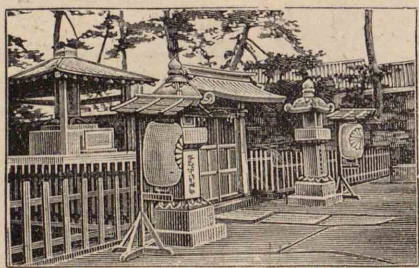
須磨に近く一谷の古戰場あり
中央標準時の子午線は明石の附近を通過す
姫路に第十師團司令部あり

餘部の鐵橋は高さ百三十五尺餘部の村落を跨ぎて千二十尺の長さをも有し我が國無比の構脚式高架橋なり



餘部の鐵橋

綿は最も多額を占む。市には壯大なる造船所を始め、綿絲燐寸などの大工場多く、又名高き湊川神社あり。西部の須磨は舞子公園及び明石市の海岸等と共に白砂青松の佳景を以て著る。姫路市は鐵道の要地にして、米の取引多く、又革細工を出し、赤穂は鹽の名産地にして、龍野は醬油の産地なり。朝來川の上流の生野は、銀銅の産多く、下流の豊岡は柳行李を産し、河口に近く城崎温泉及び玄武洞の奇觀あり、山陰線の鐵道は、この西方にて餘部の鐵橋を通ず。淡路島は洲本を主邑とし、多く淡路焼を産す。



楠木氏の墓

第五章 中國地方二

通説

本州の西部を占むる半島
狀の地域にして、政治上五
縣に分たる。

地勢 丘陵性の中國山脈及

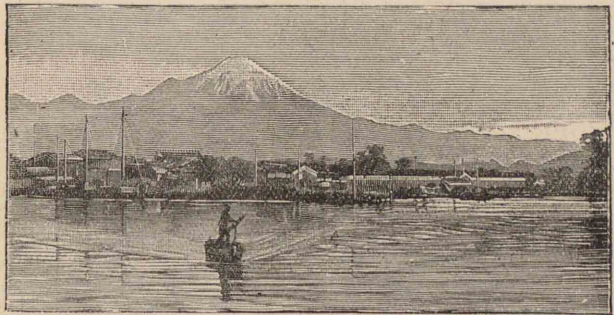
び白山火山脈東西に連りて、
地形を山陽・山陰の兩面に分

つ。山陽面の吉井川・旭川・高梁川等は、下流に

岡山平野を開き、その西方に大田川・岩國川等
あり。山陰面の江川は、中國第一の大河なれ

ども、沿岸に平野少し。

國名 美作 備前 備中
備後 安藝 周防
長門 石見 出雲
伯耆 因幡 隱岐
面積 約二〇五三万里
人口 約四九七萬人
密度 二方里
約二四二〇人



大 山 の 遠 望

區	岡山縣	廣島縣	山口縣	島根縣	鳥取縣
所屬地	岡山市	廣島市	山口町	松江市	鳥取市

海岸

日本海岸は、島根半島の外單調な
れども、瀬戸内海は屈曲錯雜せり。

瀬戸内海 本州九州及び四國の間にある一

大内海にして、兒島半島は北より讃岐半島・高
繩半島は南より突出し、沿岸には長汀・曲浦・相

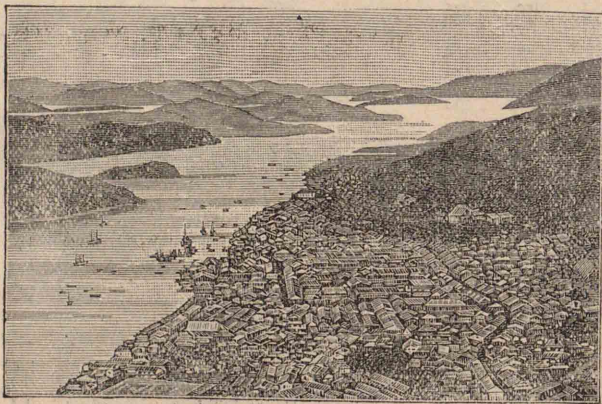
交り海上には大島小嶼散在して、無數の瀬戸
(海峽)をなし、山姿水態の妙、恰も一幅の畫を見

るが如く、風光の美を極め、海上の公園と稱せ
らる。この海面は、播磨灘・水島灘・宍道灘・安藝灘

廣島灣・周防灘等に分れ、船舶の來往織るが如
く、沿岸には多くの都邑發達せり。

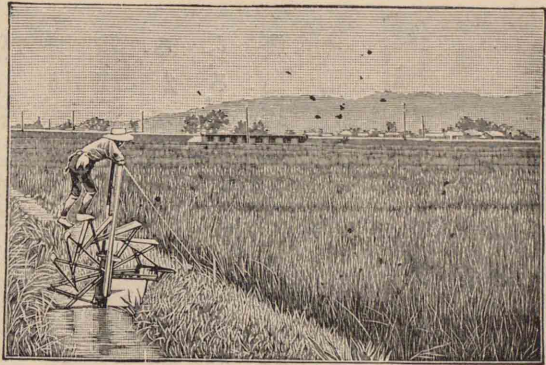
産業

耕地の利用發達して、米・麥等の農産頗る多く、又藺草・果樹等
の栽培盛なり。一般に牛の飼養行はれ、廣島・岡山の二縣は頭數最
も多く、銅・銀・石炭等の産地も所々に散在す。沿海は到る所漁業行

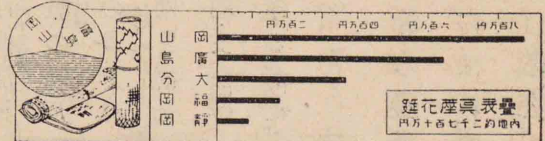
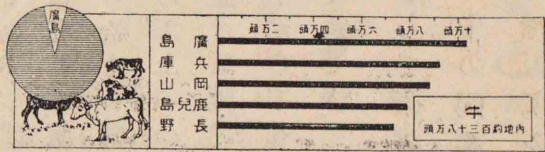


尾 道 水 道

果樹は岡山縣の水
蜜桃、山口縣の夏
蜜柑等最も多し
沿海殊に山口縣の
住民は朝鮮近海に
出漁するもの少か
らず

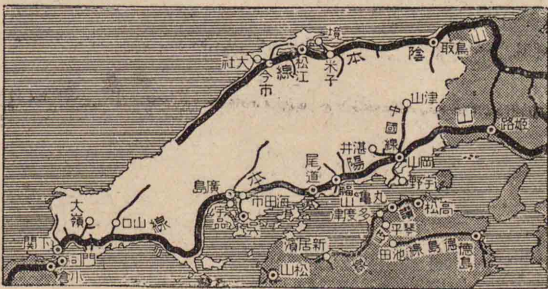


水灌の田關



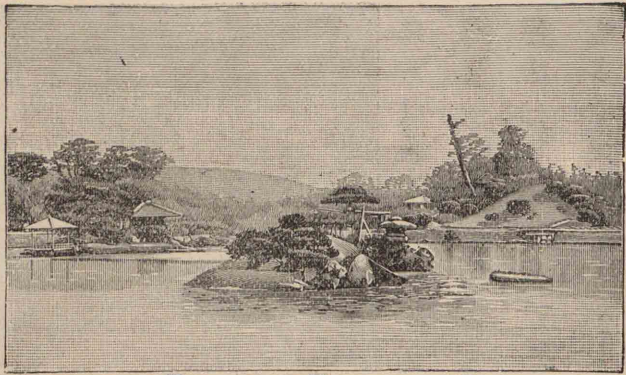
はれ、瀬戸内海の鯛、日本海の鰯は殊に名高く、製鹽業亦甚だ盛なり。工業は岡山、廣島の二縣最

表・花筵・製帽眞田・鐘詰等の産出多し。
交通 鐵道は、山陽の海岸に山陽線あり、聯絡船によりて九州及び朝鮮の鐵道と通じ、山陰方面には山陰線あり。されど南北の聯絡は未だ完



岡山縣 (岡山)
 備前 美作
 備中

岡山に第十七師團司令部・醫科大學・第六高等學校等あり
 岡山の西方に帶江銅山あり
 兒島半島の味野は製鹽盛なり



樂園

からず。内海面は良港灣多く、風波亦穩にして、航運の便大なれども、日本海岸は良港乏しく、殊に冬季は風浪の妨害多し。

處誌

山陽地方は、戸口稠密にして都邑多く、人文の發達著しけれども、山陰地方は、之に比して文物の進歩稍劣れり。

岡山市は旭川に跨り、縣廳所在地にして、風致に名高き後樂園あり。花筵の集散多く、又西南の倉敷・玉島・笠岡等と共に、綿絲製帽眞田等を産す。中國鐵道と宇野線とは岡山に起り、一は津山盆地の

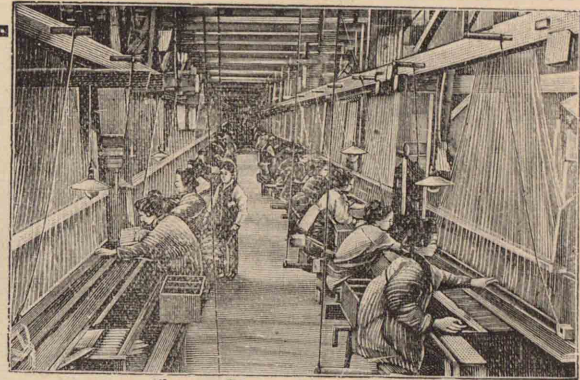
高梁の西北に吉岡銅山あり

廣島縣(廣島) 備後 安藝

廣島縣は牧牛の頭 數府縣中第一なり 松永の附近は製鹽 盛なり

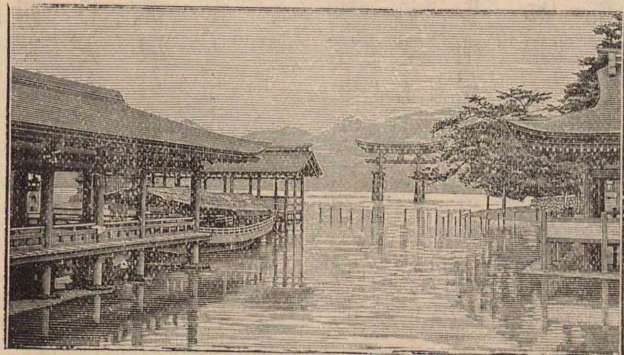
廣島に第五師團司令部・高等師範學校・高等工業學校あり

吳に第二海軍區鎮守府あり又その前面の江田島に海軍兵學校あり



製の表疊

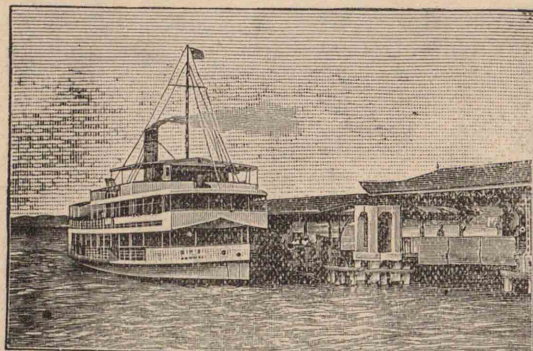
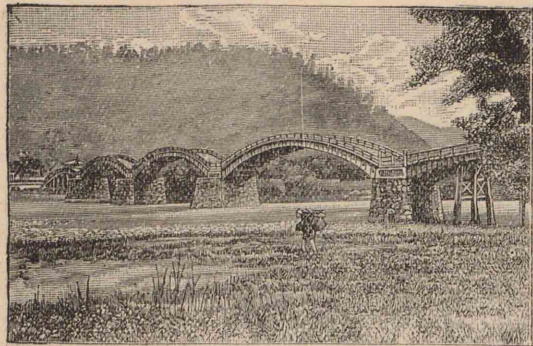
廣島市は大田川に跨り、縣廳所在地にして、中國第一の都會なり、宇品港を控へ、屢外征の要地となりて、その發達著しく、近時鐘詰の産多く、又附近より山繭織を出す。吳市は



社神島殿

山口縣(山口) 周防 長門

製鹽に名高き三田尻は防府の一部なり 山口には高等學校・高等商業學校あり



船絡聯門關と橋帶錦

軍港の一にして、規模壯大なる工廠あり。廣島灣には牡蠣の養殖行はれ、その西邊なる嚴島は、江山社殿の佳麗を以て名高し。北部の盆地は大麻の産多く、三次をその中心地とす。 岩國川下流の岩國は、木綿縮蚊帳等の集散行はれ、名高き錦帶橋此處に架れり。徳山は開港場にして海軍燃料廠あり、防府の海邊には製鹽盛に行はる。山口は縣廳の所在地にして、宇部市は石炭を産し、西北の大嶺は無煙炭を出だす。下關市は近く九

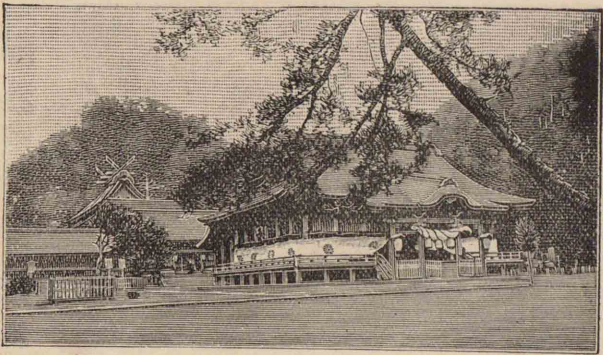
萩に萩焼の名産あり

島根縣 (松江)
出雲 石見
隠岐

松江に高等學校あり

島前は後鳥羽上皇
島後は後醍醐天皇
の遷幸地なり

鳥取縣 (鳥取)
因幡 伯耆



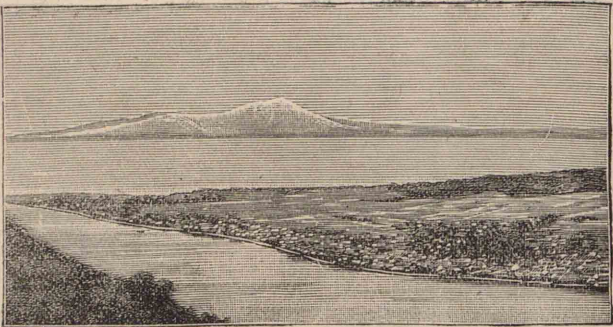
州と對して、内海の咽喉を扼し、主要の開港場にして、朝鮮及び九州と鐵道聯絡船を通ず、この附近の壇浦は、名高き源平の古戰場なり。日本海岸の萩は名邑にして、附近より多く夏蜜柑を産す。

四 日本海岸の濱田は開港場にして、附近より紙を産し、杵築には社殿の古雅と宏壯とに名ある出雲大社ありて、賽客常に賑へり。縣廳所在地たる松江市は、山陰第一の大郡にして風景秀麗なる宍道湖と中海との間にあり、附近より出雲燒瑪瑙細工を産す。隠岐は島前と島後とに分れ、錫の産多く、島後の西郷は漁船群集せり。

五 中海に臨める米子は、水陸交通の要地に當り、夜見濱は風光明

境へ境線の鐵道を通ず
船上山に近き御來
屋に名神社あり
倉吉に近き三朝は
ラナム温泉を以
て著はる
鳥取に高等農業學
校あり

國名 阿波 讚岐 伊豫
土佐
面積 約一二七方里
人口 約三〇七萬人
密度 (一方里) 約二五二〇人



夜見濱

媚にして、その北端の境は開港場なり。中國第一の高山にして、その裾野には牧畜行はれ、船上山は元弘の史蹟に名あり。倉吉は木綿、絹、生絲等の産に著はれ、鳥取市は千代川流域の要市にして、縣廳の所在地なり。

第六章 四國地方

通説

四國島及び附屬の島嶼にして、政治上四縣に分たる。

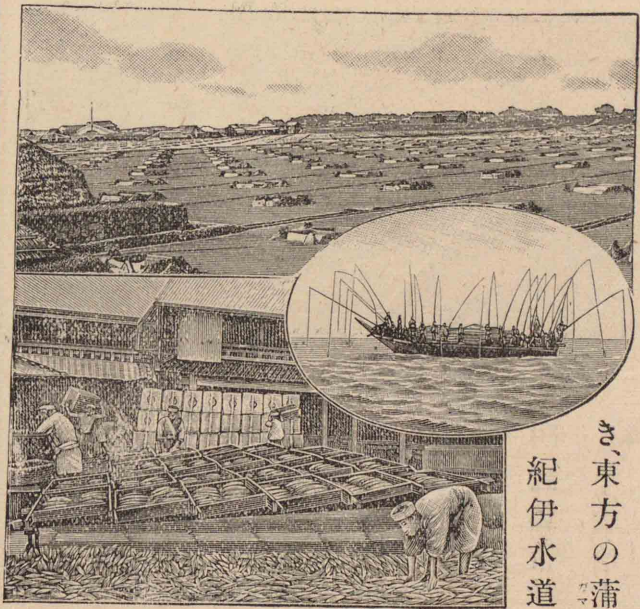
地勢 四國山脈讚岐山脈殆ど東西に走り、その間を流る、吉野川は、四國第一の大河にして、その他仁淀川、四萬十川、肱川などあり。是等の流域中、平

高知縣	愛媛縣	香川縣	德島縣	區劃
高知市	松山市	高松市	德島市	縣所在地

地の最も廣きを徳島平野とす。

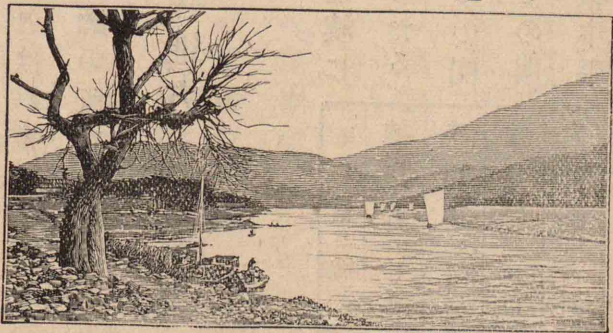
海岸 瀬戸内海の沿岸は屈曲島嶼多く、太平洋面には室戸足摺の兩岬出でて、土佐灣を抱

き、東方の蒲生田岬は紀伊水道の入口を

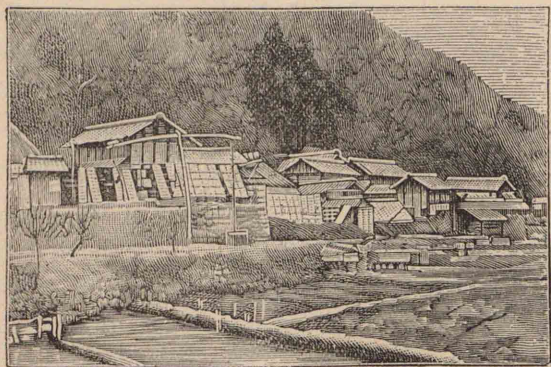


(近附出坂)田鹽と燥乾の節鯉及び釣鯉

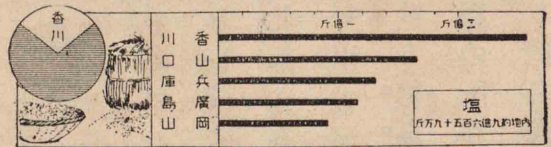
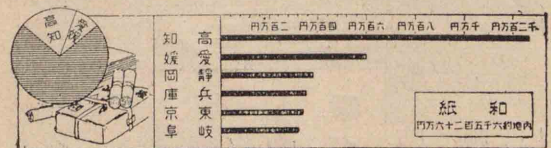
拒し、西方の佐田岬は九州に迫りて豊豫海峽を作る。北部は土地の利用大に進み、殊に徳島平野は藍の



川 野 吉



(方地野伊)造製の紙和



産に富み、西部より南部に互りては三極楮を植ゑて製紙の原料となす。その他、南部は林産に富み、愛媛には銅の大産地あり。沿海は水産多く、殊に土佐沖は、鯉の漁獲盛にして、多く鯉節を産し、内海方面は本邦屈指の製鹽地なり。工産は南部・西部の和紙、西部の綿織物、北部の製帽眞田等を著しとす。

交通 鐵道は、一部の交通の助くるに過ぎざれども、海運は頗る發達し、殊に瀬戸内海の沿岸には、數多の良港ありて、阪神及び中國地方との交通頻繁なり。

處 誌

地勢の關係により、市邑相互の聯絡に不便なれば、未だ大中心の發達を見ずと雖、北部は人口頗る密なり。

徳島縣 (徳島) 阿波

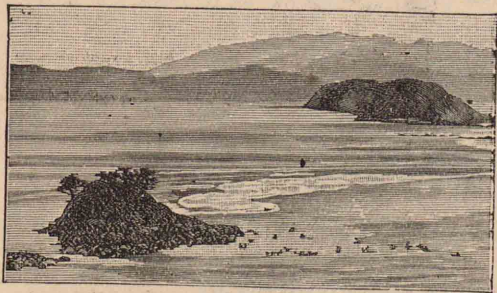
徳島に高等工業學校あり

絨織は一に阿波縮と云ふ

(面横と面縦) 橋蔓の谷祖



吉野川の河口に臨める徳島市は、縣廳の所在地にして、徳島線の起點に當り、貨物の集散多く、又絨織の名産あり。協町は藍作地の中

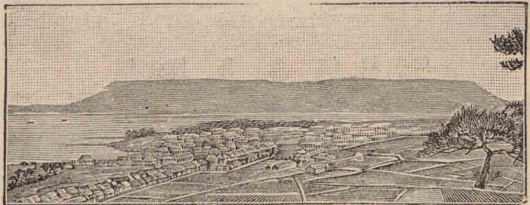
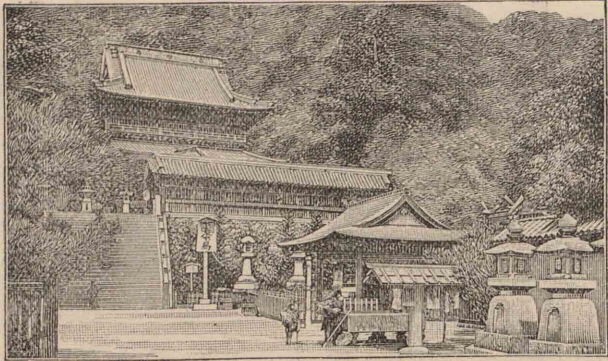


鳴門海峡

徳島の南方に小松島の錨地あり

香川縣 (高松) 讃岐

丸龜の附近に讃岐富士の名ある飯野山あり



山島屋び及市松高と宮羅比刀金

心に位し、池田の附近には煙草の産多し。上流の祖谷地方は、交通不便にして殆ど別天地をなし、四國第一の高峯劔山、この東南に聳ゆ。鳴門海峡は潮流急にして、大小の渦を巻くを以て聞え、之に近き撫養は製鹽に名高し。

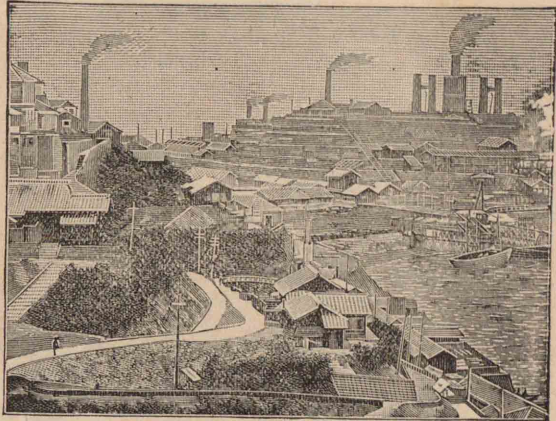
高松市は縣廳所在地にして、又名高き栗林公園あり、中國と聯絡の要地を占め、讃岐線の鐵道此處に起る、近傍に屋島五劔山等の名地多し。海上の小豆島は、寒霞溪の奇勝を以て著はれ、又醬油の産多し。坂出は製鹽業の中心にして、又製帽眞田を産し、丸龜市は西部商業の

金刀比羅宮は大物
主命・崇徳天皇を
祀る
普通寺に第十一師
團司令部あり

愛媛縣 (松山)
伊豫

別子の西北なる市
川嶺山はアンチモ
ニ一の名産地なり
新居濱と別子との
間に鐵索及び鐵道
の設あり

今治に近き來島海
峽は潮流の急なる
を以て著はる

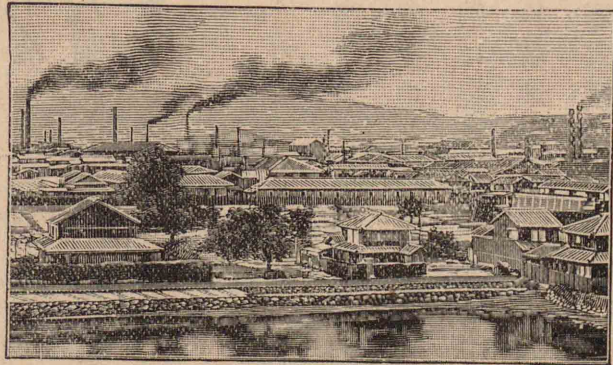


四 阪 島 の 精 練 所

要地なり。多度津は内海の要港をなし、
琴平は金刀比羅宮あるを以て、參拜者常
に賑ひ、附近に普通寺の名邑あり。

別子は名高
の銅の産地にし
て、新居濱はその
門戸をなし、四阪
島には精練所あり。
西條は地方

の名邑にして、石鎚山この西南に聳え、今治
市は開港場にして、綿ネルの産多し。
重信川流域の松山市は、縣廳の所在地に
して、綿絲綿織物等を産し、附近に名高き道



今 治 の 市 街

高知縣 (高知)
土佐

高知に高等學校あり



捕 鯨 の 光 景

後温泉あり。高濱は松山の門戸をなし、三津濱は水産物の集散頗
る多し。肱川の流域は木蠟紙の産多く、大洲はその中心地にして、
又製絲業行はる。西南の宇和島市は舟泊の要地にして、綿織物の
集散行はる。

四高知市は縣廳の所在地にして、風景の
明媚に名ある吸江灣に臨み、浦戸はその門
戸をなす。伊野の附近は盛に抄紙をなし、
須崎は天然の良港なり。東部の津呂は捕
鯨の中心をなし、西南の沖島附近には紅珊
瑚の特産あり。

第七章 九州地方

通 説

國名 筑前 筑後 肥前 肥後 豊前 豊後 日向 大隅 薩摩 壹岐 對馬 琉球

面積 約二八七方里

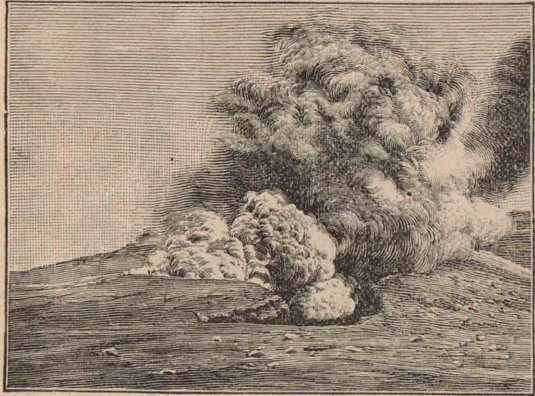
人口 約九四三萬人

密度(一方里) 約三二九〇人

九州島及び琉球諸島等を含める地域にして、政治上八縣に分たる。

地勢

四國山脈より續ける九州山脈は、南部に連なり、中國山脈より續ける筑紫山脈は、北部に起伏す。この兩山脈の間に



阿蘇火山脈あり、阿蘇山を中心として、斜に東西に通じ、霧島火山脈は霧島山より西南に延びて、櫻島嶽、開聞嶽等起せり。

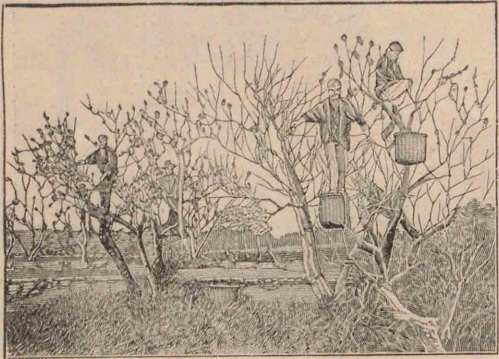
河水は諸方面に分れ、西面には筑後川、球磨川、内川等の大河多く、その他、日向灘に注げる大淀川、五箇瀬川、瀬戸内海に

沖繩縣	鹿兒島縣	宮崎縣	大分縣	熊本縣	長崎縣	佐賀縣	福岡縣	區劃
那覇市	鹿兒島市	宮崎町	大分市	熊本市	長崎市	佐賀市	福岡市	所在地

入る大野川、日本海に注ぐ遠賀川等を著しとす。筑後川は九州第一の長流にして、その下流は豊沃なる筑紫平野を開けり。

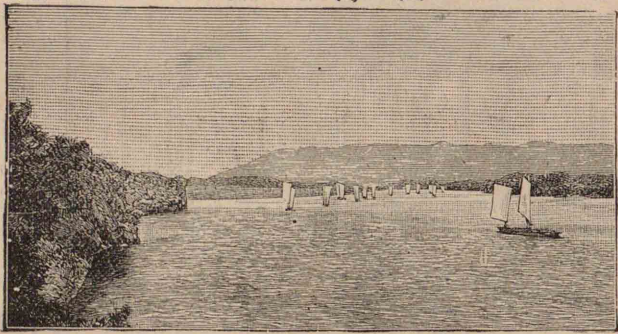
海岸

海岸の屈曲著しく、又島嶼に富む。西北には肢節に富める肥前半島ありて、有明海を抱き、その海上には

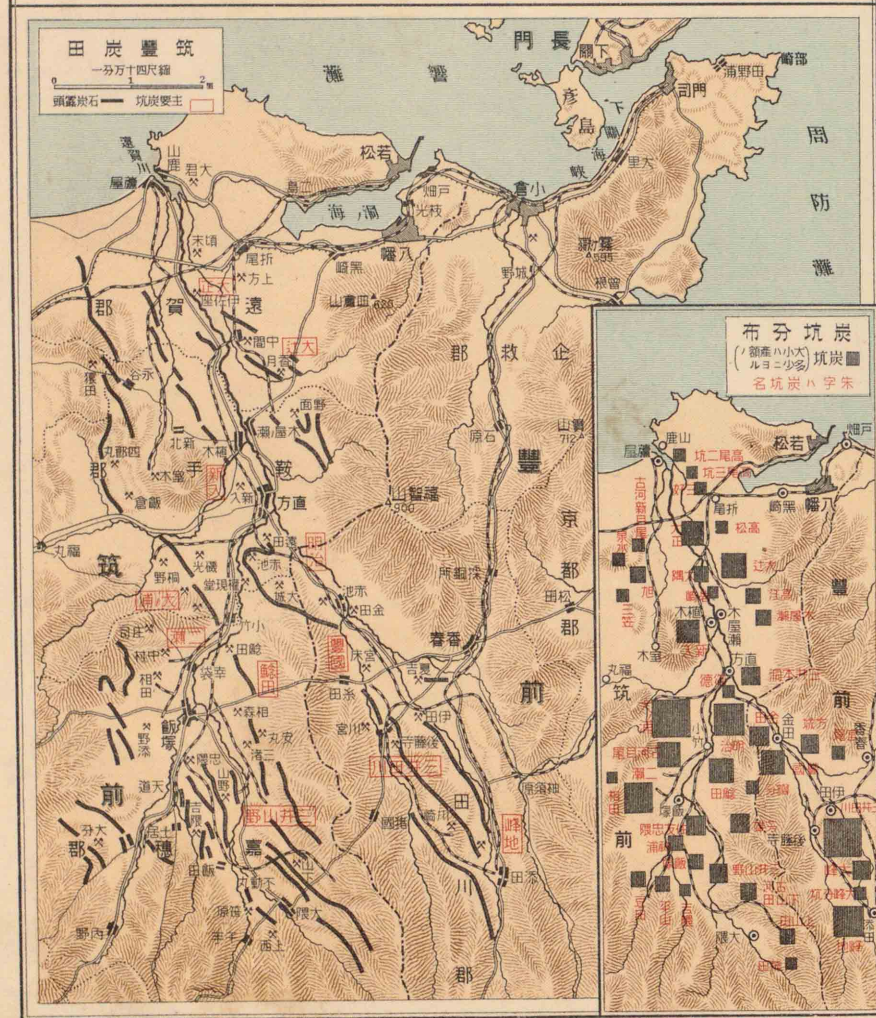
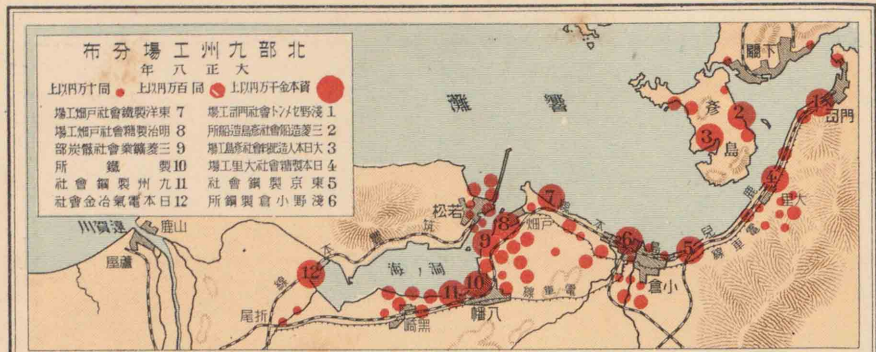


收採の實榎

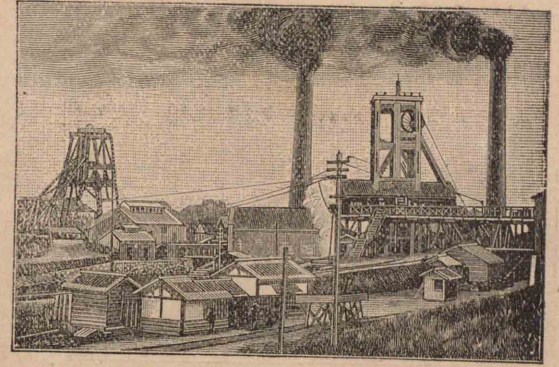
壹岐、對馬及び五島列島、天草諸島等遠近に散在せり。東面は國東半島の別府灣を抱ける外、大部は平直なる日向灘をなし、南部には薩摩、大隅の兩半島出でて、鹿兒島灣を作り、その南方に薩南諸島あり。



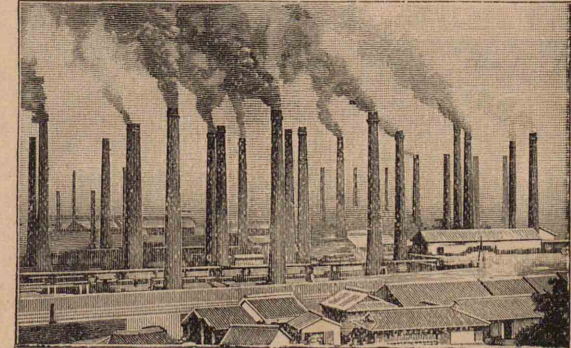
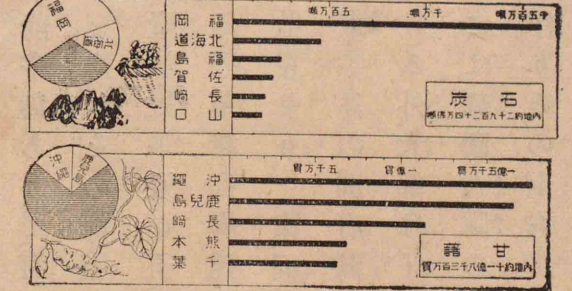
川 後 筑



頗る多く、又筑豊三池を始め豊富なる炭田ありて、石炭の産出莫大なれば、之に伴ひて製鐵・造船・製糖等の大工業盛に起り、又木綿・緋・陶器等の産多し。西部・南部の地方は甘



三池炭坑

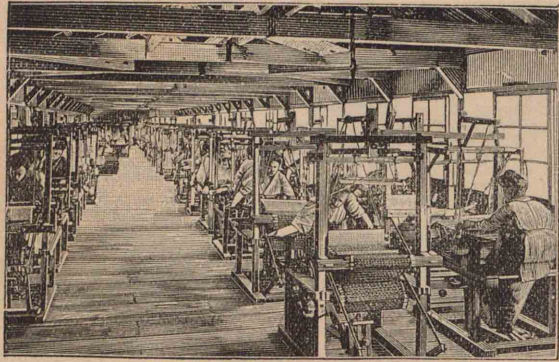


八幡製鐵所

産業 西北部の地方は最も能く開け、農業盛にして、九州米の主産地をなし、菜種・木蠟等の産も

- 1 門司・鹿兒島間
- 2 小倉・神原間
- 3 若松・上山田間
- 4 鳥栖・長崎間
- 5 吉松・長井間

北部に於ける鐵道網の發達は關東・畿内の兩平野に次ぎて密なり



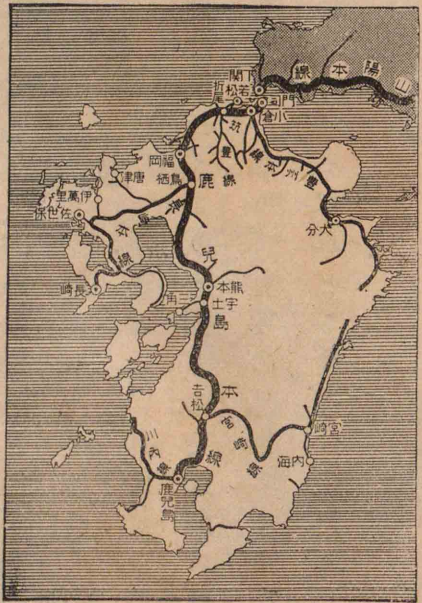
久留米の製織

豊州 聯絡 せる

線・筑豊線・長崎線及び宮崎線等を主要のものとし又數多の支線ありて、北部はその發達殊に著し。海運は門司・長

諸の産殊に多く、山地は金産豊にして、又林産に富み、山麓には牛馬の飼養行はる。漁業は南部と西北部とに最も盛にして、薩摩半島の近海は鰹・鰯等の漁利に富み、對馬海峡の附近は烏賊の好漁場なり。

交通 鐵道は幹線たる鹿兒島線の外、之と





福岡縣 (福岡) 筑前 筑後 豊前一部

小倉に第十二師團司令部あり

若松は洞海を隔て、八幡と相對し互に舟運を通ず

崎を二大中心として、内外の要港と通ず。

處 談

北部西部は、古くより外國との交通開け、且近年産業盛に起りて、重要な都市多く、東南部は古史に著名なれども、發達は未だ著しからず。

門司市は九州の北門に當れる開港場に於て、水陸交通の要地を占め、石炭の積出多く、小倉市は鐵道交通の要點に位し、八幡市には壯大なる官營の製鐵所あり。この地方は近年各種の工業盛に起り、大工場相並べり。若松市は開港場にして、石炭の輸出多く、筑豊線

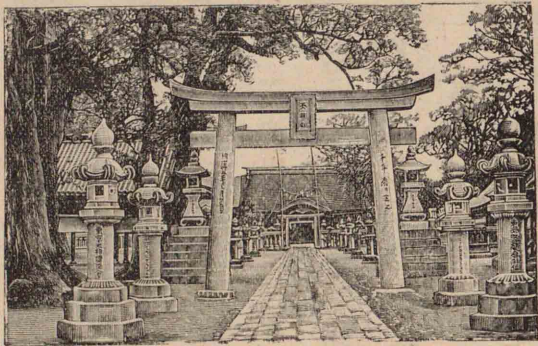
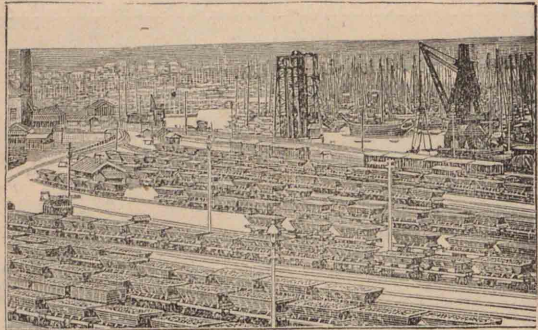
門 司 の 展 望

福岡に高等學校あり

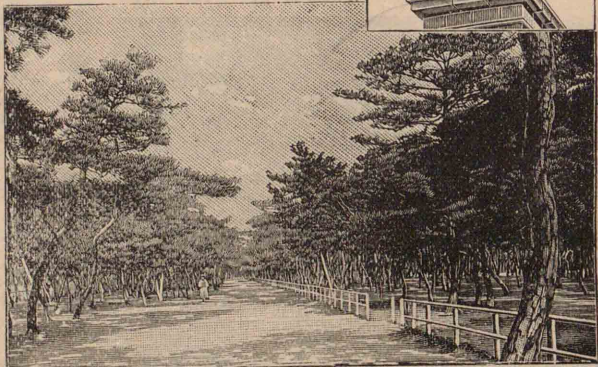
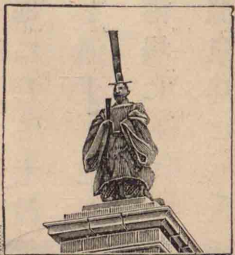
箱崎宮は箱崎町にあり、應神天皇・神功皇后及び玉依比賣を祀る樓門に掲ぐる敵國降伏の扁額は醍醐帝の御宸筆を擴大せしものといふ

の鐵道此處より起る。直方の飯塚は、共に炭田地方の中心地なり。

福岡市は縣廳及び九州帝



若松港の石炭積出と太宰府神社



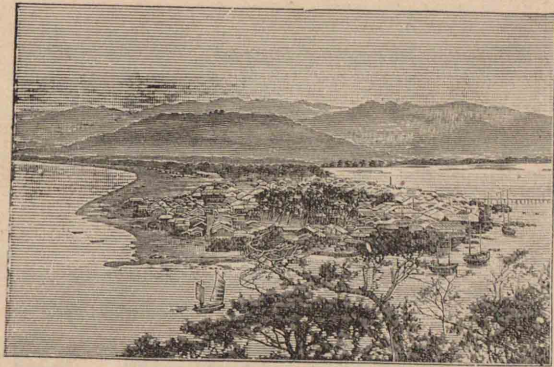
千代松の松原と龜山帝の像

國大學の所在地にして、海中道に抱かれたる博多灣に臨み、市の一部た

香椎宮は仲哀天皇
神功皇后を祀る
太宰府神社は菅原
道真を祀る
久留米に第十八師
團司令部あり

佐賀縣 (佐賀)
肥前一部

佐賀に高等學校あり
唐津の西北に名護
屋の史蹟あり



唐津公園 領り 中振山 望む

博多は開港場にして、博多織を産す。市の近傍には宮崎宮香椎宮等を始め、名地史蹟多く、東南に太宰府神社あり。久留米市は木綿緋足袋等を産し、大牟田市は名高き三池炭坑を控へて、各種の工業次第に起り、その港(三池)は開港場にして、石炭の積出盛なり。

佐賀市は筑紫

平野の要部に位し、縣廳所在地にして米穀の集散多し。唐津線の鐵道を通ずる地方は、石炭の産に富み、唐津は開港場にして、その積出多し。武雄は名高き溫泉場にして、

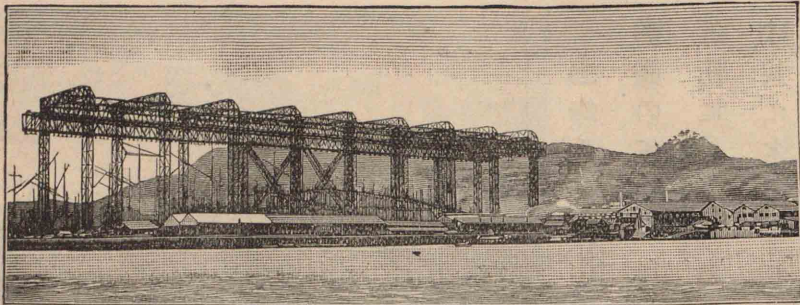


有田の燒製

有明海は潮汐干満の差著しきを以て名あり

長崎縣 (長崎)
肥前一部
壹岐 對馬

長崎に高等商業學校・醫學專門學校あり、又長崎附近は要塞地帯なり
佐世保に第三海軍區鎮守府あり
島原半島の溫泉嶽は噴氣孔・溫泉等ありて海岸の小濱と共に浴客多し



有田は陶器の製造盛に行はれ、鐵道によりて、伊萬里と通ず。有明海には貝類の養殖行はれ、その沿岸に住、江の開港場あり。

佐世保線の終點たる佐世保市は、近く大陸

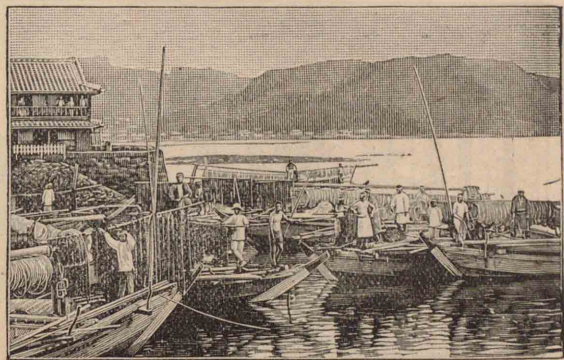
と對して、主要の軍港なり。島原半島の島原は名邑にして、溫泉嶽その附近に聳え、口之津は開港場なり。縣廳の所在地たる長崎市は、古き開港にして、鎖國時代に支那和蘭等との取引行はれたり。灣内の三

福江島(大瀬崎)に無線電信局あり

嚴原は佐須奈・鹿見等と共に開港場なり

熊本縣 (熊本) 肥後

熊本に第六師團司令部・醫科大學・第五高等學校・高等工業學校等あり
熊本の北方に植木・田原坂等の古戰場あり

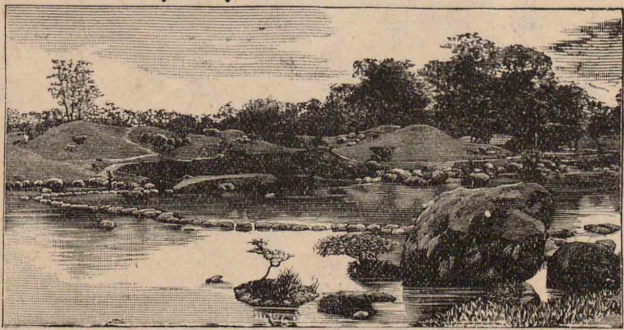


五島の珊瑚採集船

菱造船所は規模甚だ壯大にして、灣口の高島は石炭を産す。

五島列島の福江は、漁業の重要な中心にして、附近より紅珊瑚の特産を出し、平戸島の平戸は昔時の通商地なり。對馬の嚴原は、壹岐の郷浦等と共に要港なり。

四 熊本平野の熊本市は、白川の下流に沿ひ、縣廳の所在地にして、米穀の集散盛に行はれ、近傍に水前寺の勝景あり。北方の山鹿、隈府は共に名邑にして、宇土半島の三角は開港場



水前寺の部

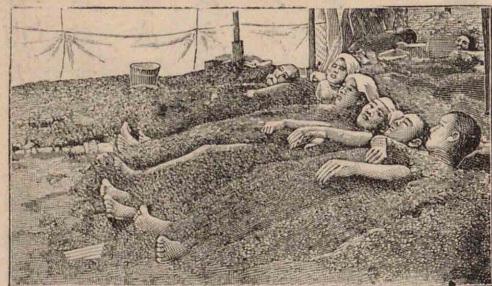
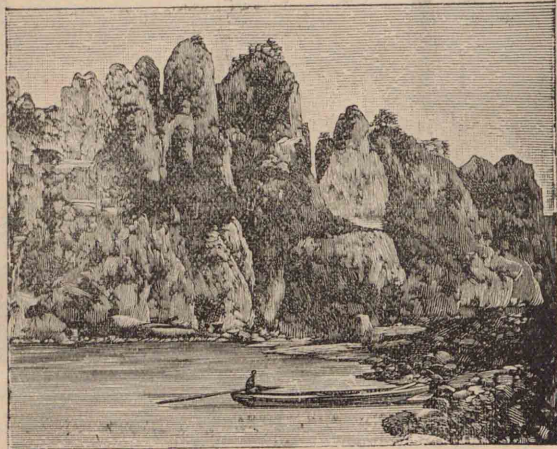
隈府に菊池神社(祭神菊池武時)あり

八代に八代宮(祭神懷良親王)あり

大分縣 (大分) 豊前一部 豊後

宇佐神宮は應神天皇その他を祀る

沙湯は干潮に際し浴客自ら白砂を掘り身を埋むれば汽水湧出して快氣を感じず



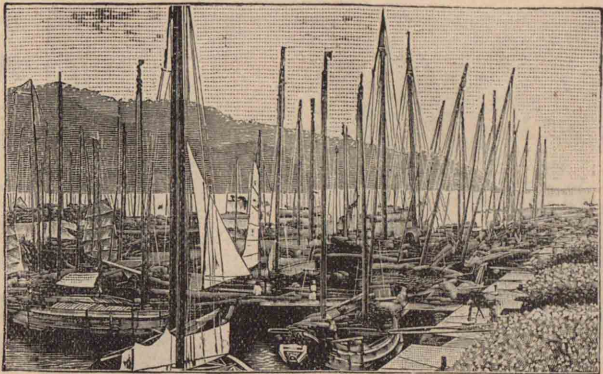
五 山國川の口に臨める中津は名邑にして、この上流に耶馬溪の勝地あり、宇佐は宇佐神宮を以て著はる。國東半島の附近には、疊表の産多く、別府は、著名の温泉場にして、縣廳の所在地たる

湯砂の府別とて著はる。國東半島の附近には、疊表の産多く、別府は、著名の温泉場にして、縣廳の所在地たる

分に高等商業學校あり

宮崎縣 (官崎) 日向

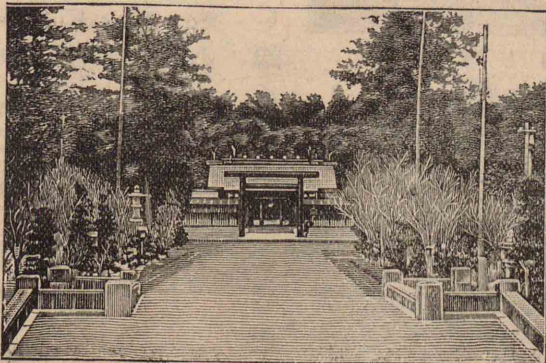
宮崎神宮は神武天皇を祀る



佐賀關の磯石積揚場

大分市と共に、内海の要津をなす。この附近には九重嶽、由布嶽、鶴見嶽、英彦山等の名高い火山多く、又温泉所々より湧出せり。豊後水道の沿岸には佐賀關、白杵、佐伯等の錨地あり。佐賀關には壯大なる精錬所を設く。

五箇瀬川に沿へる延岡は名邑にして、上流に日平、檜峯等の銅山あり、南方細島は主要の錨地とす。大淀川に跨れる宮崎は縣廳の所在地にして、附近に宮崎神宮あり。都城は内部



宮崎神宮

霧島山は東西の二群に分れ、東霧島山の御鉢は噴煙せり

鹿兒島縣 鹿兒島 薩摩 大隅

鹿兒島に第七高等學校造士館・高等農林學校等あり

市後の城山は西郷隆盛終焉の地なり



の要市にして、西北に名高い霧島山を望む。

鹿兒島市は縣廳所在地にして、又開港場なり、前面に櫻島を望み、風景美しく、薩摩緋、薩摩焼、錫器等を産す。櫻島は近年破裂せしを以て著はれ、又大根の名産を出し、西南の谷山は錫の産あり。



鹿兒島市と櫻島大根

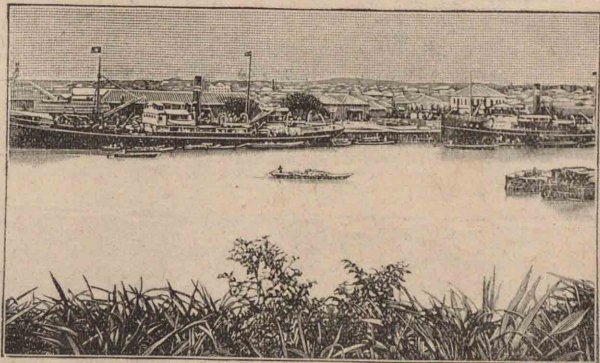
國分は煙草の名産地にして、西北に山野、牛尾等の鑛山あり、西岸に近き芹野と共に金産を以て著はる。南方の指宿邊は煙草を出し、山容の秀美なり。

種子島は鐵砲傳來の史に現ける
吐噶喇諸島は霧島火山脈に屬し現に噴煙するもの少からず

沖繩縣 (那覇) 琉球

琉球諸島にはハブといへる毒蛇棲息せり

家は風雨の憂ある爲その構造概ね低くして且高き石垣を環らせり



那覇の埠頭

る開聞嶽この西南に聳ゆ。
薩南諸島の種子島は砂糖を産し、屋久島は杉の良材を出すを以て著はる。大島諸島の大島は、鯉節、黒砂糖、大島紬等の産に名高く、名瀬はその主邑なり。

琉球諸島は沖繩諸島と先島諸島とより成り、先島諸島は、宮古、八重山の二群島に分る。氣候温暖にして、熱帯性の植物よく繁茂し、廣く甘藷を作りて之を常食となし、甘蔗を植ゑて砂糖を製し、又盛に豚を飼養す。

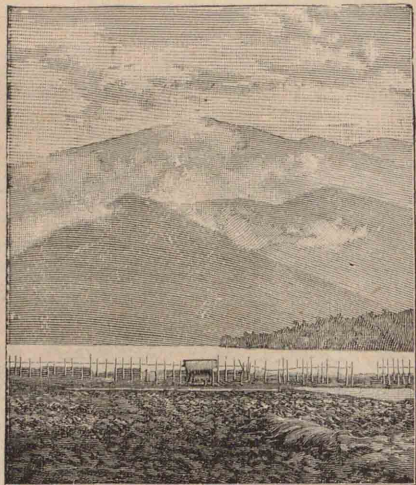


那覇の市場

夏帽子は阿旦葉より製す極めて最近に勃興したる産業なれど本縣の工業中優位を占む
八重山諸島には琉球上布の名産あり

面積 約三三三万平方里
人口 約三七五萬人
密度 (二方里) 約一六〇〇人

臺灣山脈には新高山(一三〇七五尺)を第一としシルビヤ山・秀枯嶺山等一萬尺以上の高峰三十餘に及ぶ



新高山の遠望

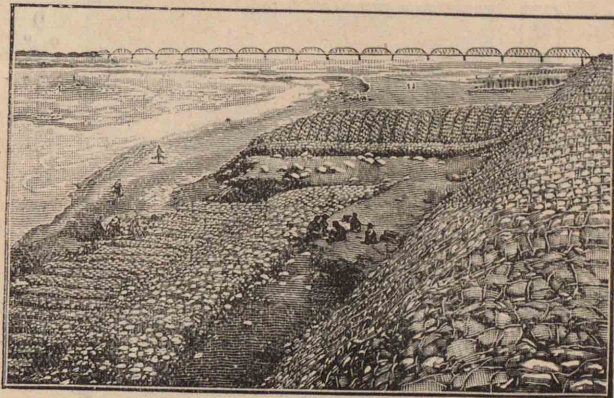
市は縣廳の所在地にして、又開港場なり、大阪・九州等との間に航路を通じ、島内の産物たる琉球緋芭蕉布、砂糖、泡盛、夏帽子、漆器等は多く此處にて集散す。首里市は舊王城の地にして、運天は良泊地なり。東方の海上にあるラサ島は、燐礦の産を以て著はる。

第八章 臺灣

通説

本邦の最南に位し、西は臺灣海峡を隔て、支那に對し、南はバシ海峡を挟みて、米國領のフィリピン諸島と相望む。

地勢 臺灣山脈殆ど南北に縦貫し、本邦第一の高峯新高山を始め、高山甚だ多く、東部には低き臺東山脈あり。北端の大屯山は、大屯

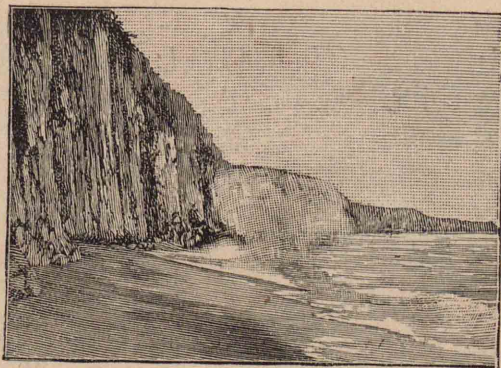


連り東海岸は山地直に海岸に迫りて絶壁をなせる所多く、共に良港に乏し。
〔産業〕 本島の半は熱帯に入り、氣候甚だ暖

火山脈の主山にして、附近に温泉の湧出あり。西斜面は臺灣平野をなし、淡水河濁水溪下淡水溪等の大河あれども、下流に廣き砂礫地を作るもの多く、東斜面の河は、卑南大溪を始め、概ね急流にして、平地亦も少し。

〔海岸〕 海岸線の

屈曲極めて少く、西海岸は低平にして砂汀長く相



東海岸の一部

回歸線標は嘉義驛と水堀頭驛との中間にて鐵道線路の近傍にあり



茶園 蔗園

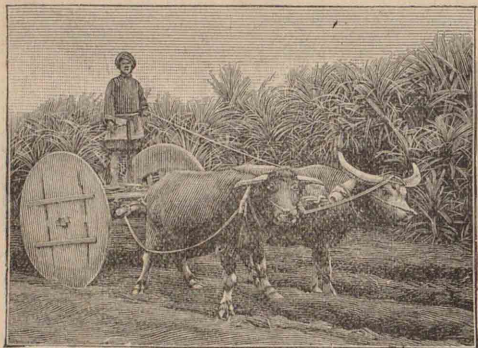
にして雨多く、地味

も亦肥沃

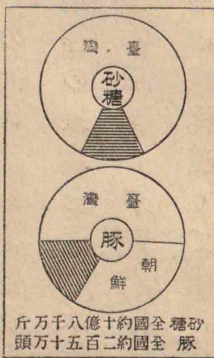
なれば、西部の平野

は諸種の農産に富み、殊に中部以北には米・茶

の産多く、中部以南には甘蔗の耕作盛にして、各地に製糖の大工場起り、粗糖は本島第一の産物



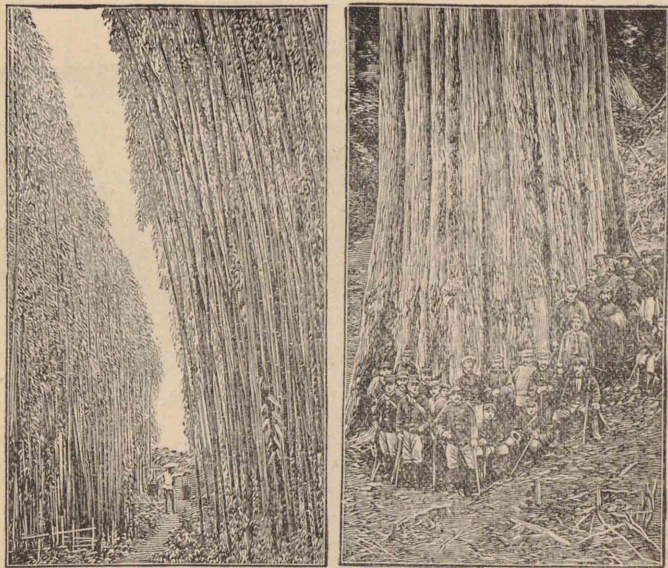
牛



全糖約十億八千万斤 全猪約二百五十万頭

回歸線標塔

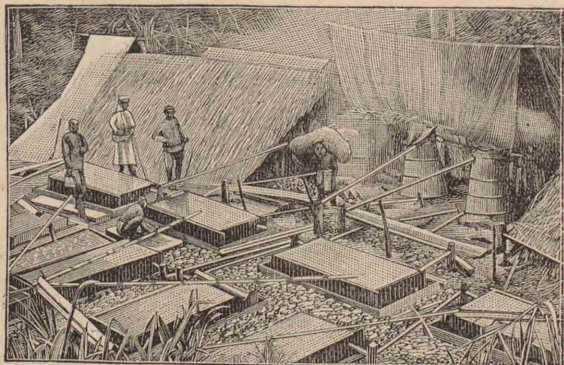
樟腦の産は世界第一なり



阿里山の巨木と竹林

料に供し、樟樹より採れる樟腦は本島の特産物にして、廣く世界に供給す。その他北

なり。その他、甘藷、落花生及び香蕉、鳳梨等の果實を産し、水牛、黄牛、豚等の飼養も亦廣く行はる。山地は森林茂りて、樟腦の材を出し、又竹林多くして、器具、製紙等の原料に供す。



樟腦製場

部よりは金、銅を産し、石炭も亦多く、南部の西海岸には製鹽行はる。

交通

道路は未だ完からざれども、鐵道は西部平野を通ずる縦貫線ありて、數多の支線及び私設の線路之と聯絡し、東部にも臺東線の敷設次第に進めり。海運は、沿岸航路の外、基隆と高雄とを中心として、内地及び支那との間に船舶の

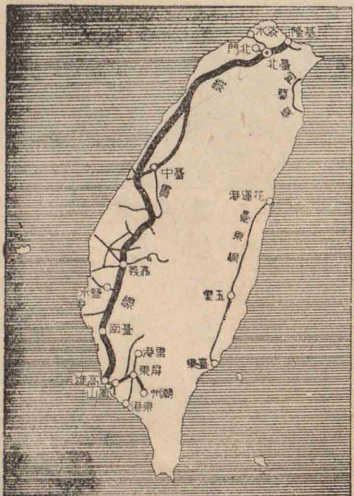


鹽田

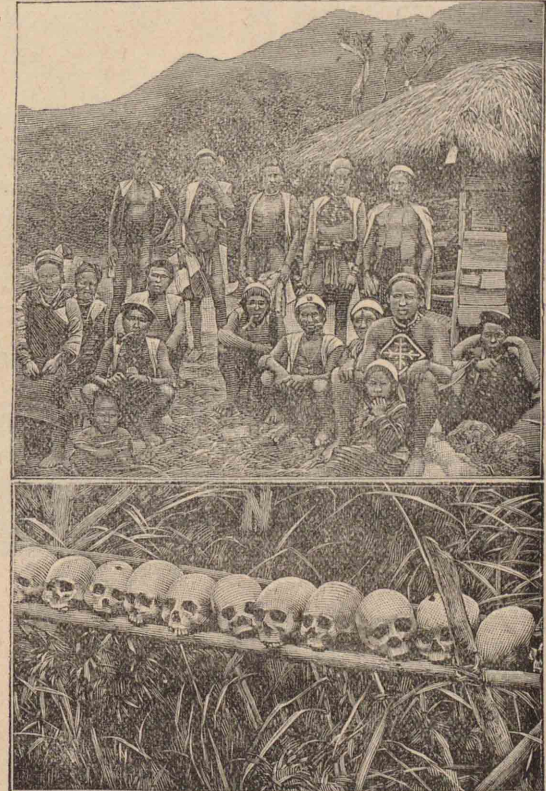
來往頗る繁し。

住民 住民の大部は臺灣人にして、もと支那より移住したるもの、子孫なり。東部の山地には蕃人あり、

全島の住民は約三百七十五萬にして、その中臺灣人は三百四十餘萬を占む



生蕃は時々首狩を
なし之を首棚に陳
列してその数の多
きを誇りとす



臺灣生蕃(タルヤ族)と首棚

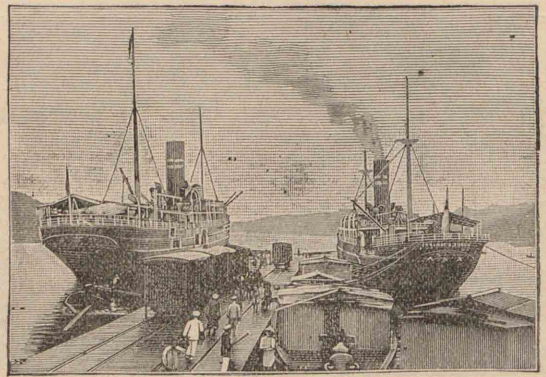
遊獵をなすものを生蕃といふ。生蕃は性質兇暴
なれども、近年歸順するもの多し。内地人も次第
に増加したれど、尙十六萬餘に過ぎず。
政治は臺灣總督の掌る所にして、總督府の下に

その中、臺灣人の
感化を受け、土着
して農耕をなす
ものを熟蕃とい
ひ、山間にありて

花蓮港廳	臺東廳	高雄州	臺南州	臺中州	新竹州	臺北州	區劃
花蓮港	卑南	高雄	臺南	臺中	新竹	臺北	治所

臺北に高等學校・
高等商業學校・醫
學專門學校・高等
農林學校あり

臺灣神社は大己貴
命・大國魂命・少彥
名命を祀り又能久
親王を合祀す



基隆の棧橋

五州二廳を置き、又臺灣軍司令部ありて、軍
事を統ぶ。

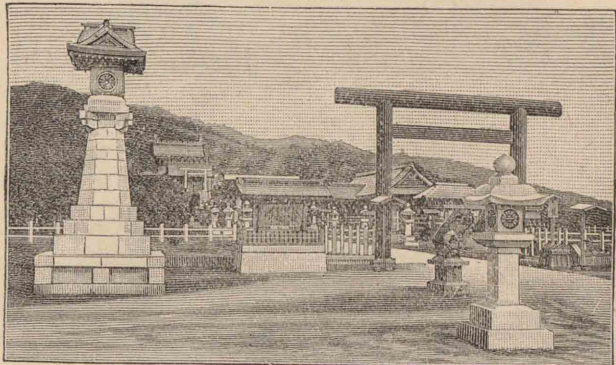
處 誌

東部の大半は、開拓未だ擧らざれども、西
部には各種の産業著しく發達して、主要
の都邑多し。

基隆は本島の北門に當り、内地との交通
上最も重要な地點を占め、島内第一の開港
場にして、茶樟腦等の積出多く、縦貫線の鐵道此處より起る、この附
近は石炭を産し、又東部に金瓜石瑞芳等の金産地あり。臺北市は
本島の首都にして、淡水河に臨む、その市街は近年面目を一新して
著しく莊麗となり、總督府その他宏大なる建物多く、茶の取引甚だ

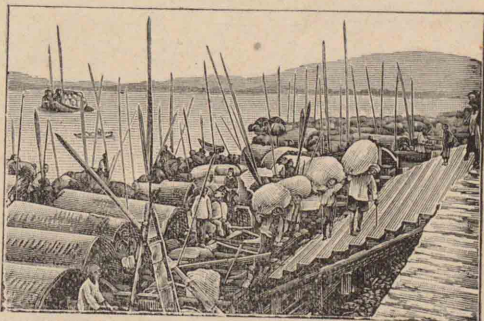
盛なり、この郊外に臺灣神社あり、淡水は淡水河の口に臨める開港場

臺北・淡水間に淡水線の鐵道を通ず
基隆の附近は要塞地なり
海岸の舊港・後龍は特別開港場なり



臺灣神社

の要地を占め、近傍に北投の溫泉場あり。東部の宜蘭地方は麻類の産に富み、その海岸に蘇澳の碇泊地あり。西岸に近き新竹は附近より柑橘を



(上) 出積の茶と(下) 街市の北臺

鹿港は東北の樞樞と共に特別開港場なり

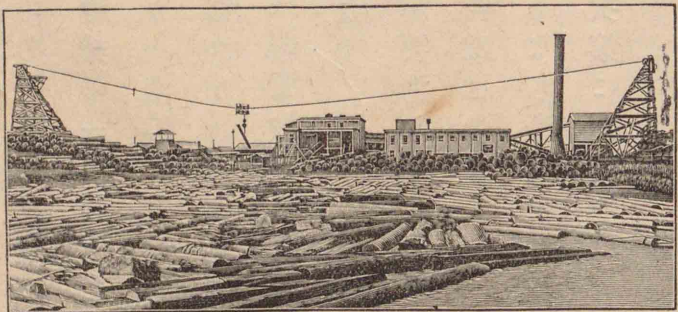
海岸の東石は特別開港場なり

産し、苗栗は樟腦の集散地なり。
臺中市及び彰化は共に農産地方の中心をなし、附近は米落花生等の産多く、又製糖業盛なり。海岸の鹿港は港市にして、北部の大甲には蓆帽子等の名産あり。



臺南市の街

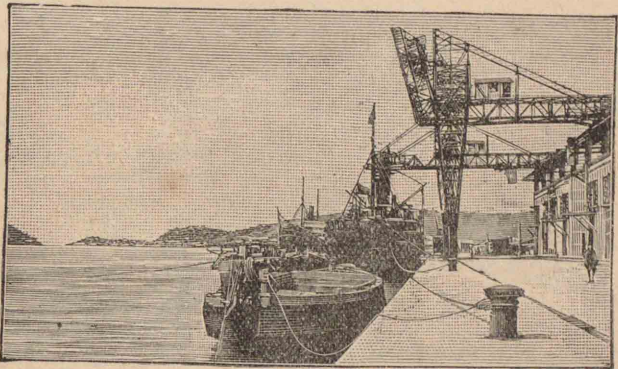
嘉義は附近に米の産多く、又鐵道を阿里山に通じて製材行はる。阿里山は良材の産を以て名高く、斗六は樟腦の集散地なり。臺南市は往時本島の首府たりし所にして、今は製糖業の大中心をなし、その港安平は開港場なり。



嘉義の營林廠

鳳山の東南に當る東港は特別開港場なり

馬公は特別開港場なり



高雄の埠頭

高雄は重要な開港場にして、砂糖の輸出多く、潮州線の鐵道此處より起る、附近の海邊は製鹽盛なり。鳳山の附近は鳳梨の産多く、又屏東と共に製糖業の一中心をなし、恒春は南部の名邑なり。南岬に近き七星岩は我が國の南端に當れり。澎湖諸島には澎湖、白沙、漁翁の三大島あり、相對して澎湖灣をなす。灣内の馬公は海峡の形勝を占め、海軍要港なり。西南の花嶼は我が版圖の最西端に當る。

臺東地方は、山地多くして蕃民所々に部落をなし、産業未だ盛ならず。近時、花蓮港、臺東の兩地を中心として、次第に拓殖の歩を進むるに至れり。

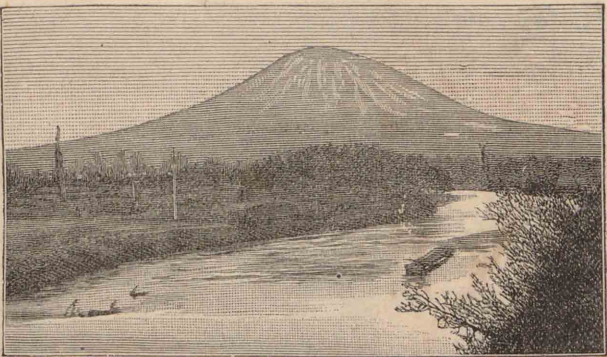
第九章 北海道

通説

北海道本島と、千島諸島とにして、その東北端は、千島海峡を挟みて露西亞領のカムチャッカ半島と相望む。

カムリ嶽の遠望

地勢 北見山脈・日高山脈は殆ど南北に連り、千島より通ずる千島火山脈は、本島の最高峯たる旭嶽(ウシクカム)を始め、石狩雌阿寒、雄阿寒等の諸峯を起して之と交り、中央部は

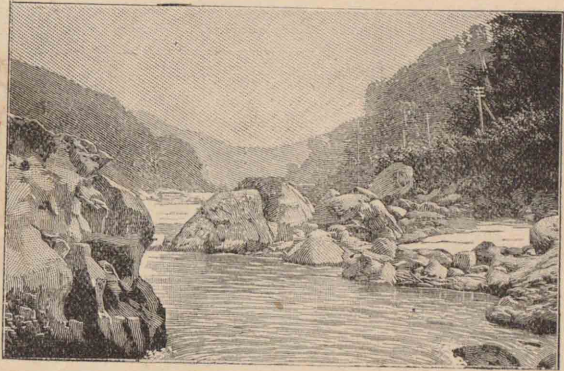


北見山脈・日高山脈を合せて蝦夷山脈とも呼ぶ

山勢甚だ高峻なり。西南部には那須火山脈に屬する火山多く、マツカリ嶽有珠嶽樽前嶽駒嶽等は、その著しきものとす。マツカリ嶽は、山容の秀麗を以て名あり。

オホーツク海の沿岸には網走湖・猿間湖等の潟多し

内浦灣は沿岸に火山多きが故に一に噴火灣といふ

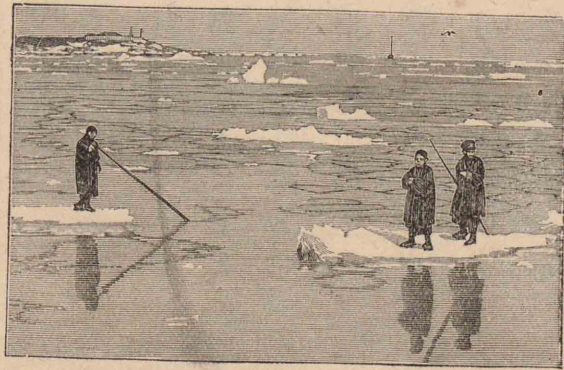


神居古潭の峽流

河の最大なるは石狩川にして、その上流に神居古潭の勝地あり。この他天鹽川・釧路川・十勝川等ありて、其等の流域には、石狩・十勝等の廣き平野を開けり。

海岸 海岸線は單調なれども、北方には宗谷岬、南方には襟裳岬、東方には知床岬突出し、又西南部には魚尾形の渡島半島ありて、内浦灣を抱き、その北に小樽灣を作れり。

農業 北海道は一般に氣温低く、冬季は海面の凍結する處あれども、夏季は温度割合

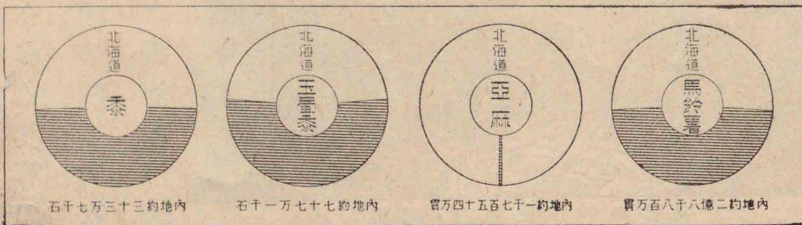


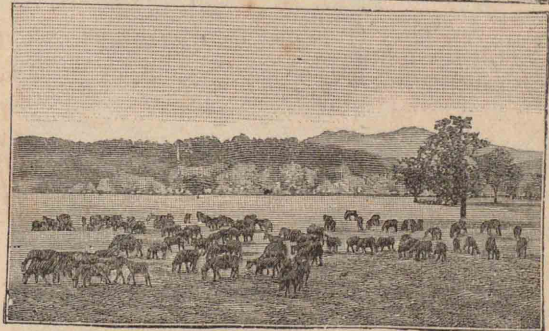
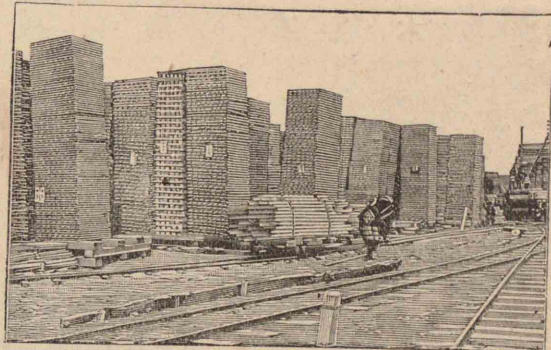
根室灣の氷流

に昇りて、植物の生育著しく、近年拓殖の進歩と共に、農業大に發達して、豆類・麥類・馬鈴薯・菜種・亞麻・玉蜀黍・蔬菜等の耕作盛に行はれ、米の産も亦増加し、石狩平野には苹果・櫻桃等の果實を産す。山地には蝦夷松・榎松・落葉松・白楊・栓等の廣き森林ありて、木材・鐵道枕木・製紙原料・燐寸・軸木などの産多し。牧畜は馬を主と



亞麻の刈取と玉葱の採收





の影響を受け、到る處好漁場にして、鯡・鱈・烏賊・帆立貝・昆布等の水産に富み、河川には鮭・鱒等の漁利多く、水産物の豊富なること世界に名高し。鑛産は石炭・硫黄・金



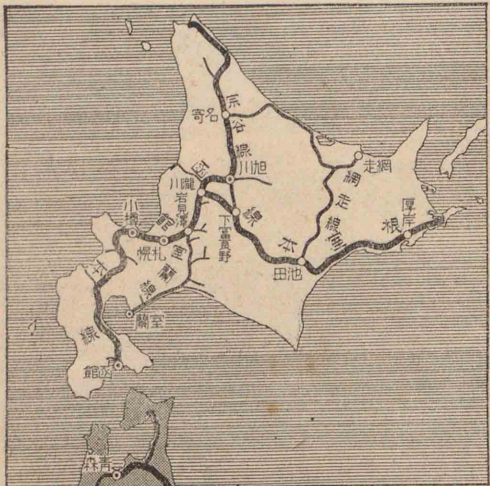
獲漁の鯡及び場牧・積集材木

し、牛・豚等も亦多く、其等の牧場には規模の頗る大なるものあり。近海は海流

等を出し、中にも石炭は甚だ豊富にして、その産額は九州に次ぐ。近年工業も次第に發達して、所々に醸造製麻製材・製紙・製粉・罐詰等の業起り、室蘭には大なる製鋼所あり。

- 1 函館・旭川間
- 2 滝川・根室間
- 3 旭川・稚内間
- 4 室蘭・岩見澤間
- 5 池田・網走間

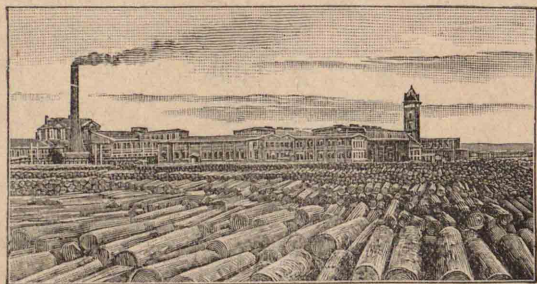
北見及び根室以東の海岸は冬季凍結の爲數月間全く航通なし



交通 開拓の進

歩に伴ひて、鐵道の發達著しく、函館線・根室線・宗谷

線等は、相連りて本島の幹線をなし、その他、室蘭線・網走線等の重要な線路多し。海運は沿海航路の外、函館・小樽を中心として、本州・樺太及び浦潮斯徳



(場工牧小苫の社會紙製子王)場工紙製

アイヌは人口僅に一萬五六千に過ぎず
成年に達せる女子は口邊に黥する習慣なりしが今は廳令によりて之を禁じたり



アイヌ人の住居

等に航路を通じ、又函館と青森との間には、鐵道聯絡船あり。

住民 住民の大部は内地よりの移住民にして、近年大にその數を増加したれど、人口の密度は尙小なり。本島の土人をアイヌといひ、沙流川の沿岸及び内浦灣の附近等に最も多く住し、概ね漁獵を業とし、又は單純なる農業を營めり。

政治は北海道長官の掌る所にして、北海道廳を設け、その下に十四の支廳あり。

處 誌

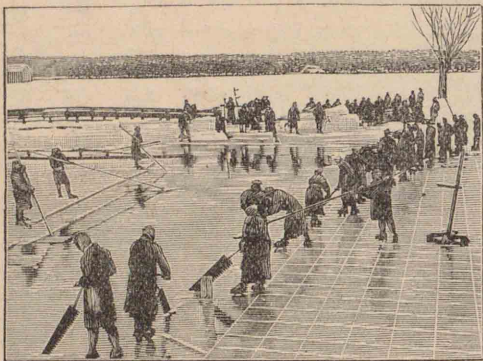
支	
渡島	檜山
釧路	後志
網走	釧路
空知	上川
釧路	留萌
釧路	宗谷
釧路	河西
釧路	根室

この地は新開地なれば、面積の割合に都邑の數は多からざれども、産業の發達せる地方には、進歩せる新市街ありて、概ね街區の整然たるを特色とす。

函館の附近は要塞地なり

五稜廓は維新の戦に有名なり

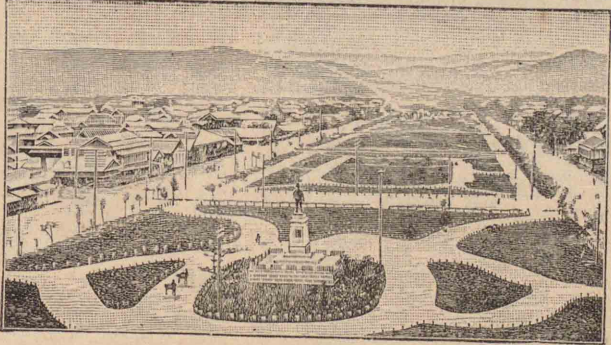
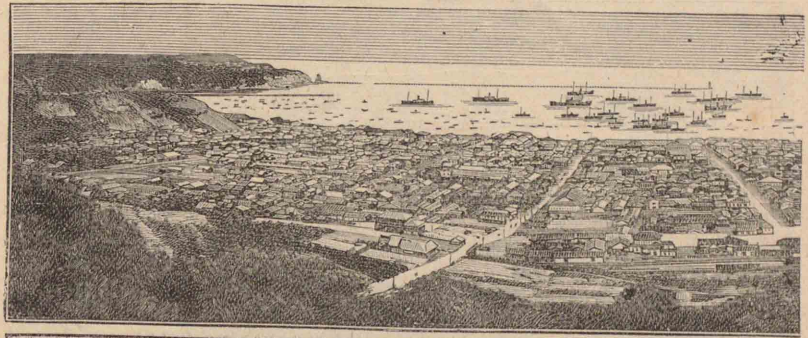
福山は古の松前なり
大沼公園は駒ヶ岳の下にありて大沼を中心としその附近一圓を公園となす



函館港と五稜廓の採氷

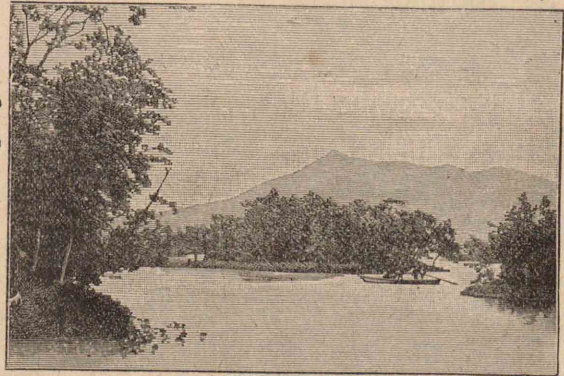
渡島半島の函館市は、内地と聯絡の要衝に當り、重要な開港場にして、水産物等の輸出も多く、近郊に五稜廓あり、その外濠には製氷盛に行はる。西南の福山は、本島最古の都會にして、西岸の江差岩内は共に重要な漁港なり。函館線の鐵道は、勝景に名ある大

小樽に高等商業學校あり



(下)通大の市幌札 (上)望展の港樽小

沼公園を過ぎ、石狩平野に通ず。俱知安は農産物集散の中心を



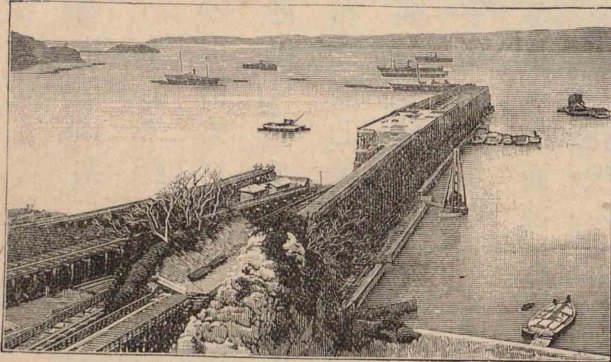
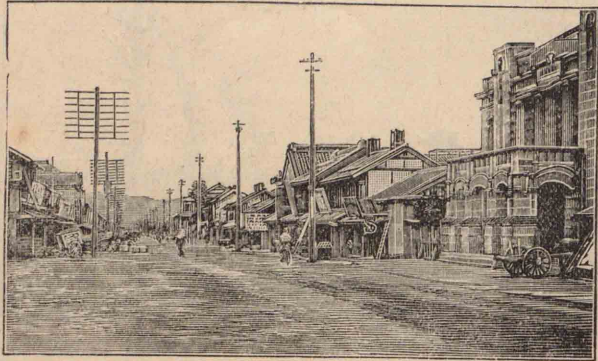
園公沼大

なし、余市の附近には苹果の産多し。小樽市は本道第一の開港場にして、港灣の施

札幌に札幌神社 (祭神大己貴命・大國魂命・少彦名命) あり

岩見澤の附近には萬字・幌内・夕張・幾春別等の炭山あり

室蘭の製鋼會社は日英兩國人の共同經營に屬す



(下)橋棧架高の蘭室 (上)街市の川旭

設能く整ひ、内外に對する商況甚だ盛なり。ひ、道廳及び北海道帝國大學の所在地にして、麥酒・製麻等の大工場あり。岩見澤は鐵道交通の要點に當り、附近に夕張その他の産炭地多し。室蘭市は石炭の積出多き開港場にして、大なる製綱所あり。苫小牧には洋紙の工業行はれ、平取はアイヌ人の大邑にして、南方の新冠には宮内省牧場あり。旭川市は上川盆地の中心に位し、鐵道の

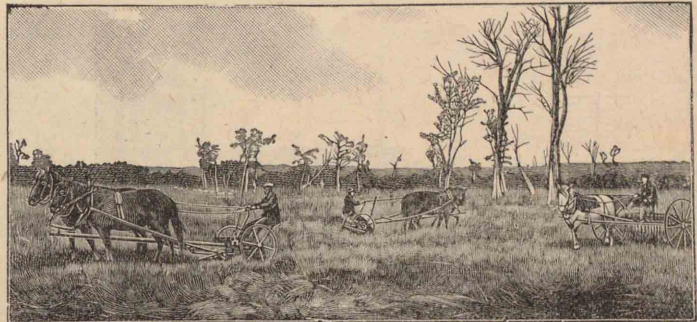
の中心に位し、鐵道の

旭川は本邦最寒地の一なれども夏季は氣温頗る高し
旭川に第七師團司令部 その附近に離宮豫定地あり

根室附近の西別川は鮭・鱒の養殖に名あり

落石崎に無線電信局あり

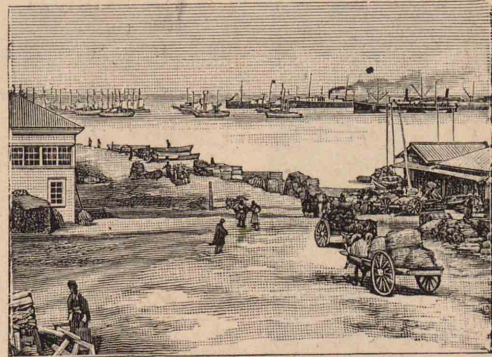
野付等には燐寸軸木の製造行はる



十勝平野の馬耕

網走線の終點に當れる港市にして、北部の稚内は樺太に對する要地なり

要地にして、附近に米の産あり。西海岸の留萌・増毛は、共に主要の漁港なり。
十勝平野は、近年開拓大に進み、帯廣・池田等の市街興れり。釧路川に臨める釧路市は開港場にして、近海は水産多く、厚岸の附近は昆布を産し、灣内には牡蠣の養殖行はる。根室は開港場なれども、冬季は海面凍結するを以て、花咲をその補助港となす。網走は



夏季の根室港

幌筵島に無線電信局あり

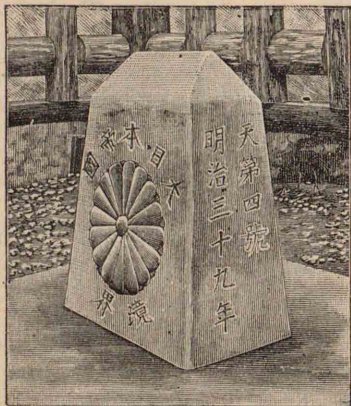
面積 約三三九方里
人口 約八五千人
密度(一方里) 約三六人
北緯五十度以北の地は目下我が軍の臨時占領に屬す

千島諸島は、三十餘の島々より成り、國後島・擇捉島等を大なるものとす。土地耕作に適せざれども、近海には海獸多く、又鱒・鱈等の漁利に富む。擇捉島の紗那は、千島第一の要津にして、占守島は我が國の最東端に當り、阿頼度島は最北端に當れり。

第十章 樺太

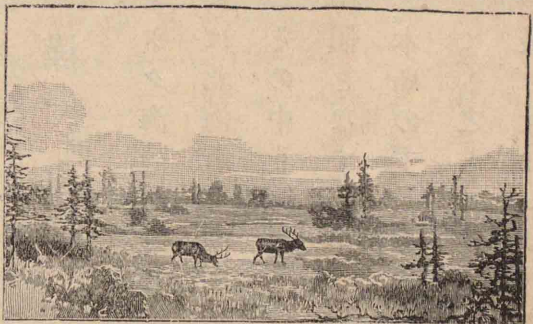
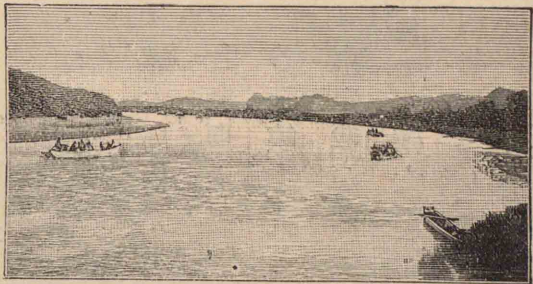
樺太島はオホーツク海の西邊に位し、西は間宮海峡を隔て、西比利亞と對し、南は北海道との間に宗谷海峡を挾む。その中北緯五十度以南を我が國の所領となす。

地勢 樺太山脈は、本島の主軸をなして南北に走り、その東にも之と竝走する小山脈あり。河流の最も大なるは幌内川



日露境界の石標

【圖解】 ツンドラ
は低濕の泥炭地にして地上には厚く蘚苔の類を生ずこの蘚苔は馴鹿の好飼料なり



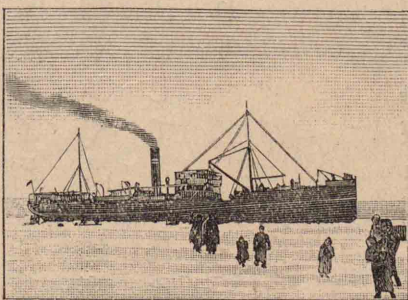
(下)方地ラドンツ (上)川内幌

岬出で、多來加灣を抱き、南には中知床、西能

登呂の兩岬相對して亞庭灣をなす。

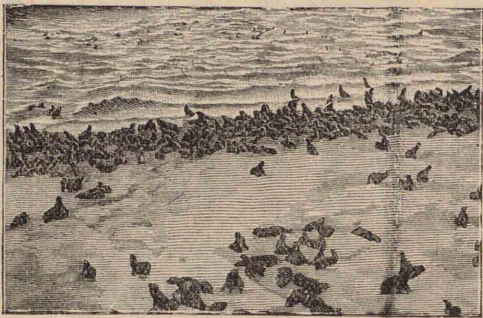
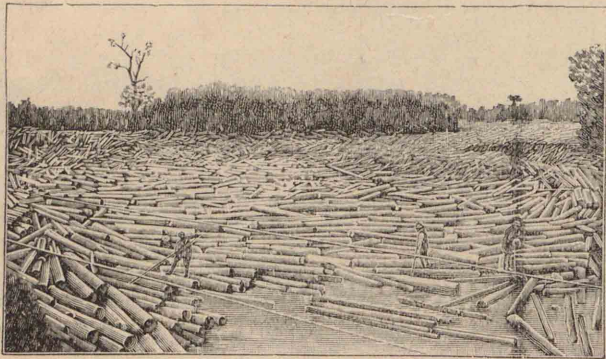
【産業】

氣候寒冷にして、冬は西南部の外、沿岸概ね凍結すれども、蝦夷松、榎松、落葉松等の林



(薄蔵干)景光の陸上り渉を上水

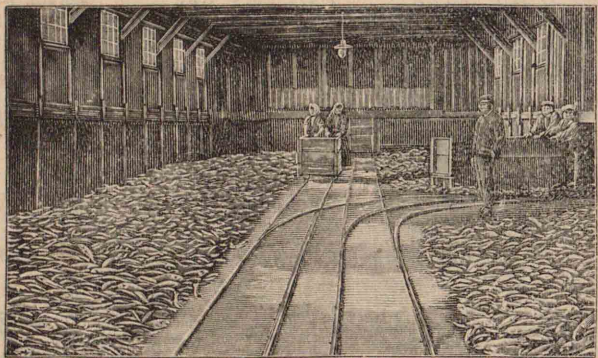
にして、その流域には廣き平野あれども、概ね不毛の荒原にして、所謂ツンドラをなし、南部の鈴谷川流域にも狭き平野を開く。海岸は甚だ單調なれども、東



群獸膾膾の島豹海と運輸の料原ブルバ

膾膾膾膾群棲せり。石炭の埋藏も少からざれども、その收利は未だ多からず。産業の最も主要なるは水産にして、夏季に至れば、

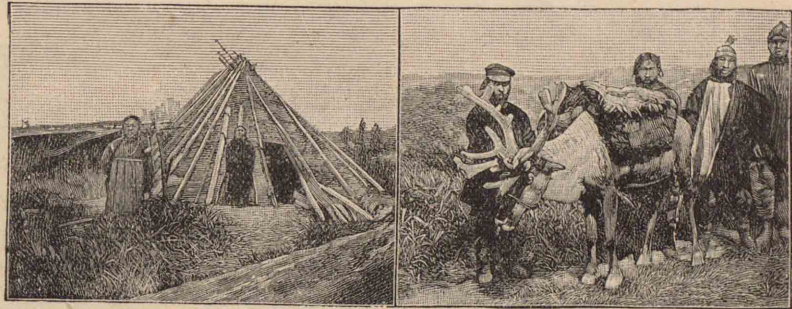
北部には狐、貂等の毛皮獸多く、海豹島には



積 蓄 の 鮮

地ありて、木材、パルプ等の産に富む。南部の平野には農牧も稍行はれ、

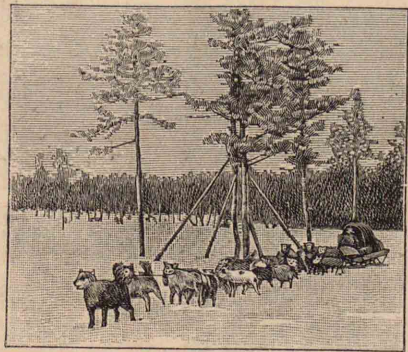
土人の總數は二千弱にしてその大部を占むるはアイヌ人なり



(人ンヨチロオは左 人クヤリギは右)俗風の人士太樺

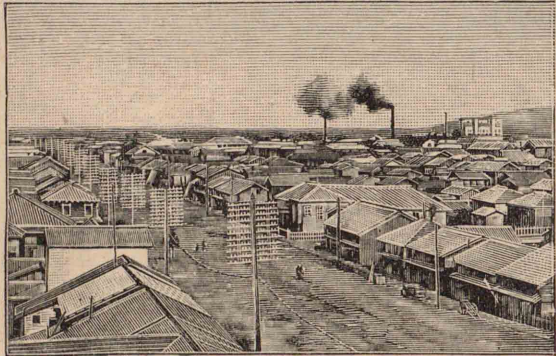
沿岸到る所漁業盛に行はれ、殊に西岸の鯡、東岸の鮭、鱒は、漁獲最も多く、その他鱈、蟹、昆布等の水産少からず。

住民 本島には、古くより住するアイヌ、オロチン、ギリヤク等の民族あれども、その數は極めて少し。内地よりの移住民は年々その數を増し、夏季には數萬人に及べども、人口の密度は尙小なり、殊に北半の大部は、森林又は土人の遊牧地にして、鐵道も南方の一部に開通を見るに過ぎ



橋 犬

豊原に樺太神社 (祭神大己貴命・大國魂命・少彦名命) あり



(下)街市の原豊 (上)岸海の岡眞

ざれば、冬は多く橇ソリを利用せり。政治は長官の掌カサトる所にして、樺太廳の下に九支廳あり。

都邑

大泊オホトマリは千歳灣に臨める開港場にして、冬季は凍結ヨシヅメの不便あれども、夏季は船舶の出入繁

も、夏季は船舶の出入繁く、鐵道此處より豊原を経て榮濱サカエハマに通ず。豊原は樺太廳の所在地にして、附近に有望なる沃野を控へ眞岡は開港場に於て、漁業の大中心をなし、此處より鐵道を本斗

支	豊原
支	元泊
支	鷗城
支	眞岡
支	留多加
支	大泊
支	數居
支	香泊
支	本斗

に通ず。東岸の敷香内淵等は共に、漁業の一中心をなす。

第十一章 朝鮮

面積	約一四三三方里
人口	約一七六萬人
密度 (二方里)	約一、二〇〇人

白頭山上の火山湖を龍王潭といひ曲玉形にして周囲二里半に及び火山壁の峻しき絶壁をなせること圖の如し

小白山脈は扇狀に擴がりその餘勢は近海に多數の島嶼を生ず



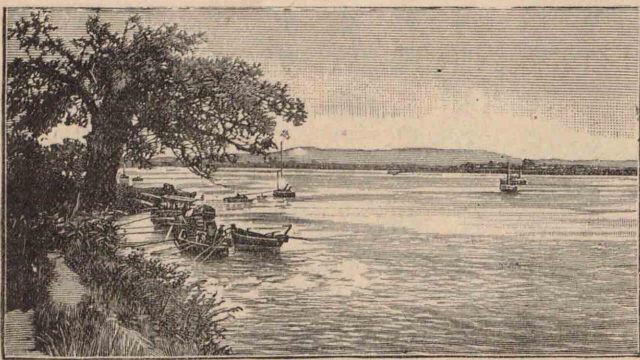
白頭山上の火山湖

朝鮮は、日本海と黄海とを分てる一大半島にして、北は滿洲及び西比利亞と連る

地勢 地形は南北の二部に分れ、北部には長白山脈、妙香山脈など、殆ど東西に並行して蓋馬高地を挟み、又その中部を南北に連る狼林山脈あり。長白山脈に噴起せる白頭山は、朝鮮第一の高山にして、頂上に火山湖あり。南部には、殆ど南北に互れる大白山脈あり、小白山脈之より分る。大白山脈中の金剛山は、岩石の奇勝を以て著はる。

鴨綠江・豆滿江(圖們江)は上流地方の木材搬出の要路たり

日本海中に鬱陵島あり、その近海より以南對馬海峡に至る間の海面は日本海海戦のありし所なり



河流は、分水嶺の東に偏するにより、東斜面には、北境を流る、豆滿江の外著しき河流を見ざれども、西斜面には、鴨綠江・大同江・漢江・錦江等の大河多く、又南斜面には、洛東江あり。是等の下流には、多少の平野を伴ひて、運漕灌漑の便多し。

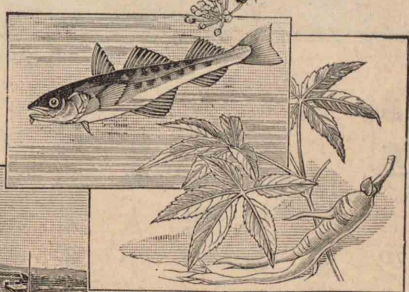
海岸 日本海の沿岸には、永興灣・迎日灣の外、著しき出入なく、島も亦少けれども、黄海及び朝鮮海峡の沿岸は、西朝鮮灣・江華灣等の屈曲錯雜し、又海上には、濟州島・巨濟島等を始め、大小無數の島嶼散在して、その一部は、多島海の稱あり。されど、黄海岸が海底の遠淺なると、潮汐干満の著しきとは、航運に不便を感ずること少からず。

産業

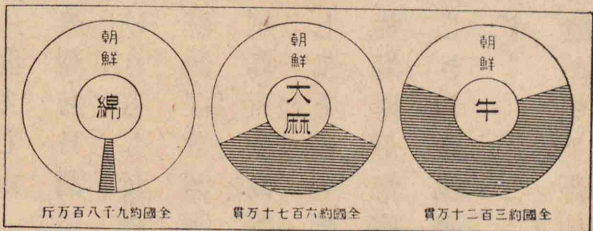
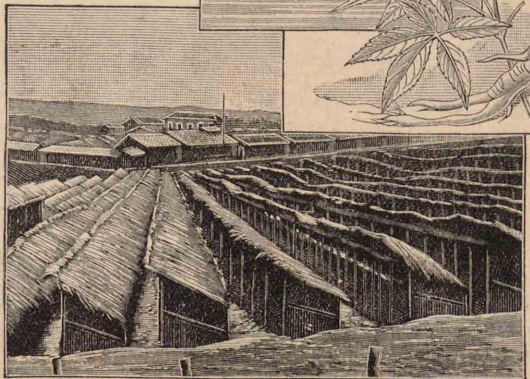
この地は、寒暑の差、内地よりも著し

金は我が金貨の地
金となる

く、北部の河川は、冬
季悉く凍りて車馬
その上を通ずるに
至る。産業は未
だ振はざれども、農
業、牧畜は廣く行は
れ、殊に農事は、近年
内地人の移住と共に、次第に
改善せられ、米、麥、大豆、煙草、綿
等の産多く、又人蔘の特産あり。
牧畜は古來牛の飼養行はれ、牛皮の産多し。南部は濫伐の結
果、林地稀なれども、北部には大森林ありて、良材を出し、鑛物は各地
に主要の鑛山ありて、金、鐵の産に富み、石炭、銅等も亦多し。水産は

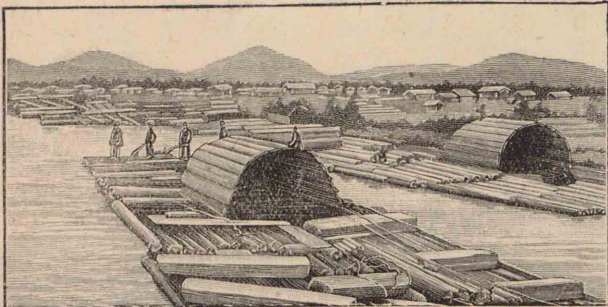


明太魚 (開城附近)
人蔘

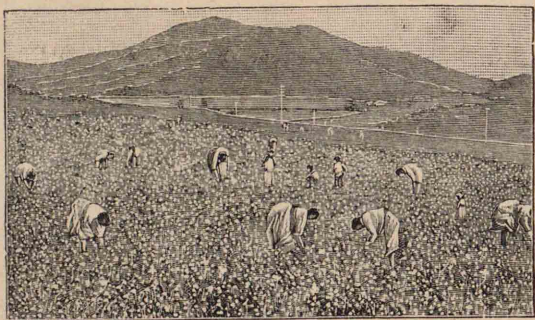


明太魚は冠婚葬祭
等の儀式に必ず用
ひらる

甚だ豊富にして、南部、西部の石首魚、鯛、烏賊、鱧
等と、日本海の明太魚等とは殊に多く、西部に
は製鹽の業起れり。工業は未だ盛ならず、従
て貿易は内地より加工品
を移入して、原料品を移出
すること多し。



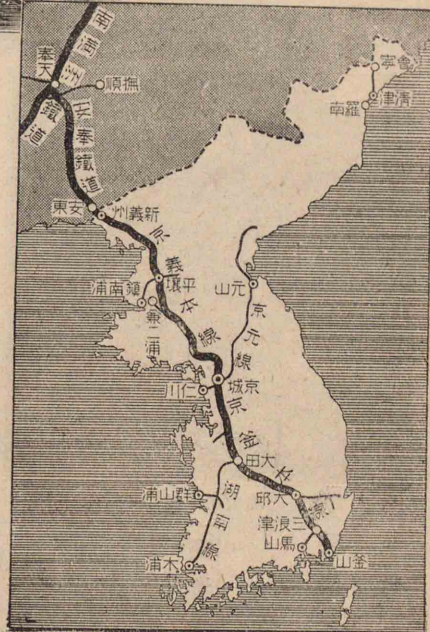
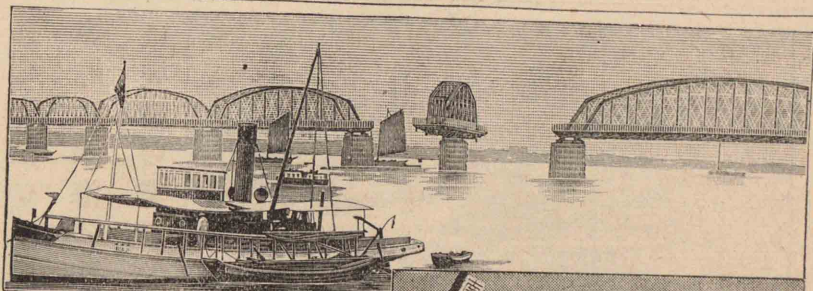
積集の魚太明と送輸の材木



採の綿

交通 道路一般に悪
しく、馬又は轎を用ひ
て來往するに過ぎざ
りしが、近年鐵道の敷

- 1 釜山・京城間
- 2 京城・新義州間
- 3 三浪津・馬山間
- 4 大田・木浦間
- 5 京城・仁川間
- 6 平壤・鎮南浦間
- 7 京城・元山間



鴨綠江の開閉橋

道と聯絡す。その他、是等より分る、馬山線、湖南線、京仁線、平南線及び京元線等あり。西部南部の地方は、鐵道の發達著しきが上に、良港多きを以て、水陸共に交通甚だ便なれども、日本海方面は、尙不便を感ずること少からず。

住民 住民の數は約一千七百萬人に達し、大部は

設大に進み、京釜京義の二線は、相連りて半島を縦貫し、更に架橋によりて滿洲の鐵

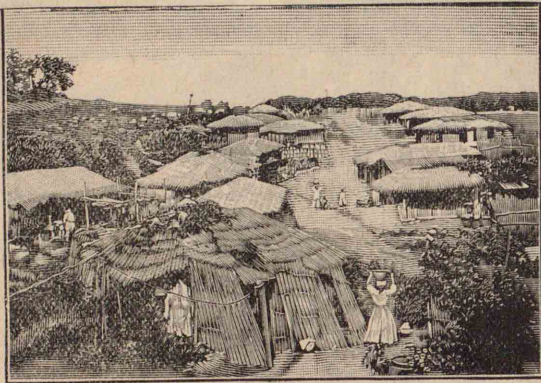
内地人の在住三十萬に及ぶ

諺文は子音と母音とを綴合して一種の發音をなすものにしてその例左の如し

早 PU = ㅍ
山 SAN = ㅍ
早 PU = ㅍ
山 SAN = ㅍ

朝鮮族にして、その容貌は、日本民族と甚だ相似たり。從來惡政の爲に遊惰に流れしも、次第に改善に向ひ、殊に女子は頗る勤勞の風あり。文化の程度稍低く、上流は

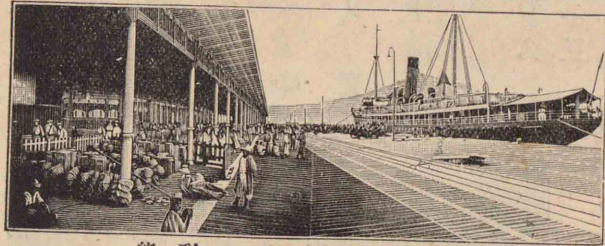
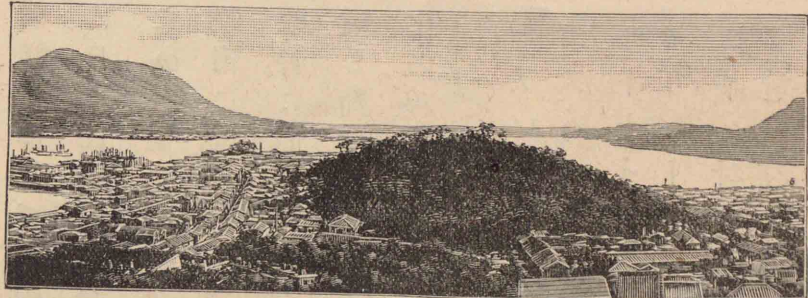
子 フレヒゴロ日人
音 ス〇オヲミエ立
母 トトイオト立下
音 ㅍ ㅍ ㅍ ㅍ
綴 早 山
音 한 강 (漢江)



(下) 濯洗の人婦 (上) 落村の舍田

漢文を解すれども、下民は概ね陋屋に住し、諺文を用ふるもの多し、されど近年各種の學校を設けて、教育の普及に力め、漸く面目を改むるに至れり。

總督府に總督官房
及び内務・財務・殖
産・法務・學務・警
務の六局あり



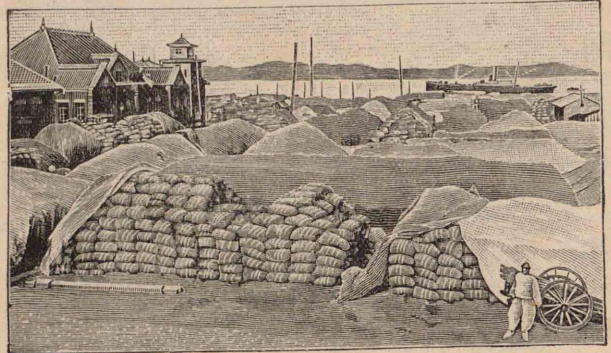
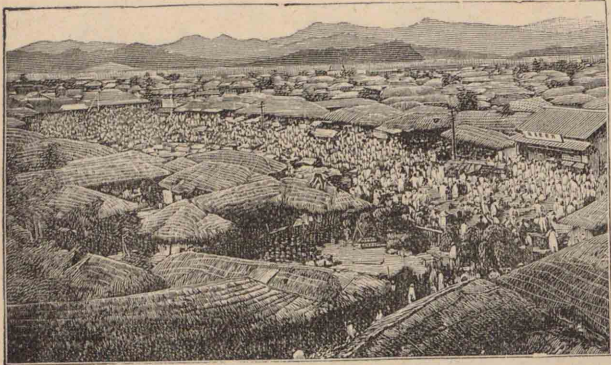
釜山港と船車聯絡

政治は朝鮮總督の掌る所に
して、總督府を設け、地方は全土
を十三道に分ちて、各道に知事
を置く

處誌

産業交通等の
關係により、東
部は發達稍、後
れ、主要都邑の
多數は、南部・西部に集れり。
釜山は絶影島の陰に位し、半島
の南門をなせる開港場にして、港

慶尙南道	慶尙北道	全羅南道	全羅北道	忠清南道	忠清北道	京畿道	黄海道	江原道	咸鏡南道	咸鏡北道	平安南道	平安北道	義州
晉州	大邱	光州	全州	公州	清州	京城	海州	春川	咸興	咸興	平壤	義州	



大邱大市の雑沓 (上) 群山に於ける米の積出 (下)

灣の設備も能く整ひ、下關と鐵道聯絡船を通じて、内地と交通の衝
に當り、貿易の盛なること半島第一に位す、京釜線の鐵道此處に起
り、支線を馬山に通ず、その前面の鎮海灣は海軍要港なり。北方の
大邱は農産物の集散
多く、春秋の大市には、
殊に雜沓を極む、この
東方に新羅の舊都た
る慶州あり。
秋風嶺を西に越ゆ
れば、大田あり、米作地
方の中心をなして、發
展著しく、鐵道湖南線
此處より分る。公州

京城は東京より約二晝夜にて達す

龍山に朝鮮軍司令部・第二十師團司令部あり

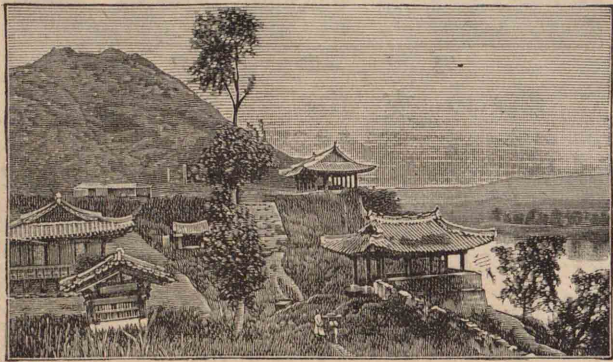
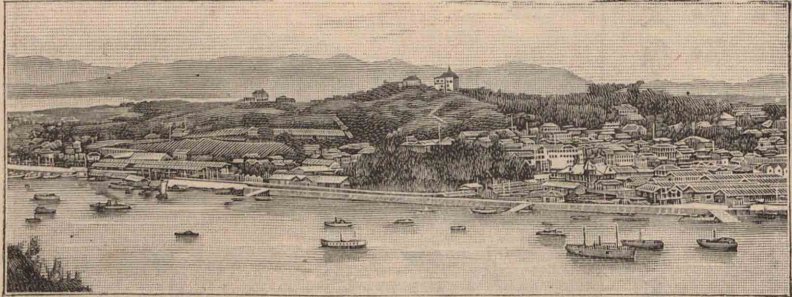


京城の南大門と總督府

全州等は古來の名邑にして、群山木浦は共に開港場なり。西南部の海上には漁利多く、濟州島はその中心をなす。

漢江に沿へる京城は、半島第一の都會にして、周邊殆ど山丘に

圍まれ、且市外には城壁を繞らせり、もと韓國の首都たりし所にして、當時の宮殿尙存し、總督府を始め、多くの官衙此處にあり、廓外に發達せる龍山は鐵道の集點にして、又軍事上の要地なり。京仁線の終點たる仁川は、京城の門戸をなし、重要

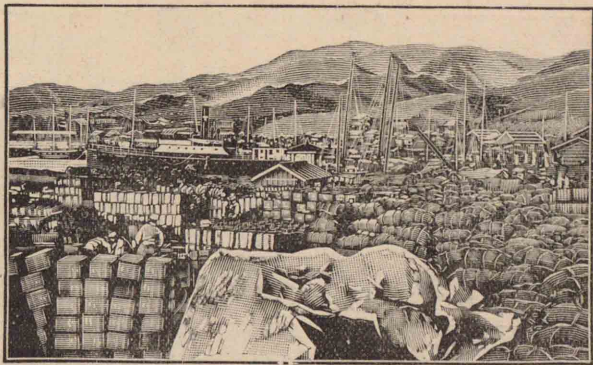


仁川の海岸(上) 平壤の牡丹台

の開港場にして、築港も已に成り、米・人蔘・牛皮等の積出多し。東南の水原は、農事改良の中心地にして、西北の開城は、人蔘の名産地なり。大同江畔の兼浦は、水陸交通の要地にして、製鐵所を設け、西南の載寧殷栗は共に鐵礦の産を以て著はれ、東方の遂安は金を産す。大同江に臨める平壤は形勝の地を占むるが故に古來屢戰場となりしが、今は北朝鮮に於け

雲山は朝鮮第一の
金坑にして米國人
の經營する所

羅南に第十九師團
司令部あり



清津港

る貨物集散の大中心をなし、附近より石炭を産す。江口の鎮南浦は重要な開港場にして、米穀の積出多く、附近の廣梁灣岸には製鹽行はる。

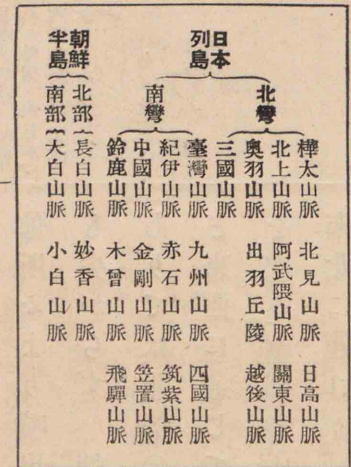
平壤の北方には金の産地多く、その中、雲山は最も著はる。鴨綠江に沿へる義州は、支那に通ずる要路に位し、新義州は京義線の終點にして、交通の要地を占め、江口の龍巖浦と共に開港場なり。

東海岸の元山は主要の開港場にして、明太魚・牛等の集散多く、東北の城津・清津も共に開港場なり。清津は、會寧を経て支那の間島に入る門戸に當り、近年發展著しく、附近の羅南は軍事上の要地にして、東北境に近き雄基は開港場なり。

後編 總說

第一章 地形

地勢

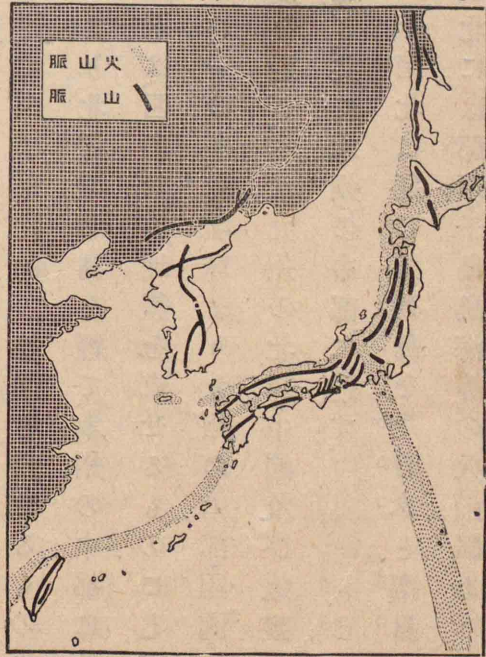


日本列島を作れる主要の山脈は、北彎と南彎との二山系に屬す。北彎山系は東北部の地體を成せるものにして、樺太より北海道本島を経て、本州の中部に及び、南彎山系は、西南部の地體を成せるものにして、二列に分れ、一は臺灣・琉球より、九州の南部・四國・近畿の南部を過ぎ、一は九州の北部・中國及び近畿の北部を過ぎ、共に本州の中部に達す。

富士火山脈は、殆ど中央を南北に通じて、列島を北日本と南日本とに分つ。富士火山脈以北には那須・千島・鳥海等の火山脈あり、以

北嶽山系の連る地
域を北日本南嶽山
系の連る地域を南
日本と呼び、又嶽
形の外側を表日本、
内側を表日本と呼
ぶことあり

南には阿蘇霧島白山及び
大屯等の火山脈あり、この
他、所々より噴出せる火山
も少からず。朝鮮半島に
ありては、北部の山脈は殆
ど東西に通じて一大高地
を挟み、南部の山脈は概ね
南北に連れり。火山は一
體に少く、白頭山をその重なるものとす。



日本の山系

國內到る處山地多きを以て、平野の大なるもの少く、その中、最も
廣きは關東平野にして、越後濃尾大阪筑紫及び石狩等の諸平野も、
之に次ぎて頗る大なり。

水系

朝鮮半島には、鴨綠江・豆滿江等、大河乏しからざれども、日本

太平洋斜面
オホーツク海斜面
日本海斜面
朝鮮海峽斜面
黄海斜面
東支那海斜面
臺灣海峽斜面
瀬戸内海斜面

(斜面)
北上川 利根川 天龍川
木曾川 熊野川
幌内川
石狩川 最上川 信濃川
江川 豆滿江
洛東江
鴨綠江 大同江 漢江
筑後川 球磨川 川内川
淡水河 濁水溪 下淡水溪
淀川 旭川 大田川

(主要河川)

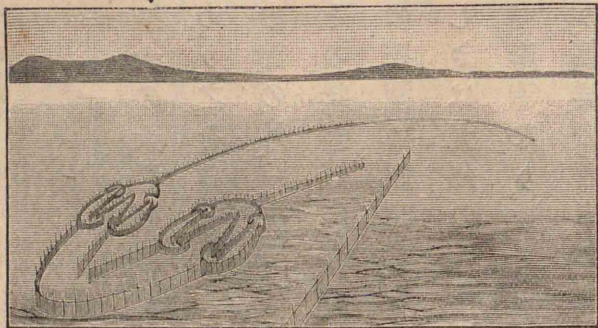
列島は、數多の斜面に分たる、が故に、河川の長
大なるものなく、その中重要なるは石狩利根信
野木曾淀筑後等の諸川にして、是等は何れも小
汽船を上下せしめ、灌漑の
利も亦甚だ大なれども、多
くの河川は、傾斜急にして

琵琶湖
霞名湖
濱間湖
八郎湖
印旛沼
風連湖
猪苗代湖

(湖名)
六〇里
三四里
三三三
二七三
二〇七
一八八
一六一

(周囲)
琵琶湖
霞浦北浦等之に次ぐ。その他、小湖は

運の利に乏し。
湖水の最も大なるは琵琶湖にして、
霞浦北浦等之に次ぐ。その他、小湖は
到る處に散在して、灌漑養魚等に利用せられ、
又勝景を伴ひて、遊覽地の名を得るに至れる
ものも少からず。



湖水产漁の一種

第二章 近海

日本海溝の最も深き部分をタスカロラ海淵と稱し深さ二萬七千尺以上に及ぶ

五大島の中にて海岸線の割合最も長きは九州にして四國本州之に次ぐ

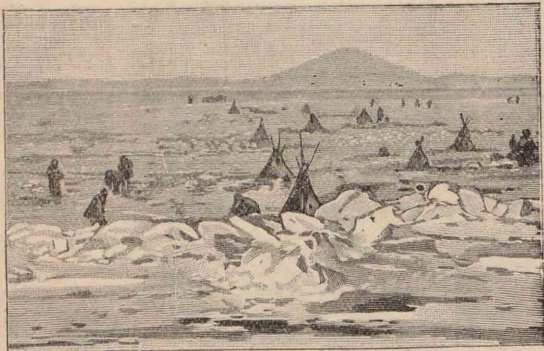
海岸 我が國の外面に當れる太平洋は、世界最大の大洋にして、奥羽及び千島の東方に當りて、世界屈指の深所あり、之を日本海溝といふ。内面の海は、一般に淺くして、日本海の中部の外、一萬尺を越ゆる所なし。海岸は内外出入の門戸なれば、その状態の良否によりて、文化の發達に關すること多し。我が國の周圍は屈曲多く、且島嶼に富めるを以て、海岸線甚だ長く、殊に著しきは九州の西岸瀬戸内海の沿岸本州の太平洋岸及び朝鮮の西南岸等なり。

潮汐 潮汐の干満は、地形によりて大に異なり、朝鮮の西岸には、その差三十尺に餘る所あれども、日本海岸は概ね小にして、佐渡にて一尺に過ぎざる所あり。狭き海峡にては、潮汐の進退に伴ひ、激しき潮流を起すことあり、瀬戸内海の入口は殊に顯著なり。

日本海流の一部を黒潮といふ

千島海流は又親潮ともいふ

圖解 氣温比較
圖中斜線を加へたるは夏季にして黒抹したるは冬季なり



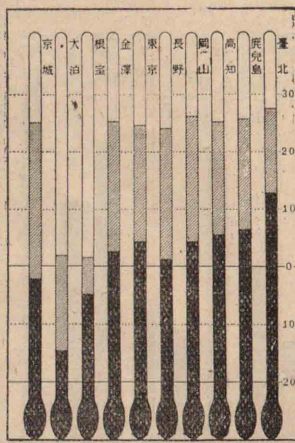
凍結せる海面 (北海道近海)

海流 我が近海には、寒暖二種の海流あり。暖流の主要なるは日本海流にして、日本列島の外側に沿ひて流れ、その一派たる對馬海流は日本海を流る。寒流は、千島近海より、奥羽の東岸に通ずる千島海流最も大にして、その他樺太海流リマン海流等あり。何れも氣候・水産等に影響を及ぼすこと大なり。

第三章 氣候 生物

氣温 我が國の大部は温帯にありて、概ね

温和なれども、土地南北に長く、且地勢、海流、風向等の關係によりて、各地



氣温の比較

所謂二百十日の頃は荒れ時として一般の警戒する所なり

雨量多き地方

臺灣 九州・四國・紀伊の南部 北陸地方 濃飛高原

雨量少き地方

樺太・北海道の東部 長野縣 瀬戸内海沿岸 朝鮮

著しく異なるが故に、臺灣の冬は北海道の夏と大差なく、北海道・樺太・朝鮮等には、冬季河海の氷結する處あり。

風雨

我が國の夏は、東南風多く吹き、太平洋上の濕氣を運ぶが故に、本州

四國・九州の太平洋面は雨多く、

冬は西北風多きを以て、日本海上の濕氣を伴ひて、北陸・山陰

の地方は雪多し。風向を變ずる夏秋の交には、時々暴風雨

を起し、又初夏の頃には、全國の大部に互り梅雨といへる雨

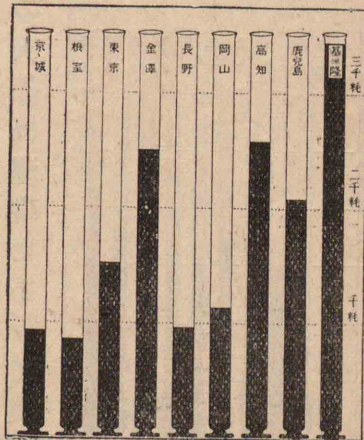
期を生ずるを例とす。

生物

我が國の風土は、植物の發育に適し、その種類甚だ多し。九

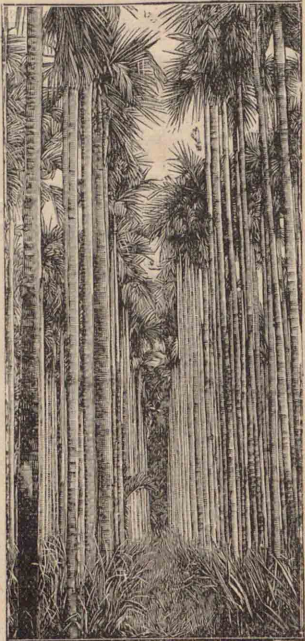
州南部より臺灣にかけては、榕樹・檳榔樹等の熱帶植物を生じ、中部

に至れば、松・杉・檜等の良材を産し、北地に進むに従ひ、蝦夷松・落葉松



雨量の比較

植物分布は同一の地にて土地の高低によりて之を異にし臺灣の高山にては麓より頂上に至るに従ひ熱温寒の各帯に特有なる植物を認め得べし



臺灣の植物景物

等の森林繁茂せり。

動物は、植物の如く變化

著しからざれども、特殊の

ものには、臺灣に水牛、北海

道に熊、樺太に馴鹿等あり

海生動物も、南部の暖海には蠟龜

珊瑚等を生じ、暖流の流るゝ海面

は、鰹・鰯等に富み、寒流に洗はるゝ

地方には、鮪・鰯等多く、又臘虎・臘

獸等の海獸棲めり。

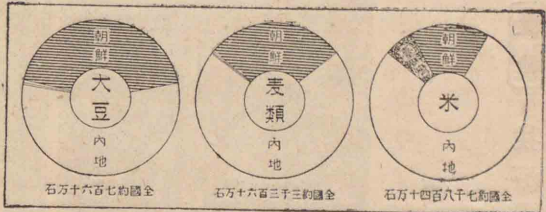


樺太の植物景物

第四章 産業 産物

農業

我が國は古來農を主業とし、國民の多數は之に従事す。米



は國民の常食にして、農産中の第一位を占め、殆ど到處に産し、麥は米に次げる主要の食料にして、その産額も亦多し。茶は世界屈指の多産地にして、主要輸出品の一となり、養蠶は概ね農家の副業なれども近年益々盛となれり。その他大豆、煙草、甘蔗、甘藷、馬鈴薯等の産出も甚だ多し。

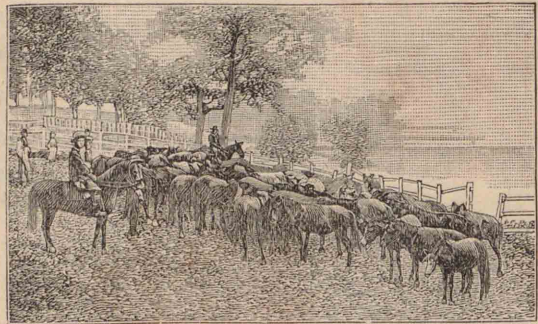
牧畜 牧畜は、生活状態の變化と共に、近年次第に盛となり、公私の牧場所々に起りて、牛・馬・豚等の飼

養行はれ、養鶏は概ね農家の副業なりしが、近年之を専業とするものあり。

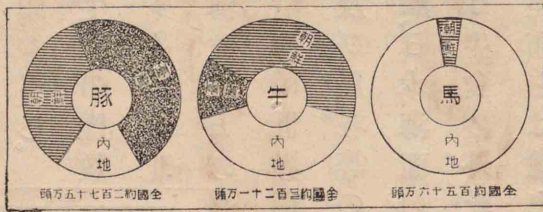
林業 我が國は、秋田・木曾・熊野等を始め、美

品目	(主要産地)
米	新潟、兵庫、福岡、千葉、茨城、埼玉、熊本、兵庫
麥	静岡、三重、京都、奈良
大豆	北海道、茨城、岩手、埼玉、栃木、茨城、福島、徳島
煙草	沖繩、鹿児島、熊本、長崎、千葉
甘蔗	北海道、青森、宮城、福島
馬鈴薯	廣島、岡山、兵庫、鹿児島
牛	北海道、鹿児島、熊本、岩手
馬	沖繩、鹿児島、神奈川
豚	

森林は御料林、國有林、民有林等の別あり

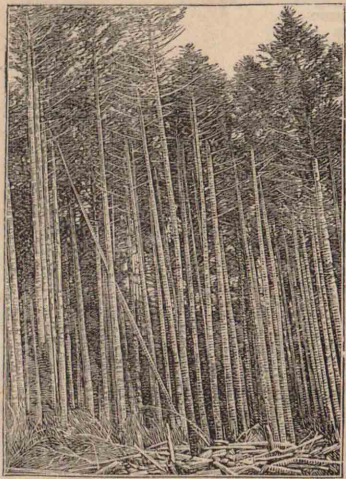


(道海北)場牧



林多く、又北海道樺太朝鮮臺灣等には、天然の大森林ありて、建築用材、鐵道枕木、燐寸、軸木、薪炭、製紙原料等の産多し。この他臺灣の樟腦は、産額世界第一にして、内地には漆、汁木、蠟、椎茸等の副産物も少からず。

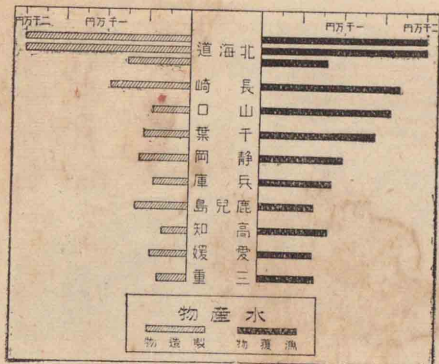
鑛業 我が國は鑛物の種類多く、近年採鑛の規模擴大せられ、産額も益々増加せり。鑛産の最も重要なものは、石炭、銅にして、殊に石炭は全鑛産價



林森の道海北

金銀産額の大分茨城に多きは佐賀關精鍊所及び日立鑛山の精鍊による

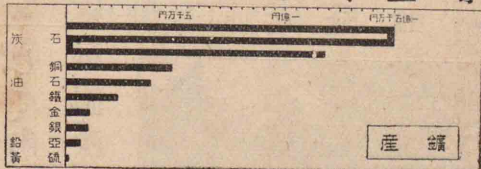
近時滿洲・西比利亞等の沿岸へも漁區を擴め産額大に増加せり



額の約六割を占め、九州・北海道等をその主産地とし、銅はその約三割を占めて世界の第三位に居り、共に重要な輸出品なり。その他金・銀・鐵・石油等の産出頗る多し。

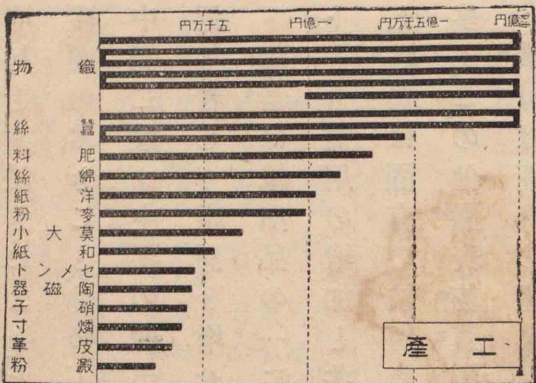
水産 我が近海は水生生物の種類

多く、殊に北海道樺太の沿海は、世界稀有の漁場に數へられ、鯡・鱈・鮭・鱒及び昆布等の水産甚だ多く、太平洋面の鰯・鰺・日本海面の烏賊・鯛等も亦漁利多し。是等は生食の外、乾物・肥料・鹽物等に製し、殊に鰹と昆布とは輸出少からず。この他、食鹽の製出



(品目)	(主要産地)
石炭	福岡、北海道、福島、佐賀、長崎
銅	栃木、秋田、愛媛、茨城
金	大分、茨城、鹿児島、秋田
銀	茨城、栃木、大分、秋田
鐵	岩手、北海道、島根(砂鐵)
亞鉛	山口、福岡
石油	新潟、秋田
硫黄	北海道、福島

綿織物の中愛知・大阪は白木綿を主とすれども又福岡愛媛の絹木綿、栃木の縮木綿、和歌山京都の縮フランネル等は何れも名高し



も亦多く、瀬戸内海の地方をその主産地とし、臺灣・朝鮮等にも鹽田少からず。

工業 我が國民は、古來手工に長ずれども、近年大規模の機械工業發達して、生産額益増加したり。生絲は大製絲場所々に起り、世界第一の産額を有して輸出品中の第一位を占む。綿絲・紡績は近年發達したる工業にして、その輸出額は生絲に次ぐ。織物は

増加したり。生絲は大製絲場所々に起り、世界第一の産額を有して輸出品中の第一位を占む。綿絲・紡績は近年發達したる工業にして、その輸出額は生絲に次ぐ。織物は

(品目)	(主要産地)
生絲	長野、愛知、群馬、埼玉
綿絲	大阪、兵庫、愛知、東京、岡山
絹織	福井、京都、東京、石川、群馬
絹綿交織	京都、栃木、群馬
綿織	大阪、愛知、和歌山、三重
麻織	滋賀、大阪、兵庫、福井
毛織	東京、愛知、大阪、兵庫
莫大小	大阪、東京、愛知、和歌山
陶器	愛知、岐阜、佐賀、京都、石川
玻璃器	大阪、神奈川、東京、兵庫
セメント	大阪、福岡、東京、北海道
漆器	石川、京都、福島、静岡、和歌山
壘表	岡山、広島、大分、福岡
花籠	岡山、福岡、広島
眞田	香川、岡山、東京
燐寸	兵庫、大阪、愛知

原料と製法とにより、その種類多様にして、産額の多きこと、他の工業品に卓越し、その中羽二重は主要の輸出品となり、莫大も近年著しく産額を増せり。

陶器は輸出品の一にして、玻璃器セメント等も、需用の増加と共に次第に産額を増し、漆器は固有の技術にして、その輸出も亦多く、この他、壘表、花筵、製帽、眞田等の製出頗る多し。

燐寸は新興の産業なれども、今は重要な輸出品となり、紙は古來の和紙の外、洋紙の製造大に進み、その他、化學工業著しく進歩し、造船、製鐵等の事業も益々發展したり。

醸造は古來酒、醬油を主とせしが、麥酒の製出も益々盛となり、その他製糖、製粉等も大に發達し、各種の産業日を追ひて盛なり。

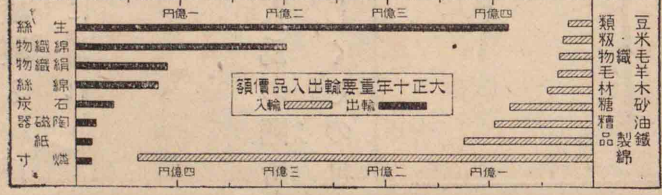
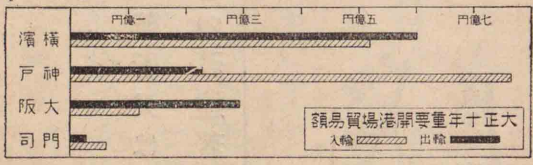
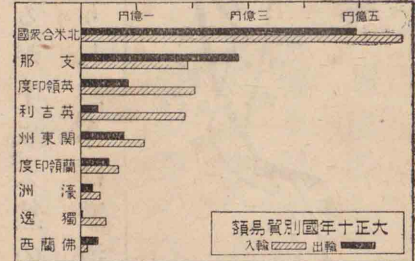
(品目)	(主要産地)
和紙	高知、愛媛、静岡、兵庫
洋紙	静岡、東京、大阪、兵庫
肥料	大阪、兵庫、東京
清酒	兵庫、福岡、廣島
麥酒	東京、大阪、神奈川
醬油	千葉、愛知、兵庫、香川
麥粉	兵庫、東京、福岡、群馬
砂糖	沖縄、鹿児島

大正八年及び九年の貿易額は四十二億圓を超へしが戦後の影響により大正十年には二十八億圓に下れり

商業 生産の増加と共に、商業も益々發達し、東京と大阪とはその大中心にして、各地方には、大小の範圍に於けるその中心地あり。外國貿易は、近年異數の發展をなし、最近の輸出入額は二十八億圓を

貿易港

横濱	清水	武豊	名古屋	四日市	大阪
神戶	糸崎	徳山	下關	濱田	境
宮津	敦賀	七尾	伏木	新潟	青森
函館	小樽	室蘭	釧路	根室	
大泊	若松	博多	唐津	長崎	口之津
門司	三池	三角	那覇	鹿児島	原
住ノ江	鹿見	今治	高松	徳島	高松
佐須奈	淡路	安平	高松	徳島	高松
基隆	木浦	群山	仁川	鎮南浦	新義州
釜山	元山	城津	清津	雄基	
龍巖浦					



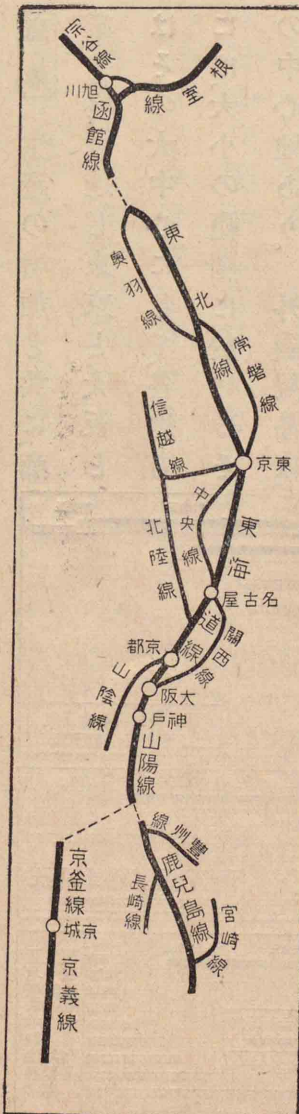
超ゆ。輸入品は綿を第一とし、鐵類、豆粕等多く、輸出品は生絲を第一とし、綿布、絹布、綿絲等多し。貿易國の中、我が國にて最も多

く輸入を仰ぐは、北米合衆國・支那・印度・關東州等にして、我が國より最も多く輸出するは、北米合衆國・支那及び關東州等なり。貿易港は大小五十餘あれども、その中殊に盛なるは横濱と神戸とにして、この二港の貿易額を合すれば、總額の七割餘に當れり。

第五章 交通

東京の日本橋は全國距離の基準なり

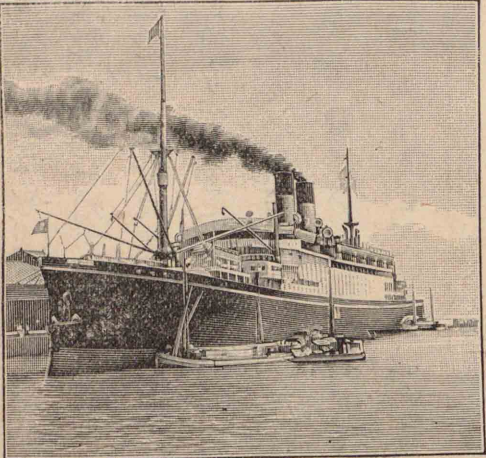
道路は國道・郡道・市道及び町村道の別あり



陸運 古は、道路の不完全なるが上に、天然の難所又は人爲の關所等ありて、往來の不便甚しかりしが、今は鐵道の發達著しく、その延

長約一萬哩に及べり。鐵道の幹線は、北海道の東部より、九州の南部に及び、津輕・下關の二海峡には聯絡船を設け、別に關釜聯絡船ありて、朝鮮の鐵道と通じ、臺灣にも縦貫線あり。鐵道の遠距離交通に便を與ふると共に、主要の都市及びその附近には、電車・自動車等の備ありて、近距離の交通に便す。

海運 海運は近時急激に進歩し、内



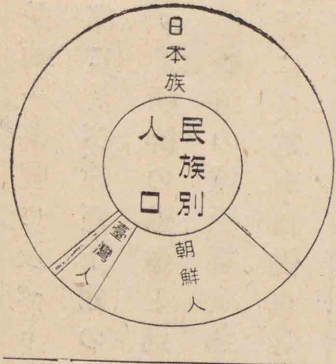
大國沿岸の外、遠く東洋の諸港より、歐
洋洲・濠洲・北米・南米及び亞弗利加等の
丸要港へも航路を開けり。我が商船
の噸數は二百九十萬噸に餘りて、世
界の諸國中第三位に列し、日本郵船
大阪商船・東洋汽船等は何れもその
大會社なり。

大洋丸は獨逸の客船なりしが賠償として聯合國に提供せしを我が國に分配せられたるものにして、船の長さ五百六十一呎、排水量二萬一千噸あり、東洋汽船會社の管理に屬す

通信 古は専ら飛脚によりて通信を行ふに過ぎざりしが、今は郵便電信共に殆ど完備の域に進みたり。海底電線は主要の諸島と聯絡する外、支那・西比利亞等と通じ、又小笠原島よりは、米國の電線と連り、近年更に無線電信局を海岸の要地及び主なる船舶にも設くる等、通信の利便大に加はり、航海中の船舶も尙陸地と通信を得べし。電話の利用も著しく發達して、大小の都市概ね之を設け、長距離通話も益々その區域を廣むるに至れり。

第六章 住民

國民 我が國民の大部は日本民族にして、朝鮮人・臺灣人等之に次ぎ、この他、北部にはアイヌ・オロチン・ギリヤク等の民族住居し、臺灣には少數の蕃人あり。是等の各民族



民族別人口
 日本民族 五千七百萬
 朝鮮人 千六百九十萬
 臺灣人(行政區域の) 三百四十八萬
 アイヌ 百數十人
 ギリヤク 百數十人
 オロチン 百數十人
 臺灣蕃人 八萬五千餘

我が國の人口密度は一方里約千七百七人にして内地のみにては二千人を超ゆ
 布哇住民の約三割は日本人なり

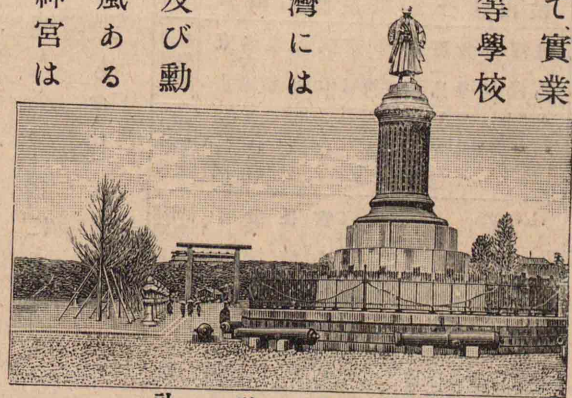
は、言語・風習等に於て多少の差異あれども、何れも範を日本民族に採り、その同化甚だ速なり。

人口 國民の總數は約七千七百萬人にして、その密なること世界に稀なり。各地方の中にて、面積の割合に人口の多きは關東と近畿とにして、少きは樺太・北海道等なり。内地人の外國にあるもの約六十萬に達し、支那・布哇・北米合衆國等に最も多し。

教育 教育は近年大に進歩し、小學校・中學校・高等女學校等は年々その數を増し、普通教育の施設益々

大學	大單學科	高等學校	高等商業學校	高等工業學校	高等農林學校	醫學專門學校	其他
東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)	東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)	東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)	東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)	東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)	東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)	東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)	東京(東京) 京都(京都) 仙臺(仙臺) 福井(福井) 札幌(北海道)

備はると共に、農工商等の補習學校ありて、實業の教育をなし、専門教育の爲には、大學・高等學校を始め、軍事教育、商業工業技藝等に關する多くの學校ありて、文運の發達著しく、自ら東洋文化の中心をなす。又朝鮮・臺灣には別に特殊の學校ありて、その進歩亦著し。



靖國神社

神社 日本民族は、皇祖を始め、民族の祖及び勳功ありし士を崇め、神として之を祀る美風あるが故に、神社の數は甚だ多し。神社の中、神宮は國家の大廟にして、上下の尊崇最も厚く、その他は官幣社・國幣社・府縣社・郷社・村社等の社格あり。

宗教 國民は信教の自由を許さるれども、最も多數の信徒を有するは佛教にして、その他敬神の念に基きて起りたる神道・歐米文明

佛教は數多の宗派に分れ、眞宗・禪宗・淨土宗・日蓮宗・天台宗等は、その重なるものなり。

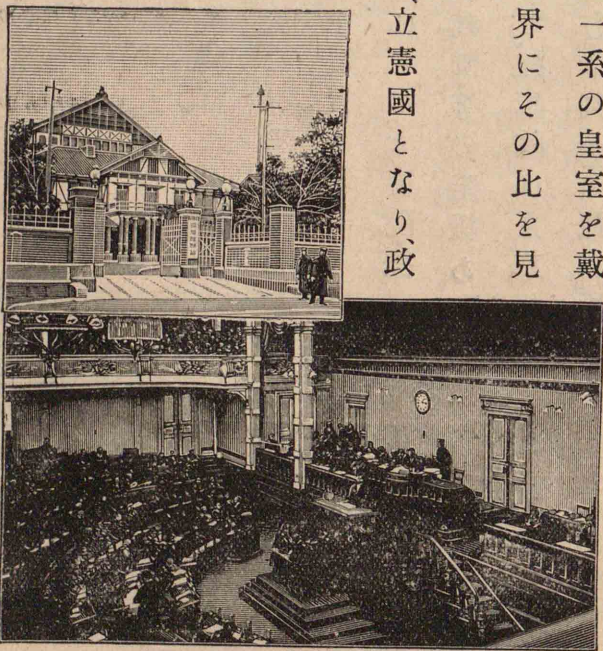
の輸入と共に傳はりたる基督教等も、一部に行はる。

第七章 政治

我が國は、建國以來、萬世一系の皇室を戴き、國體の尊嚴なること、世界にその比を見ざる一大帝國なり。

政體 明治二十三年以後、立憲國となり、政治の機關は立法・行政・司法の三部に分たる。

立法部は帝國議會にして、衆議院と貴族院とに分れ、主として法律の制定・歳計豫算の議決等をなす。



貴族院の正門と衆議院の内部

臺灣・樺太・朝鮮等は我が領土となりて、以來日尙淺く爲に住民の政治に參與することなし。

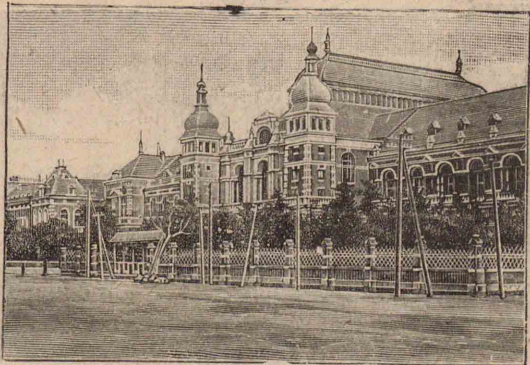
租借地たる關東州
には長官を置く

控訴院は東京・大
阪・名古屋・廣島・
長崎・仙臺・札幌の
七ヶ所にあり

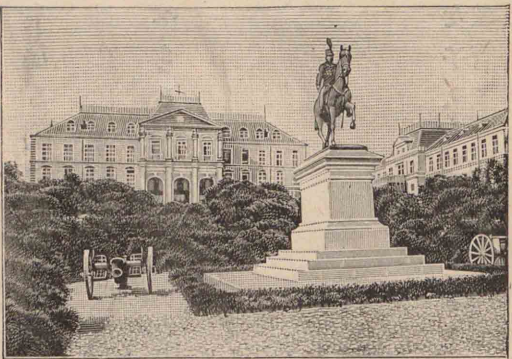
行政部は政府にして、その主腦を内閣とし、内閣總理大臣と、他の十省の大臣とにて之を組織し、重要な政務を決す。地方は三府・四十三縣、北海道、樺太、臺灣、朝鮮に分れ、府縣に知事を置き、北海道、樺太には長官を置き、朝鮮と臺灣とには總督を置けり。

司法は裁判所の掌る所にして、大審院、控訴院、地方裁判所及び區裁判所等の階級あり。大審院は東京にありて、控訴院は東京の外六個所に設けられ、地方裁判所、區裁判所は各地方にあり。朝鮮と臺灣とは稍、制度を異にし、朝鮮には高等法院、覆審法院、地方法院を置き、臺灣には高等法院、地方法院あり。

國防 我が陸海軍は、大元帥陛下の統率し給ふ所にして、陸軍に參



大審院



謀本部、海軍に軍令部ありて、國防用兵等に關することを謀掌る。陸軍は、内地本に十八師團の兵を部置き、別に近衛師團ありて、宮闕を守衛す。朝鮮には二箇の師團を設け、臺灣及び南滿洲には、守備隊を駐屯せしむ。

海軍は、全國の海岸海面を三海區に分ち、各區に鎮守府を設けて軍港を定め、この他重要な地點を選びて海軍要港となす。

第十	第九	第八	第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	近衛	名師團
姫路	金澤	弘前	旭川	熊本	廣島	大阪	名古屋	仙臺	東京	東京	司令部所在地
	第二十	第十九	第十八	第十七	第十六	第十五	第十四	第十三	第十二	第十一	名師團
	龍山	羅南	久留米	岡山	京都	豐橋	宇都宮	高田	小倉	善通寺	司令部所在地

第三	第二	第一	(海軍區)
佐世保	吳	橫須賀	(鎮守府)
			(軍港)
馬鎮公海	舞鶴	大湊	(要港)

未だ通商航海條約の批准なきも和親條約ありて公使領事等の駐在あるものは下表に加へたり

外交 我が國は、相互の和親を保ち國利を計らんが爲に、世界の主要國と概ね條約を結び、通商航海をなせり。我が國の條約國は三十餘國にして、その中、英・佛・伊・米・獨・白等の諸國とは大使を交換し、他の主なる國には公使を派遣し、通商上の要地には領事官を置き、國運隆々として、今や世界五大雄邦の一に數へらる。

國約條

支那	佛國	西國	白蘭地	丁蘭	波蘭	羅馬	秘魯	伯刺	エクス
那	西	牙	蘭	牙	蘭	露	露	露	アド
獨逸	露	露	瑞	和	北	智	哥倫	バ	ラ
羅	西	西	蘭	典	米	比	ク	ク	ク
英	英	瑞	瑞	牙	合	亞	ア	ア	ア
吉	吉	伊	伊	亞	衆	利	イ	イ	イ
利	利	利	利	逸	國	國	イ	イ	イ
				羅	チ	チ	ウ	ウ	ウ
				逸					

女子教育 最近日本地理 終

ヨ (ヤウ)

余市.....96
 横手.....25
 横須賀.....10
 横濱.....9
 吉井川.....53
 吉野.....46
 吉野川.....59
 吉野山.....46
 四日市.....46
 淀川.....41
 米子.....58
 米澤.....26
 米代川.....18
 夜見濱.....58
 養老瀨.....35

ラ

洛東江.....105
 羅南.....114

リ

龍巖浦.....114
 琉球諸島.....78
 龍山.....12

ル

留萌.....98

ロ

鹿港.....87
 狼林山脈.....104

ワ

隈府.....74
 若狹灣.....29
 若松(奥羽).....21
 若松(九州).....7
 和歌浦.....48
 和歌山.....18
 町.....62
 輪島.....39
 波良瀨川.....5
 稚内.....98

妙高山.....27
 三次.....57

ム

陸奥灣.....18
 撫養.....63
 室戸岬.....60
 室蘭.....97

メ

雌阿寒嶽.....89

モ

最上川.....18
 門司.....70
 木浦.....112
 茂木.....14
 桃山.....45
 盛岡.....23

ヤ

八重山群島.....83
 屋久島.....83
 屋島.....63
 八ヶ嶽.....7
 八代.....74
 矢作川.....33
 耶馬溪.....75
 山鹿.....74
 山形.....26
 山野.....77
 山口.....57
 山國川.....75
 山代.....38
 大和川.....51
 山中.....38
 谷村.....31
 八幡.....70

ユ

湯淺.....48
 硫黃列島.....16
 結城.....14
 雄基.....114
 由布嶽.....76
 夕張.....91
 由良川.....41

習志野.....	11
奈良盆地.....	45
成田.....	11
鳴海.....	33
鳴門海峡.....	63
那覇.....	79
南岬.....	88
男體山.....	4
ニ	
新潟.....	36
新冠.....	97
新高山.....	79
新津.....	36
新居濱.....	64
西朝鮮灣.....	105
西能登呂岬.....	100
西別川.....	98外
西宮.....	50
日光.....	13
日光群山.....	14
日本アルプス.....	26
日本海.....	1
仁淀川.....	59
ヌ	
ヌタクカムシユベ.....	89
沼津.....	32
ネ	
根室.....	98
ノ	
直方(ノカタ).....	71
能代港.....	25
野田.....	10
野付牛.....	98外
能登半島.....	29
濃尾平野.....	28
延岡.....	76
乗鞍火山脈.....	27
乗鞍嶽.....	27
ハ バ	
博多.....	72
博多灣.....	71
萩.....	58

白砂島.....	88
白山.....	28
白山火山脈.....	27
白頭山.....	04
羽黒山.....	26
函.....	95
箱根山.....	10
バシ海峡.....	79
八王子.....	9
八丈島.....	16
八戸.....	24
八幡.....	43
八郎潟.....	18
花咲.....	98
馬入川.....	5
濱田.....	58
濱寺.....	50
濱名湖.....	33
濱松.....	33
原町.....	22
播磨灘.....	41
榛名山.....	4
牟田.....	33
磐梯山.....	22
ヒ ビ (ベウ)	
燧灘.....	53
比叡山.....	44
東支那海.....	1
東山.....	21
英彦山.....	76
彦根.....	43
肥前半島.....	89
飛騨山脈.....	26
日高山脈.....	89
日立.....	15
肱川.....	59
入吉.....	75
卑南大溪.....	80
日平.....	76
姫路.....	51
日向灘.....	67
苗栗.....	86
平泉.....	23
平戸.....	74
平取.....	97
弘前.....	24

廣島.....	56
廣島灣.....	53
琵琶湖.....	41
フ フ	
福江.....	74
福井.....	39
福岡.....	71
福島.....	21
福山(中國).....	56
福山(北海道).....	95
釜山.....	110
富士火山脈.....	4
富士川.....	28
富士山.....	27
伏木.....	38
伏見.....	45
二見.....	16
二見浦.....	47
船橋.....	11
不老倉.....	19外
ヘ ベ	
平壤.....	113
屏東.....	88
別子.....	64
別府.....	75
別府灣.....	67
ホ ボ ボ (ハウ)	
北投.....	86
澎湖島.....	88
鳳山.....	88
北條.....	11
細島.....	76
房總半島.....	6
防府.....	57
豊豫海峡.....	60
法隆寺.....	46
幌内川.....	99
マ	
舞子.....	51
舞鶴.....	45
米原.....	43
前橋.....	12
真岡.....	103

横峯.....	76
馬公.....	88
馬山.....	111
増毛.....	98
松江.....	58
マッカリ嶽.....	89
松阪.....	47
松島灣.....	22
松本.....	35
松山.....	64
間宮海峡.....	99
丸龜.....	63
ミ	
三池.....	72
三浦半島.....	6
御影.....	50
三笠山.....	45
三河灣.....	29
三國山脈.....	4
三國港.....	39外
御來屋.....	59外
三朝.....	59外
三角.....	74
御嶽.....	32
三田尻.....	57
三石.....	55
三津濱.....	65
水戸.....	15
湊.....	15外
南鳥島.....	16
峯山.....	45
箕島.....	48
身延山.....	32
箕面.....	50
三原山.....	16
三春.....	21
三保松原.....	33
宮川.....	41
宮城野.....	22
宮古.....	23
宮古群島.....	78
都城.....	76
宮崎.....	76
宮津.....	45
妙義山.....	14
妙香山脈.....	104

豆南諸島.....	16
須磨.....	51
隅田川.....	8
住ノ江.....	73
住吉.....	50
洲本.....	5
駿河灣.....	28
諏訪湖.....	35

セゼ

清洲.....	110
清津.....	114
關ヶ原.....	35
勢多川.....	40
瀬戸.....	34
瀬戸内海.....	3
千住.....	8
芹野.....	77
全州.....	112
船上山.....	59
仙臺.....	22
仙臺平野.....	18
仙臺灣.....	18
川内川.....	66
千代川.....	59
善通寺.....	64

ソ

蘇澳.....	86
宗谷海峡.....	99
宗谷岬.....	90

タダ

大邸.....	111
大甲.....	87
大聖寺.....	38
大山.....	59
臺中.....	87
大田.....	111
臺東.....	88
大同江.....	105
臺東山脈.....	79
大屯山.....	79
大屯火山脈.....	79
臺南.....	87
大白山脈.....	104
臺北.....	85

平.....	22
臺灣海峡.....	79
臺灣山脈.....	79
臺灣平野.....	80
高雄.....	88
高岡.....	37
高崎.....	12
高島.....	74
高田.....	36
高繩半島.....	53
高粱.....	56
高粱川.....	53
高濱.....	65
高松.....	63
高山.....	35
寶塚.....	50
濁水溪.....	80
武雄.....	72
武豊.....	33
武生.....	39
多治見.....	35
龍野.....	51
立山.....	37
館山.....	11
多度津.....	64
谷山.....	77
種子島.....	78
多摩川.....	5
玉島.....	55
多來加灣.....	100
樽前嶽.....	89
淡水.....	86
淡水河.....	80
壇ノ浦.....	58

チ (テウ)

筑後川.....	66
竹生島.....	43
千島海峡.....	89
千島火山脈.....	89
千島諸島.....	99
知多半島.....	28
千歳灣.....	103
父島.....	16
秩父.....	12
秩父盆地.....	12
千葉.....	10

中國山脈.....	53
中禪寺湖.....	14
島海火山脈.....	17
島海山.....	25
銚子.....	11
朝鮮海峡.....	1
朝鮮半島.....	1
長白山脈.....	104
鎮海灣.....	111
鎮南浦.....	114

ツ

津.....	47
津輕半島.....	18
月ノ瀬.....	46
筑紫山脈.....	66
筑紫平野.....	67
筑波山.....	15
野島.....	67
土浦.....	15
土崎港.....	25
豆漕江.....	105
津山.....	56
鶴岡.....	25
敦賀.....	39
鷲山.....	63
鶴見.....	9外
鶴見嶽.....	76
津呂.....	65

テテ

天鹽川.....	90
出羽丘陵.....	7
天龍川.....	28

トド (タウ)

十日町.....	36
吐噶喇諸島.....	78外
東京.....	8
東京灣.....	6
十勝川.....	90
十勝平野.....	90
徳島.....	62
徳島平野.....	60
徳山.....	57
道後.....	64
常滑(トコナベ).....	33

所澤.....	12
土佐灣.....	60
東石港.....	87外
栃木.....	13
十津川.....	41外
鳥取.....	59
利根川.....	5
多武峰.....	46
鳥羽.....	47
苫小牧.....	97
富岡.....	14外
富山.....	37
富山灣.....	29
豊岡.....	51
豊川.....	33
豊橋.....	33
豊原.....	103
斗六.....	87
瀨入丁.....	48
十和田湖.....	24

ナ

内湖.....	104
直江津.....	36
長岡.....	36
那珂川.....	5
長崎.....	73
中知床岬.....	100
中津(九州).....	75
中津(中部).....	35
長野.....	36
中海.....	53
長濱(近畿).....	43
中村.....	22
長良川.....	34
流山.....	10
名護.....	78
勿來ノ關.....	22
名護屋.....	72外
名古屋.....	33
那須火山脈.....	4
那須山.....	4
名瀬.....	78
灘.....	50
那智瀧.....	48
七尾.....	38
奈良.....	45

北見山脈.....	89
杵築.....	53
木津川.....	40外
鬼怒川.....	5
紀川.....	41
城崎.....	51
岐阜.....	34
舊港.....	86外
吸江灣.....	65
九州山脈.....	66
漁翁島.....	88
巨濟島.....	105
京都.....	44
京都盆地.....	44
宜蘭.....	86
霧島火山脈.....	66
霧島山.....	66
基隆.....	85
桐生.....	13
金爪石.....	85
錦江.....	105
金峯山.....	32

ケ

草津(近畿).....	44
草津(關東).....	12
九十九里濱.....	6
九重嶽.....	76
久慈川.....	5
釧路.....	98
釧路川.....	98
俱知安.....	96
口之津.....	73
國東半島.....	67
久根.....	33外
九頭龍川.....	28
國後島.....	99
久能山.....	33
熊谷.....	12
球磨川.....	66
熊野川.....	41
熊野灘.....	41
熊本.....	74
熊本平野.....	74
倉敷.....	55
倉吉.....	59
久里濱.....	10

來島海峡.....	64外
久留米.....	72
吳.....	56
黑江.....	48
桑名.....	46
群山.....	112
郡内.....	31

ケ

慶州.....	111
京城.....	112
迎日灣.....	105
華嚴瀧.....	14
元山.....	114
兼二浦.....	113
玄武洞.....	51

コ

黃海.....	1
小金井.....	9外
五家莊.....	75
五箇瀨川.....	63
江華島.....	105
國分.....	77
小倉.....	70
五劔山.....	63
小阪.....	24
兒島半島.....	53
公州.....	112
光州.....	110
恒春.....	88
梧棲.....	87外
五泉.....	36
高知.....	65
御殿場.....	32
琴平.....	64
五島列島.....	67
郷浦.....	74
江川.....	52
甲府.....	32
神戸.....	50
駒ヶ嶽.....	89
小松.....	38
小松島.....	63外
高野山.....	48
郡山(奥羽).....	21
郡山(近畿).....	46

五稜廓.....	95
廣梁灣.....	114
後龍.....	86外
金剛山(近畿).....	50
金剛山(朝鮮).....	104
金剛山脈.....	40

サ

西郷.....	58
西條.....	64
載寧.....	113
佐伯.....	76
濟州島.....	105
佐賀.....	72
佐賀關.....	78
堺.....	52
境.....	58
坂出.....	63
榮濱.....	103
酒田.....	25
相模川.....	5
相模灣.....	6
先島諸島.....	78
佐倉.....	11
櫻島.....	77
笹子峠.....	32
佐世保.....	73
佐田岬.....	60
札幌.....	97
薩南諸島.....	67
薩摩半島.....	67
讚岐山脈.....	59
讚岐半島.....	53
佐野.....	13
猿間湖.....	90外
佐原.....	11

シ

鹽釜.....	22
潮岬.....	50外
鹽原.....	14
敷香.....	104
重信川.....	64
四國山脈.....	59
四阪島.....	64
四條畷.....	50
静岡.....	33

品川.....	8
信濃川.....	28
島原.....	73
島根半島.....	53
志摩半島.....	41
島原半島.....	73
四萬十川.....	59
清水.....	32
下北半島.....	18
下諏訪.....	35
下田.....	32
下關.....	57
紗那.....	99
修善寺.....	32
秋風嶺.....	111
春川.....	110
首里.....	79
彰化.....	87
占守島.....	99
庄川.....	28
城津.....	114
小豆島.....	63
庄内平野.....	18
小白山脈.....	104
城端.....	38
白川.....	74
白河.....	21
白河關址.....	21
知床岬.....	90
新義州.....	114
新宮.....	48
晋州.....	110
新庄.....	26
仁川.....	112
新竹.....	86
尖道湖.....	58
神通川.....	28

ス

遂安.....	113
水原.....	113
水前寺.....	74
瑞芳.....	85
周防灘.....	53
須崎.....	65
鈴鹿山脈.....	40
鈴谷川.....	100

伊丹.....	50
市川.....	41
一關.....	23
一宮.....	34
嚴島.....	57
伊豆諸島.....	16
伊豆半島.....	28
一身田.....	47外
絲崎.....	56
猪苗代湖.....	22
犬吠崎.....	6
伊野.....	65
伊吹山.....	43
揖宿.....	77
今治.....	64
伊萬里.....	73
祖谷.....	63
岩木川.....	18
岩國.....	57
岩國川.....	57
岩内.....	95
岩見澤.....	97
印旛沼.....	5
伊部.....	55
殷栗.....	113

ウ

上田.....	36
上野.....	46
魚津.....	38外
宇佐.....	75
宇治.....	45
牛尾.....	77
宇品.....	56
宇治山田.....	47
碓氷峠.....	12
白杵.....	76
有珠嶽.....	89
内浦灣.....	90
宇都宮.....	13
鸕陵島.....	105
畝傍山.....	46
宇野.....	56
宇部.....	57
海中道.....	71
浦賀.....	10
浦賀海峽.....	10

浦戸.....	65
浦和.....	12
宇和島.....	65
雲山.....	114
運天.....	79

エ

永興灣.....	105
江差.....	95
蝦夷山脈.....	89
江田島.....	56
江戸川.....	10
越後山脈.....	17
越後平野.....	28
擇捉島.....	99
江ノ島.....	10
夷.....	37
襟裳岬.....	90

オ

雄阿寒嶽.....	89
大洗.....	15外
大井川.....	28
大磯.....	10
大分.....	76
奥羽山脈.....	17
大垣.....	34
岡崎.....	33
小笠原諸島.....	16
男鹿半島.....	18
岡谷.....	35
岡山.....	55
岡山平野.....	53
興津.....	32
沖繩諸島.....	78
沖島.....	65
狹濱.....	23
桶狭間.....	33外
大阪.....	49
大阪平野.....	41
大阪灣.....	41
尾去澤.....	24
王子.....	8
牡鹿半島.....	18
大島(關東).....	16
大島(九州).....	78
大島諸島.....	78

波島半島.....	90
大洲.....	65
大隅半島.....	67
小千谷.....	36
太田.....	15
太田川.....	52
小樽.....	96
入樽灣.....	90
小田原.....	10
大津.....	44
落石崎.....	98外
大泊.....	103
鬼首.....	23
大沼.....	95
大野.....	39
大野川.....	67
尾道.....	56
姥捨山.....	36外
小濱.....	39
帶江.....	55外
帶廣.....	98
オホーツク海.....	1
大湊.....	24
大嶺.....	57
近江盆地.....	40
大宮(關東).....	12
大宮(中部).....	32
大牟田.....	72
雄物川.....	18
小山.....	13
大淀川.....	66
鴨綠江.....	105
遠賀川.....	67
御嶽.....	27

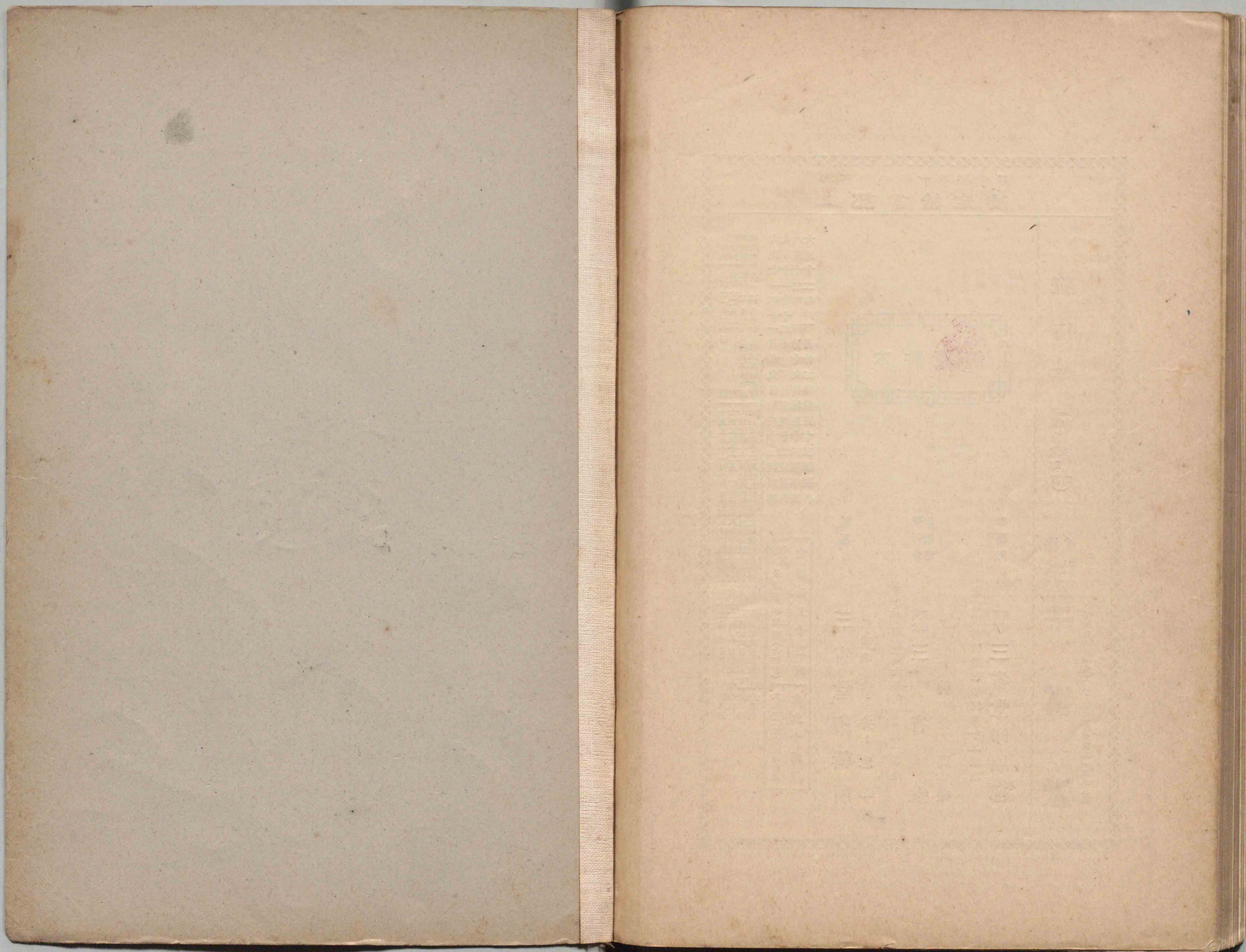
カ

海州.....	110
開城.....	113
會寧.....	114
壘馬高地.....	104
開聞嶽.....	66
嘉義.....	87
加古川.....	41
鹿兒島.....	77
鹿兒島灣.....	67
笠岡.....	55
笠置山脈.....	40

鹿島灘.....	6
霞浦.....	5
下淡水溪.....	80
柏崎.....	36
花嶼.....	88
勝浦.....	11
月山.....	26
勝沼.....	32
桂川(中部).....	31
桂川(近畿).....	40外
金澤(關東).....	10
金澤(中部).....	38
鹿沼.....	13
釜石.....	23
鎌倉.....	9
上川盆地.....	97
上諏訪.....	35
神居古潭.....	90
龜崎.....	33
賀茂川.....	0外
蒲生田岬.....	60
烏山.....	14
唐津.....	72
樺太山脈.....	99
花蓮港.....	88
川越.....	12
川中島.....	36外
川俣.....	21
岩手山.....	23
關東山脈.....	4
寒霞溪.....	63
漢江.....	105
寒風山.....	8外

キ

紀伊水.....	60
紀伊山脈.....	40
紀伊半島.....	41
木更津.....	11
義州.....	114
岸和田.....	50
木曾川.....	28
木曾山脈.....	26
北浦.....	5
北上川.....	18
北上山脈.....	17
北知床岬.....	100





高

山下

文庫
23
557

広島大学図書

2000085557

